

## 03 観光・情報発信

---

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
香港  
【転出元】  
奈良県 生駒市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.8～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

北海道の大自然の美しさを世界多くの人に伝えたいからです。移住する前に、数回に渡って北海道の大自然の景色やアイヌ文化などの魅力に惹かれ、目の前の景色に感動しました。釧路市では釧路湿原や阿寒湖、また世界三大夕陽といった自然景色の宝庫です。自分の語学力を生かしながら1人でも多くその感動を実感して頂きたく、多くの観光客が釧路市を訪れるよう貢献したいと考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

アドベンチャートラベルのメイン顧客層である欧米豪に向けての認知度向上や旅行者対応できる環境整備に取り掛かりたいと思います。阿寒湖をはじめ、道東全体の日本離れする自然と異文化をより多くの人に楽しんでもらえるように尽力したいです。

### 活動内容

#### ●アドベンチャートラベル（AT）の推進

主に欧米豪の旅行者に支持され、近年市場規模が拡大している観光分野である「アドベンチャートラベル（AT）」を当地域で推進するために、地域の観光資源等の調査、ガイドスキルの習得、地域内外の事業者とのネットワーク構築、外国語及び日本語を活用した観光情報発信等を実施。



#### ●ATツアーの企画、商談等によるビジネスネットワーク構築

当地域の観光資源を実体験に基づき調査し、ATツアーとして7泊8日程度のモデルコースを作成。ATの国際的な団体ATTAが主催する世界最大のイベント「ATWS」やオンライン商談会等により、世界各国のATバイヤーとビジネスネットワークを構築。



#### ●海外旅行者向けAT情報発信

InstagramやYouTubeにより、海外AT旅行者に向けて当地域のATコンテンツをPR。ひがし北海道の様々なコンテンツを実際に取材し、地域の魅力や楽しみ方を、日帰りや2泊3日のモデルコースとして仕立てて発信。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [ernest@lake-akan.com](mailto:ernest@lake-akan.com) (電話番号) 0154-67-3200

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/arctic\\_japan/](https://www.instagram.com/arctic_japan/)



### 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
中国 山東省  
【転出元】  
大阪府 大阪市  
【前 職】  
民間企業  
【活動時期】  
R3.9～

### 協力隊に応募したきっかけ

1. 自然風景が満喫できる田舎に移住したいと思いました。
2. 友達が別の地域の地域おこし協力隊に着任して、優しく温かく対応されたので、私に薦めてくれました。
3. 夕張市は高倉健さん主演の映画「幸福の黄色いハンカチ」のラストシーンのロケ地であります。私は大学の時にこの映画を見て、とても印象に残っていました。

### 今後の抱負・任期後の目標

1. 自分のインバウンド知識と経験を生かして、異文化交流をもっと促進したいと考えています。
2. ビデオ編集、情報発信などのスキルをもっと上達して、よりアクティブな観光促進に繋がりたいです。
3. 任期後の目標については、まだ詳しく決まっていりませんが、人文知識、国際交流分野の方向で考えています。

### 活動内容

#### ●中華水餃子手作り体験会

中国のお正月と日本の正月の時期はずれていて、食べ物の風習なども違います。これをきっかけとして、夕張市民の方々に中華圏の一番大きな祝日を紹介したいと思いました。

水餃子の手作り体験と中国の春節関連の文化に関して、地元の住民たちとコミュニケーションをとりました。



#### ●夕張市内外PRイベントの参加及び取材、情報発信

1. R4夕張観光物産展in都庁 (6/14～6/21)
2. R4夕張観光物産展in横浜 (6/28～7/1)
3. 第1回夕張バリバリメロンラン (07/03)
4. ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭 (07/28)
5. R4北海道そらちグルメフォンド (8/21)
6. さっぽろオータムフェスト (09/09)
7. 紅葉祭り (シューパロダム+滝の上公園) (10/16)



#### ●夕張市内観光施設に観光案内、市HPに情報更新

1. R4年度観光シーズンに、道の駅夕張メロードと「幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば」にて観光案内を行いました。
2. 夕張市公式ホームページにて桜と紅葉の見ごろを紹介する「桜前線」と「紅葉便」のページを運用し、情報発信を行いました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
夕張市地域振興課商工観光係  
(メールアドレス) ybrsyo@city.yubari.lg.jp (電話番号) 0123-52-3128  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

QRコード



Facebook  
夕張市地域おこし協力隊

Instagram  
yubarichioko



### 基本情報



【年 齢】  
22歳  
【出身地】  
千葉県八千代市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
学生  
【活動時期】  
R4.4~

### 協力隊に応募したきっかけ

岩見沢市に立ち寄った際、偶然出会った方々の人柄や活動地域の豊かな自然に惹かれ、このまちで地域おこし活動がしたいと思うようになった。

### 今後の抱負・任期後の目標

岩見沢市内の活動地域とそれ以外の地域を結び付けて、新たな魅力を発信できるよう活動していきたい。

### 活動内容

#### ●映画祭の開催

映画上映会と農産物を中心とした地域特産品等のマルシェを掛け合わせた「映画祭」を開催した。

マルシェにおいては、活動地域内で生産された農作物のほか、活動地域外からも飲食店や雑貨屋等が出店した。出展者と来場者が交流する様子から、当イベントをきっかけに人と地域がつながる空間を作ることができた。

上映会では、「移住」「農のある暮らし」をテーマとする作品を上映し、活動地域の豊かな自然と農業、自身も移住者であることをリンクさせた。当日は満月の夜で、虫の声を聞きながらの映画鑑賞という空間演出は、来場者の好評を得た。

活動開始1年目という事もあり、規模としては大きいものではないが、当イベントを通して多くの農家、地域住民、飲食店の方等と協力・交流することができた。



### 連絡先

メディア等の取材連絡先  
岩見沢市企画財政部企画室 TEL:0126-35-4834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
■Instagram (@iwamizawa\_life)  
■Instagram (@iwamizawa\_grashi)

### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
台湾 台北市  
【転出元】  
埼玉県 上尾市  
【前職】  
東京都浅草ホステルのフロント  
【活動時期】  
R2. 10～ R5. 9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

求人情報サイト、ハローワークの求人情報

### 今後の抱負・任期後の目標

FBだとどんどん古い投稿情報は見えなくなるので、将来的に投稿の内容を整理して自分のホームページを作成したいです。そうすると自分にも記録になるし、台湾のお客様も観光などの情報を探しやすいです。  
稚内市に向けて、実際に住んでる私と観光にくる台湾人の「何に興味があるのか」「どんな希望があるのか」などの意見を提出することで、これからの観光の発展に繋がると考えています。  
都会からの人たちが知らない地元の名産品を認識してもらうために、ホタテとウニの殻を再利用して体験をしました。  
「日本最北」の思い出を、旅行客自身が作成して持ち帰ることで、稚内の思い出を作ってもらいたいと思っています。  
今後のインバウンド回復期に向けて、台湾での現地PRなども行いたいと思っています。

### 活動内容

#### ●FBの運営

- FBの「台湾人・北海道最北端生活」というページで稚内の日常を台湾人に向け2言語で発信しています。
- 旅行したいけど行けない。そんな台湾人に稚内の「今」を届けており、フォロワーは9,300人を超えています。



#### ●ホタテ貝殻絵付け・ウニで小物作り体験

- 稚内の名産であるホタテ貝殻に絵付けをする体験コンテンツを提供しています。
- 今年からはウニの殻で風鈴などの小物を作る体験コンテンツを企画・造成しました。
- 観光の隙間時間に体験できるため、バスや列車を待っている観光客の皆さんから好評を得ています。



#### ●インバウンド向けサイト作成

- 台湾人が行う旅行に関する情報収集はWebが主です。
- そのため、台湾向けの日本旅行情報サイトに掲載する文章を作成しています。
- また、稚内公式観光情報サイト記事の翻訳(繁体中国語)もしています。
- 台湾から来稚するインフルエンサーのアテンドなども行っています。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
メールアドレス) kankokoryu@city.wakkanai.lg.jp  
(電話番号) 0162-23-6468 (職場：稚内市観光交流課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<https://www.facebook.com/taiwanwakkanai/>

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
東京都  
【前職】  
出版社 企画制作  
【活動時期】  
R1.10～ R5.3  
(4年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代を本市の隣市（岩見沢市）で過ごすが、その中で芸術を学ぶため本市のアルテピアッツァ美唄を訪れる機会があった。何度も美唄を訪れる中で「美唄」に惹かれ、ボランティア活動や知人に観光案内をしながら美唄に滞在する時間が自然に長くなっていた経緯、その後、美唄市内でひと月期間滞在しながら仕事をするのがきっかけに、地域に根付いて、地域を応援する活動を希望し応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

美唄市の魅力を発信し、認知度アップと特産品やふるさと納税返礼品に関わり、地域の活性化アップが目標。

### 活動内容

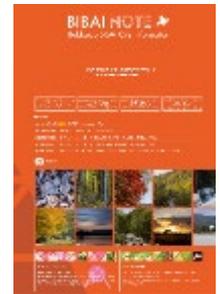
#### ●観光情報を発信

着任1年目に366日毎日Instagramで美唄の魅力を発信し写真展を開催。現在も継続し、四季折々に変化する美唄の様子を発信している。  
フォロワー数約2,000人。



#### ●特産品やふるさと納税返礼品を紹介

美唄市の特産品やふるさと納税返礼品がわかるWEBサイトを開設し、オンラインショップが可能な仕組みを作り、経済の活性化を図っている。



#### ●首都圏アンテナショップ開設コーディネート

首都圏に本社があり地元企業として半世紀にわたり根付いている日本理化学工業（株）と市が連携し、関係人口創出するための実証実験事業に対し、「北海道美唄コンテナショップ」立ち上げ準備、ショップコーディネート、商品選び等、マネジメント役で活躍し、地域の活性化を図っている。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://www.instagram.com/bibainote/>

### 基本情報



【年 齢】  
50歳  
【出身地】  
東京都八王子市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前 職】  
アパレル販売  
【活動時期】  
R4.4～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

旅行で度々訪れていた北海道に移住したいと漠然と考えていた際に元協力隊の方から色々なお話を伺いました。“便所の100W”と言われる明るさとコミュニケーション能力を活かし、地域の方々に喜んで頂ける仕事がしたいと子供の成人を機に思い切って応募しました。芦別の手が加えられていない街や自然の美しさが大好きで街の方々の優しさに支えられ、感謝する毎日です。

### 今後の抱負・任期後の目標

3年後に多目的に使用できるカフェ開業に向けて動いています。4月～星空案内人®（準案内人）・食品衛生管理者・安全衛生管理者（伐木等業務）←チェーンソー を取得。現在は、ベジタブルアンドフルーツマイスターの資格取得の為、勉強中です。店舗物件が見つかり次第、空き家の改修も行い、進捗状況をSNS等でアップしていく予定。今後は観光協会や企業とのコラボ企画（イベント・商品開発など）も出来たらと考えています。白樺細工の販売に向けての製作にも力を入れていきたい。

### 活動内容

#### ●情報発信

Instagram・facebookでの情報発信業務を行なっています。芦別の魅力である「食」「自然」を中心にイベントの告知や実際に参加し、取材内容を発信しています。また市内企業の工場見学や取材させて頂いて紹介し、I・Uターン就職を考えている方に「大人の工場見学」と題してご紹介しています。



#### ●ふるさと納税返礼品の写真撮影

スタイリング・撮影（必要に応じて調理）をさせて頂いています。ふるさと納税担当からの依頼の他に取材先の農家さんの依頼も受けています。



#### ●その他（2022上半期）

- ・白樺細工→芦別の白樺樹皮を使用した工芸品を製作・販売を目指す
- ・そらち・デ・ビューライター研修
- ・炭鉄港レシピコンテスト応募



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebookInstagram



### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
広島県広島市  
【転出元】  
熊本県熊本市  
【前職】  
広島では公務員、熊本ではイラストレーター  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

市役所職員として地域振興に関する部署に所属していたこともあり、もともと地域おこしという活動に興味がありました。しかし、公務員だとどうしても様々な制限があり、柔軟に活動することは困難でした。その点、芦別市の募集では、フリーミッション型であることに加え、雇用関係なしの形態ということで、より自由な地域おこしが実現できるのではないかと感じました。

### 今後の抱負・任期後の目標

星の降る里百年記念館での特別展示や芸術文化交流館など、アートや風景画に親しむ風土がある芦別市ですが、デジタルアートやイラストといった、若年層が親しみやすい媒体を扱った手法や作品はまだ少ないと感じています。そこで、それらを活用した作品の制作や、イラスト教室の開催などを行っていきたくと構想しています。

### 活動内容

#### ●芦別市の風景をイラスト化し情報発信

芦別市の風景をイラスト化し、SNSにアップしています。また、市の観光ポスターにも採用され、駅や市役所などに掲示しています。



#### ●フリーペーパー「あしべつぐらし」の発行

上記のイラストをまとめたフリーペーパーを発行し、市役所や道の駅など、市内各所で配布しています。市外からフリーペーパーを取りに来てくれる人もいます。



#### ●夏休み子ども向けイラスト教室の開催

小学生はアクリル絵の具でキャンバスに空を描くコース、中高生は水彩絵の具で塗り絵をするコースの2種類のコースを2日にわたって開催しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) <https://twitter.com/ashibetugurashi>

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
北海道中標津町  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
建築設計コーディネーター  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

元々、協力隊の存在を何となく認識があり、本格的に転職しようかなというタイミングで、募集があることを知り応募しました。今までは、つくる側の仕事をしていましたが、転職する数年前より、つくる事もとても重要な仕事ですがそれをどう伝えるか？がより大切に思える事が多かったので、つくる側から伝える側を試してみたいと思ったことがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊任期が折り返しに差し掛かり、より具体的でかつ踏み込んだ発信や、冊子づくりをしていきたいと思えます。協力隊としての立ち位置で、出来る事の幅を広げ、今後入ってくる隊員がより活動しやすい環境を整えられたらと思います。任期後の進路はまだ決まっていませんが、何かしらのカタチで江別市に関わっていけたらと考えています。また、協力隊員のお手伝いが出来たらより面白いかなと思いますので、退任後も協力できる関係性を築いていきたいです。

### 活動内容

#### ●江別のおやつ（リーフレット制作）

昨年着任早々に制作したリーフレットになります。テイクアウト商品で江別のPRになるものを発信したい。また、江別銘菓と呼ばれるモノは無いのですが、地元の人に愛されている「江別のおやつ」を特集。おみやげにもぴったりな「おやつ」をピックアップして江別でおやつ巡りをしてほしいという思いを込めて制作。



#### ●#EBETSU PHOTO MAP(リーフレット制作)

今年度制作した協力隊4名での企画です。江別市のレンタサイクル貸出場所を拠点とした、歩きと自転車で巡るMAPを制作。ゆっくりと市内を巡ってもらい車では気づきにくい、江別の魅力を知ってほしいという思いで制作しました。リーフレットはスマホサイズとなっており、カメラ等を持って巡ってほしい一冊です。



#### ●EBETSU MARKET（協力隊主催出店PR）

今年は徐々にコロナが落ち着いてきたこともあり、積極的に江別のPRへ出向きました。中でも協力隊が主体で自分達が考え、市内店舗へ出店協力を行い、一緒に江別についてのPRをするという、実例をつくることができました。他にも農家さんの出店をサポートする中でのPRなど、実際に出向いてのPR活動を多くすることができました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com  
(電話番号) 011-381-1064 (江別市企画政策部 政策推進課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
江別市地域おこし協力隊Instagram : chiikishinko.ebetsu

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

お菓子作りが好きで、いつか自分で作ったお菓子を販売できたらと考えており、協力隊としての活動が一步踏み出すきっかけになると思ったから。  
また、前職で情報発信の重要性を感じる場面が多かったため、協力隊として積極的に情報発信をしていくことで自身の学びにつなげたいと思ったから。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・コミュニティスペース兼カフェをつくる。ワークショップやチャレンジ出店なども気軽にできるスペースとしたい。
- ・江別特産の小麦などの農産物を用いたおいしくてちょっとおもしろいお菓子の開発、販売。
- ・任期終了時には一定の頻度で製造・販売を行える形にする。

### 活動内容

#### ● SNSにて情報発信

江別市の協力隊4人で運営するアカウント。  
「風が強い」と言われる江別市の天候を毎日動画で投稿。  
その他、協力隊だからこそできる発信内容を検討中。



#### ● 街めぐりリーフレットの作成

江別市でレンタサイクル事業を開始したことから、車ではなく徒歩や自転車でゆっくり街を巡ることをコンセプトにした、マップ形式のリーフレットを作成。協力隊4人で取り組んだ。



#### ● 江別らしいお菓子を試作検討

江別で出土した土偶のユニークな形状を再現したクッキーを作成し、市内イベントにて試作品を配布した。今後もさまざまなアイデアを検討して良いものは販売できる段階まで目指したい。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com  
(電話番号) 011-381-1091  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @chiikishinko.ebetsu  
(Facebook) <https://m.facebook.com/100064327854373/>  
(Twitter) @ebetsu\_okoshi

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
北海道 美唄市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前職】  
飲食店勤務  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に所属していた学生サークルの影響で【地域振興】に興味を持ち始めました。また、以前勤めていたゲストハウスでも地域の魅力を観光客に伝えることをしていたため、地域おこし協力隊に応募しました。江別市の程よく自然と都市が交わる環境に惹かれ、将来の生活の基点にも最適な場所だと考えたため、江別市を選択しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期はおよそ2年間ありますが、そのうちに江別市の関係人口を増やしたいと考えています。そのためにも「江別市」を知ってもらいたいのももちろんのこと、実際に江別に赴いて江別を楽しんでもらえる環境づくりをしたいと思います。

### 活動内容

#### ●市外施設での江別市特産品販売

近郊の大きい都市(札幌市)での江別市の特産品販売イベントを開催しました。江別市内から3店舗(農家×1、飲食店×2)が出店。地域おこし協力隊として、事前にイベントポスター作成や各出店者とのやり取り、当日は江別市PRのために冊子の配布や物販の協力等を行いました。



#### ●江別市内情報のSNS発信

江別市の魅力はそこにいる【人】と考え、実際に【人】インタビューを実施。その他、協力隊のチャレンジ企画やイベント参加レポートを投稿しています。



#### ●江別を歩いて、自転車で巡るマップの制作

江別市でのレンタサイクル事業が本格的に始まるということで、市内の駅を基点に車ではなかなか行けないスポットに注目したマップを制作しました。掲載店舗や市内外の施設に設置していただき、地方紙にも掲載されました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) ebetsu.chiikiokoshi22@gmail.com  
(電話番号) 011-381-1091

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram)@chiikishinko.ebetsu

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
北海道石狩市  
【転出元】  
北海道石狩市  
【前職】  
大学生  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

それまで地方(田舎)で暮らした経験がなく、体験してみたいと思っていました。

また、自分の特性を活かして、なんらかの形で地域に貢献できればと思い、地域おこし協力隊を志望しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

タイミングが悪く、着任と同時にコロナ禍の影響をまともに受けてしまい、2年間は大きなイベントなどは開催することができませんでした。

3年目に入ってから、ようやく施設の臨時休館などなくなり、いくつかのイベントを企画・開催することができてよかったです。

任期終了後は、赤平で培った経験を活かして、また別の場所で活動できればと思っています。

### 活動内容

#### ●炭鉱(やま)の音楽会

赤平市炭鉱遺産ガイド施設で、炭鉱にちなんだ曲目も交えながら、生演奏の音楽会を開催。

友人の上砂川町と雨竜町の地域おこし協力隊の方にも参加いただき、豪華な三重奏を共演することができました。



#### ●赤平の紹介動画作成

赤平市の777段の日本一のズリ山付近が、映画「ドライブ・マイ・カー」のロケ地になったことに触発されて、役者に扮して赤平の紹介動画を作成しました。

この動画は、NHK番組でも紹介されました。



#### ●炭鉱(ヤマ)のスカイランタン

旧住友赤平炭鉱立坑櫓を舞台にしたアニメ映画「ぼくらの7日間戦争」の中の、立坑櫓から空飛ぶランタンを打ち上げるシーンに着想を得て、スカイランタンを打ち上げるイベントを開催しました。立坑櫓はライトアップされています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メール) [bunka@city.akabira.hokkaido.jp](mailto:bunka@city.akabira.hokkaido.jp) (電話番号) 0125-74-6505

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(赤平市地域おこし協力隊 Facebook)

(赤平市炭鉱遺産ガイド施設Facebook)



### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
北海道士別市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
ソニー生命保険株式会社  
【活動時期】  
R1.11～ R4.10  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

高校進学から士別を離れ、他地域での生活を経験してきました。モノではなく人と繋がる、人のために貢献できる仕事をしてきましたが、前職では人に貢献することにノルマを課せられる事に疑問を持ったことで前職を退職し、地元で人のためにできる仕事、繋がる、繋げる仕事を探していたところ、協力隊という制度に出会い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは、羊と雲の丘をより知ってもらい、楽しんでもらえるように働くことです。  
さらに、NPO法人を立ち上げ、これからは地域おこし協力隊OBとして現役の協力隊をはじめとする移住者がより過ごしやすい環境、老若男女問わず地元の方たちが楽しめる場や過ごしやすい環境を作ることが今後の目標です。

### 活動内容

#### ●羊と雲の丘での研修

レストラン、バーベキューハウス、羊の飼育などの業務に携わり、生産から出荷、接客まで研修させていただきました。HPの作成やオンラインショップの設立もさせていただきました。



#### ●キッチンカーイベント主催

コロナ禍でおうちで過ごす時間が増え、市内のお祭り等も中止する中でしたが市民の方たちの自粛モードを取っ払うきっかけとして、テイクアウトのみのキッチンカーイベントを企画、開催させていただきました。2回開催し、多くの方にご来場いただきました。



#### ●天サイダー×士別翔雲高校

売上が毎年減少していき、在庫が増える状況に合った天サイダーでしたが翔雲高校ビジネス課の現三年生と一緒に、味・ラベルのリニューアルや、POPやSNSの活用をしたところ回復どころか最多の販売本数を記録することができました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
羊と雲の丘観光SNS hitsujitokumonooka\_official (Instagram・Facebook)

### 基本情報



【年齢】  
24歳  
【出身地】  
北海道 旭川市  
【転出元】  
神奈川県 川崎市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道で将来的に働こうと思っていた中、SMOUTという移住サイト内で地域おこし協力隊の存在を初めて知りました。もともと観光分野に興味があり、名寄市の募集内容に素晴らしい魅力を感じました。将来的なアウトドアガイドとしての独立という内容が決め手となり応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

カヌー、サイクリング、キャンプなどのアウトドア活動のガイドを目指しています。自身のスキルアップや知識の向上はもちろん、独立に向けて商品化の準備や地域間ネットワークの構築など、やらなければならないことがたくさんあります。特に、冬季でも楽しむことのできるコンテンツの開発には力を入れ、1年を通して名寄市に観光客が訪れるよう努力していかなければならないと感じています。

### 活動内容

#### 体験アクティビティ運営

なよろ観光まちづくり協会が運営するカヌー&サイクリング、サバイバルゲーム、観光農園、パウダースノーサファリなどの体験アクティビティの運営に携わっています。その他、季節ごとに行われるお祭りなどの市内イベントにも関わっています。



#### 観光庁 看板商品創出事業

令和4年度は、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に責任者として取り組み、新商品開発の模索や現状あるアクティビティコンテンツのブラッシュアップ、備品の調達、独立に向けての準備などを行っています。



#### 研修受講、各種メディア出演

地域おこし協力隊間のネットワーク構築のための研修や、資格取得に向けた技能研修を受講しています。また、観光協会SNSでの発信はもちろん、NHKの番組出演や市内学生向けの講演、コンテストへの出演をしています。ezomen2022グループ部門では、グランプリを受賞しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) ny-hisyokoho@city.nayoro.lg.jp  
(電話番号) 01654-3-2111  
(担当) 総合政策部秘書広報課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会) <https://nayoro-kankou.com/top>  
(なよろ体験型アクティビティサイト) <https://nayoro-tourism.com>

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
北海道江別市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
菓子商社・歯科医院向け  
営業、インサイドセールスマネージャー  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

従兄弟が十勝管内芽室町の現地域おこし協力隊だった事から、協力隊の存在を知り、興味を持ちました。祖母が北広島市在住で子供の頃から馴染みがある土地であった点や、北海道ボールパークFビレッジの開業予定がある点などから北広島市に貢献したいと思い、応募いたしました。民間企業で働いていた時から、人と多く関われることを業務の上で重視していた為、観光振興においてその点を果たせ、自身の経験が活かしていけると思い、志望度は大変高かったです。

### 今後の抱負・任期後の目標

着任して約3か月が経過し、主に人脈づくりや市の現状や概要を知るなど、活動の基盤作りをしてきました。今後の展開としては、多種多様な活動をしていく中で、2年目以降に向けて、軸や方向性を定めた取組に絞っていく予定です。行政では中々着手しづらい、かつ自分の色を出した活動をしていきます。任期後の進路は現状未定ですが、引き続き北広島市に貢献していけるように、任期中に体制や人脈づくりをしていくよう、アンテナをはり活動しております。

### 活動内容

#### ● SNSでの北広島市の情報発信

InstagramとFacebookにて、1日1投稿（土日祝除）発信しております。内容は、イベント告知・参加報告や飲食店などのグルメ紹介、観光関連など北広島市に関わる情報を広く掲載しております。



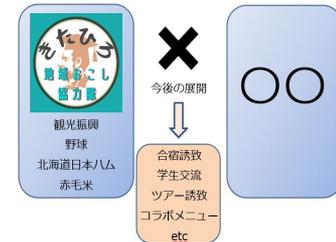
#### ● 市内イベントの運営・PR

市や観光協会関連のイベント運営に参加しております。対面での実施が復活している中で、市内と市外からより多くの人を誘客できるようSNSやメディアなどを通して、PRしております。



#### ● 自主企画イベントの実施（予定）

自主企画のイベントを予定しております。他市町村の地域おこし協力隊との連携や市外でのイベントを展開するよう準備しております。目的の一つとして、北海道ボールパーク以外の北広島市の魅力を発信することで、観光振興に繋がっていきます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) tsubasa.tsuburaya@city.kitahiroshima.lg.jp  
(電話番号) 011-372-3311 (内線4623)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/chiikiokoshi\\_kitahiro/](https://www.instagram.com/chiikiokoshi_kitahiro/)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/chiikiokoshi.kitahiro>  
QRコード 上: Instagram 下: Facebook



### 基本情報



【年 齢】  
41歳  
【出身地】  
北海道福島町  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
営業職  
【活動時期】  
R3.9～

### 協力隊に応募したきっかけ

今で携わってきた仕事の経験を活かし、福島町の将来の発展に微力ながら尽力したいと思い応募しました。出身地でもあり、好きな福島町を盛り上げたいと思ったのがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

福島町の新たな観光ツールとなっている岩部クルーズ事業や特産品の商品開発を中心に取り組みたいと考えています。将来的には福島町の自然を生かしたアウトドア関連の事業を立ち上げたいと考えています。

### 活動内容

#### ●岩部クルーズ運行業務

着任後すぐに「2級小型船舶免許」及び「特定小型船舶免許」を取得し、シーズン中は岩部クルーズ船長の指導の下で、船の操縦技術や出欠航の海の状況判断等を日々勉強しています。



#### ●新たな商品活発・販売

クルーズのオフシーズンには、一般社団法人福島町まちづくり工房にて、開発・販売している商品の営業活動や観光協会と共に町内外の観光・物販イベントに積極的に参加し、福島町全体のPR活動をサポートしています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kikau@town.fukusima.Hokkaido.jp](mailto:kikau@town.fukusima.Hokkaido.jp)  
(電話番号) 0139-47-3007

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
北海道厚沢部町  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
音楽療法士  
【活動時期】  
R2.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

木古内町は、出身地の厚沢部町から車で約一時間ほどであり、いずれ地元に戻ってきたい気持ちがあったことと、両親が自営業で、木古内に支店があったため幼少期から週に何度も通っていて、第2のふるさとのような気持ちもあり、全く知らない町ではなかった木古内町に興味を持った。ミッションとしてあげられていたSNSの運用や、キーコの利活用については、もともと音楽療法士として高齢者・障害者児・幼児・乳児・健常者などあらゆる方々と話し、歌いながら仕事をしてきたので、みんなに愛されるキャラクターとしてのさらなる確率や、色々に人から見られ、人気者になってもらうための工夫などはいくつか既にアイデアがあった。自分が出来ること、やりたいことと、町がやって欲しいことがマッチしていると感じることができたため、応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

木古内町の観光やキーコに係わり続けながら仕事をし、自分らしく木古内町に住み続ける

### 活動内容

#### ●キーコのSNS管理・運営

既存アカウントがあった、TwitterとFacebook、YouTubeチャンネルは引き継ぎさらなる内容の充実、また新たにTikTokを開設して運用中。



#### ●観光に係わる動画の撮影・編集

町内でのキーコの活動に関する動画だけではなく、木古内町が事務局を持つ広域観光の協議会で製作している首長同士が出演している動画の撮影・編集と投稿。



#### ●キーコの利活用に係わる企画と観光プロモーション

コロナ禍において出番が全くなかったキーコをどのように活用していくか、イベントや祭りが無い中何が出来るのかを考え、企画し、実施する。

例) キーコLINEスタンプ製作、キーコのオリジナルソング「ぼくといっしょに」製作 (PVの撮影・編集・投稿)、他市町とのゆるキャラとのコラボ動画製作など



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [shiori-nagahara@town.kikonai.Hokkaido.jp](mailto:shiori-nagahara@town.kikonai.Hokkaido.jp)  
(電話番号) 01392-2-3131  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(キーコLit.Link QRコード→)



### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
茨城県行方市  
【転出元】  
千葉県柏市  
【前職】  
リユースショップ  
【活動時期】  
R3.7~

### 協力隊に応募したきっかけ

北海道移住を考えていた時、旅人に協力隊という制度を教えてもらったのと、友人が協力隊としてすでに活動していたので応募はスムーズにできました。

### 今後の抱負 任期後の目標

任期後はキャンプ場やライダーハウスを運営しライダーにとってのオアシスを創ることと、地域の良いところを発信し知名度を上げるために狩猟の免許取得や漁業権なども視野に入れていきます。

### 活動内容

#### ●観光協会SNS担当

着任後すぐにインスタ、FB、ツイッター、GMBのアカウント作りと発信をしフォロワーを増やしている最中です。ユーチューブも同時進行なので大変ではありますが勉強になるのでもっとレベルを上げていきたい。



#### ●インスタフォトエッセイ

町内のスポットをインスタに投稿してもらい優秀作品にはギフトカードや特産品をプレゼントしています。その他にもカレーのスタンプラリーなど町内での企画もやっています。



#### ●飲食店のメニュー作成

食べに行ったときにメニュー表が古かったことがきっかけで各店分を作成。物価高に伴う値上げの相談や新メニューなどの相談を受け作らせていただいています。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [hirama@setanavi.jp](mailto:hirama@setanavi.jp) (電話番号) 0137-84-6205

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(インスタ) <https://www.instagram.com/setanatown/>

### 基本情報



【年齢】  
60歳  
【出身地】  
北海道 函館市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前職】  
地方公務員  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

定年退職時期を迎え、地方での暮らしを考えていた時、せたな町役場の地域おこし協力隊の募集を知り、きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸など多くの魅力のある地域での暮らしを求め、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸などの町の魅力をブラッシュアップし、地域の観光振興・物産振興につなげていきたい。

### 活動内容

#### ●せたな観光協会の運営

せたな観光協会の事務局長として、観光協会の運営を担当している。  
会員事業者や町と連携を図りながら、地域の観光振興を図るとともに、道の駅での販売や催事事業への参加を通して物産振興に取り組んでいる。



#### ●各種イベントの開催

実行委員会方式による各種イベントを開催し、住民の方々と連携し地域の活性を図っている。

- ・玉川公園水仙まつり
- ・がっぱり海の幸フェスタinわっためがして大成
- ・せたな漁火まつり



#### ●観光宿泊者誘客促進事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ町内への旅行需要の回復を目的に、ラジオPRを実施しながら、宿泊事業者が観光客の宿泊代金から割り引いた金額に対し支援金を交付する町独自の観光宿泊者誘致促進事業を実施し、町内への観光誘客を図っている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) 非公開 (電話番号) 0137-83-8020

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
URL:<https://setanavi.jp/>

### 基本情報



【年 齢】  
41歳  
【出身地】  
大阪府枚方市  
【転出元】  
大阪府枚方市  
【前 職】  
建築関係  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

いつか北海道へ移住しようと住宅を探していたところ、せたな町を知り、せたな町へ移住したいと思うように。その時に地域おこし協力隊の募集が出ていて、応募したところ、ありがたいことに採用となりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

SNSや動画サイトの活用により、せたな町の知名度をもっともっと上げることに、観光アピールだけでなく、新しく移住してくる方々が情報を集めやすくなるように色々作っていきたいと思っています。その上で更に活性化に繋がるような何かを生み出せれば、お世話になっている方々へ少しでも恩返しができるかな？と考えています。

### 活動内容

#### ◇玉川公園 水仙まつり（令和4年5月8日）

水仙咲き誇る、丹羽地区の玉川公園で行われるせたな三大まつりの一つ。今回はラジオの公開生録音や歌手のコンサート、自衛隊の展示イベントや様々な出店、警察署とセターナちゃん協力の寸劇、和太鼓演奏や高校生達による吹奏楽といった、ステージイベントで盛り上がりました。



#### ◇せたな漁火まつり 花火大会（令和4年8月6日）



せたな町の大きなイベントの一つである、せたな漁火まつり。しかしながら、コロナウィルス感染症対策の為、出店や舞台のイベントは中止になってしまいましたが、地域の人達を応援しようという事で、今年は花火大会を開催しました。会場は満員御礼で、クライマックスには観客の皆さんの歓声や拍手も！

といった感じで、イベントの申請や準備、運営等を手がけております。来年はもっと色々出来ることが増えそうなので今から楽しみです。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】せたな観光協会  
E-Mail : ozawa@setanavi.jp  
TEL : 0137-84-6205

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
◇観光協会HP <http://setanavi.jp/>  
◇観光協会Twitter [https://twitter.com/matasetana\\_0901](https://twitter.com/matasetana_0901)

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
新潟県新潟市  
【転出元】  
新潟県新潟市  
【前職】  
会社員（飲食業）  
【活動時期】  
R4.5～ R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは大きく2つあります。1つ目は趣味の一つであるゲームのとある作品を通して、北海道・写真・旅の3つにとっても憧れを抱くようになり、いつか北海道へ移住することが夢になっていたことです。2つ目は様々な場所を旅して、それらを個人的にSNSで紹介していくうちに「観光」に関する仕事をしてみたいと感じたことです。様々な情報を探る中で、秩父別町で観光分野での協力隊を募集していたため、夢である「北海道」の「地域おこし協力隊」を目指すことに決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

着任後は道の駅を中心に活動しており、まずは道の駅を町内外関わらず様々な方に利用してもらえるように、スタッフやほかの協力隊の方たちと意見を出し合い、力を合わせて今までよりもさらに道の駅を盛り上げていきたいです。そして、もう一つやってみたいと思っていることは、秩父別町をPRする動画を制作することです。

### 活動内容

#### ●観光施設のPR動画を制作

秩父別町には子供たちが元気に遊べる屋内・屋外の遊戯場があります。その施設をPRするために、「秩父別町認定こども園くるみ」のみなさんにご協力いただき、30秒の動画を制作しました。作成した動画は札幌市内の大型ビジョン等で放映しました。  
<https://youtu.be/Ibvt6Zvkkm4>



#### ●道の駅で販売する軽食の開発・販売

道の駅で働く中で、手軽に食べられる軽食があったらいいのにと感じました。そこで、町内の飲食店に教えていただいたレシピをもとに、他の協力隊、協力隊OGの方と協力しながら、秩父別町の食材を使用したホットサンドを開発・販売しました。現在は不定期販売なので、今後は定期的な販売と、様々な味の展開を検討していきたいです。



#### ●道の駅の情報発信

着任後すぐにInstagramのアカウントを開設し、ほかのスタッフにも協力していただきながらお野菜の入荷状況や周辺の観光情報などをほぼ毎日発信しています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kanenonarumatichippubetsu@gmail.com](mailto:kanenonarumatichippubetsu@gmail.com)  
(電話番号) 0164-33-3902 (道の駅鐘のなるまち・ちっぷべつ)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) 右のQRコードからご覧ください



### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
愛知県みよし市  
【転出元】  
愛知県みよし市  
【前 職】  
飲食店勤務  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から地域活性化や地方創生などの分野に興味があったため。ワーキングホリデーや青年海外協力隊に興味があったが、新型コロナウイルスの流行で渡航不可となったため、日本にも似たような制度があることを知り合いから聞いたので調べた。

北海道に祖母が住んでいることや道内での生活への憧れもあり、自分の知識を生かして仕事ができれば良いと思った。

地域おこし協力隊制度に興味があり、知りたかったため。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在ふるさと納税の業務に携わっているので、返礼品開発のPRを行うことで、町のPRや寄付額の増加につながることを目指したい。PR方法として、画像編集、チラシ作成、動画作成などで多くの人目に留まるようにしていきたい。

任期後については、他地域で協力隊退任後にふるさと納税の業務委託を受けて生計を立てている方もいるので、参考にしつつ、現在委託している企業からノウハウを学んで起業できたら理想である。道外出身という立場も活かして、特産品の販路拡大た広告宣伝を行っていきたい。

### 活動内容

#### ●ふるさと納税

ふるさと納税に係る業務

- ・町管理のサイト運営及び更新
- ・返礼品撮影及び取材
- ・広告宣伝における雑誌記事や画像の作成
- ・事業者との在庫調整や発注処理 等



#### ●タウンプロモーション

タウンプロモーション業務

- ・町内イベントの撮影やSNS投稿
- ・風景「今」をリアルタイムで発信
- ・ドローンによる動画撮影及びPR動画作成
- ・ローカルラジオ番組による魅力発信
- ・イベント企画や運営を行って町の活性化や交流人口の拡大を図る



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [chiikiokoshi@town.uryu.hokkaido.jp](mailto:chiikiokoshi@town.uryu.hokkaido.jp)

(電話番号) 0125 - 77 - 2211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook) <https://www.facebook.com/area.uryuu/>

### 基本情報

【年齢】  
41歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道旭川市  
【前職】  
H16~H30  
旭川市旭山動物園飼育展示係  
H30~R4  
イラストレーター・自然観察会  
講師  
【活動時期】  
R4.4~



### 協力隊に応募したきっかけ

令和3年、昆虫館パピヨンシャトーにアライグマが侵入したとの相談を受け、短期でアルバイトをすることになりました。そこで昆虫館の業務に興味を持ち、もっと密に働けないかと模索していたところ、地域おこし協力隊という仕事を知り応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

もともと、生きものや自然関係にとっても関心があり、自分の得意とする分野です。昆虫館での、生きものを飼育・展示し、自分たちの身近な自然環境について学んでもらい、関心を持ってもらうという仕事は、これまでのキャリアを活かし、伸ばしていけるものです。任期後も昆虫館で学んだ経験を活かしていきたいと考えています。

### 活動内容

基本的な昆虫飼育・受付・売店業務に加え以下の活動も行いました。

#### ●夜の昆虫観察会

昆虫館を囲む森で投光器を使って周りの生きものを集め、参加者と観察しました。



#### ●旭山動物園とのコラボ企画

昆虫館から動物園にクワガタ・カブトムシを貸し出し、動物園からカイコを借りて展示しました。



#### ●沖縄研修

現地の動物園スタッフに昆虫館で飼育しているチョウの生息地を案内してもらい、展示できそうな生きものやチョウの食草を採集してきました。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(電話番号) 昆虫館 0166-84-2001

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook)

[https://m.facebook.com/people/%E7%99%BD%E6%9C%A8%E9%9B%AA%E4%B9%83/100040202618447/?locale2=ja\\_JP](https://m.facebook.com/people/%E7%99%BD%E6%9C%A8%E9%9B%AA%E4%B9%83/100040202618447/?locale2=ja_JP)

### 基本情報



【年齢】  
50歳  
【出身地】  
北海道 帯広市  
【転出元】  
北海道 帯広市  
【前職】  
道内大手企業(経理課勤務)  
【活動時期】  
R4.4～  
【趣味】  
登山・フラダンス



### 協力隊に応募したきっかけ

小説家・三浦綾子さんの作品に関心があり、特に「泥流地帯」が映画化されると知り、その業務に携わってみたいと思いました。

また、上富良野町は四季折々の風景が楽しめます。中でも「十勝岳」は素晴らしい山で、毎朝景色を眺めたり、週末には登山を楽しめるなど、生涯暮らしていく土地はここしかないと感じました。

公私に渡って上富良野町を盛り上げていきたい！という思いで応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

上富良野町の情報を全国に発信し、多くの人にこの町の魅力を知ってもらいたいです。

任期後は蒸留専門家となり、町の特産品の魅力が詰まったオイルやフレグランスなどの生産・販売を通して、町を盛り上げていきたいと考えております。

また、自身の敷地に蒸留に使える花などの生産に加え、ロケの撮影スポットとしても提供できるような環境を整備したいと考えています。

### 活動内容

#### ●「ロケサポートかみふらの」の運営

ロケ誘致・支援やロケツーリズムを手掛けるワンストップ窓口「ロケサポートかみふらの」の事務局を担当しています。

撮影現場の申請を行ったり、必要があればスタッフのロケ弁当や宿泊先を手配するなど、制作会社がスムーズにかつ気持ちよく撮影ができるようサポートします。



#### ●観光PR業務

町の魅力をPRするため、イベントへの出店も業務の一つです。町自慢の味「豚さがり」を多くの人に味わってほしいですね。上富良野町をPRすることはもちろんですが、他の出店者がどのようにPRしているか、という点も非常に勉強になります。



#### ●ラベンダー蒸留作業

町の主力商品となる「ラベンダーオイル」は、独自の製法でラベンダーを乾燥させてから抽出するため、青臭さがなく高級感溢れる香りと言われています。

そのオイルを抽出するため、蒸留作業に参加します。真夏の猛暑の中、釜の中で汗と花粉にまみれながらの作業は辛いですが、やりがいのある仕事です。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [info@ls-kamifurano.org](mailto:info@ls-kamifurano.org) (電話番号) 0167-45-6983

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(公式ホームページ) <https://ls-kamifurano.org/>

上富良野町  
ご当地キャラクター



### 基本情報



【年 齢】  
39歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前 職】  
JICA海外協力隊  
【活動時期】  
R3.4～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

北海道への移住を検討していたところ、過去にウェブ製作会社で働いていた経験を活かせる活動内容の地域おこし協力隊の募集を見つけて応募しました。  
車の貸与や勤務日数などの条件や地理条件が希望に合致したことが決め手でした。JOINのサイトから求人を探しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

中富良野町の魅力をよりたくさんの人に知ってもらうために、町のFacebookの運用を通して、地域資源の発掘や広報活動をしていきたいです。また、任期中に中富良野町産の農作物や水を使ったビール醸造所を立ち上げ、任期終了後はビール事業を通じた町の活性化に尽力するとともに、町のお土産としての地位を確立し、納税によって中富良野町に貢献していく所存です。

### 活動内容

#### ● 広報業務

配属された課の職員の方と協力して、町内の取材やSNS運用などの業務を進めています。町役場にいるからこそ町のことをよく知る機会や町民の方とお話をさせていただく機会が多く、日々楽しんで仕事をしています。



#### ● 起業に向けて

##### 【合同会社NAKAFURANO BREWERY】

令和3年の5月からクラフトビール事業の立ち上げについて、相談していました。  
令和4年度には試験販売を行い、購入者の方から美味しかったと嬉しいお声をいただきました。  
今後は会計年度任用職員から業務委託へと活動形態が変わる予定です。  
4月からホップを育てているので、中富良野町で育てたホップからビール造りを目指します。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [ryouko.michiba@nakafurano.jp](mailto:ryouko.michiba@nakafurano.jp)  
(電話番号) 0167-44-2133

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(なかふらの地域おこし協力隊)  
[https://www.instagram.com/nakafurano\\_chiikiokoshi](https://www.instagram.com/nakafurano_chiikiokoshi)

### 基本情報



【年 齢】  
34歳  
【出身地】  
静岡県焼津市  
【転出元】  
北海道羅臼町  
【前 職】  
小学校教諭  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

小学校教員時代、子供たちに夢を持つ大切さを語るうちに、「自分自身をもっと広い世界を見なければ」と思い、青年海外協力隊としてモンゴルの学校へ。帰国後は今しかできないことをやりたいと思い、教員を辞め、広大な土地のある北海道へ移住したのがきっかけ。

### 今後の抱負・任期後の目標

下川町の魅力である人との交流が生まれるような宿を作りたいと思い、セルフビルドでキャビンを建設。  
2020年から「ぐるっとしもかわ」というガイド業も始めた。宿とガイドの組み合わせることで、滞在を通して下川町のライフスタイルや雰囲気をもろごと感じられる場を目指す。

### 活動内容

#### ●A-frame cabin iwor

1日1組限定の1棟貸しの宿。  
キャビンは、下川産材をはじめ、周辺の地域材を使ってセルフビルド。  
床まで窓のため、まるで一枚の絵のような空間。



#### ●ぐるっとしもかわツアー

『しもかわの日常をおすすめする』新しい旅のカタチを提案。みちくさのように何も考えず自由気ままな時間をお届け。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) oishi.yosuke@gurutto-shimokawa.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(公式サイト) <https://www.gurutto-shimokawa.com>

### 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
沖縄県那覇市  
【転出元】  
静岡県浜松町  
【前 職】  
営業職  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

北海道の自然に興味があり、北海道について調べていたところ偶然中川町の地域おこし協力隊の求人をみつけ、「ここで働いてみたい」と思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

中川町へ来る観光客を増やす、また来ていただいた方に中川町を楽しんでもらい、ファンになってもらうこと。そのために、受け入れ態勢の整備、アクティビティの管理、ガイドに関する情報集約・提供、ガイドの育成などを行っていく。任期後は、軸になる仕事をみつけ、中川町でお仕事が続けられるように活動をする。

### 活動内容

#### 国内旅行業務取扱管理者資格取得

旅行業を行う上で必須となる「国内旅行業務取扱管理者資格」を取得しました。現在、開業に向け情報収集や業務に関する実践を積んでいる段階です。今後体制が整い次第、中川町で旅行業・旅行手配業が出来るよう活動を続けていきます。



#### カヌー講習受講

中川町には天塩川という大きな川があり、カヌーをすることが可能ですが、現在カヌーガイドがおらず、案内が出来ないのが現状です。中川町にきた方にカヌーというアクティビティを体験していただき、自然を感じてもらうために講習を受けています。



#### ワーケーション対応

ワーケーションで中川町に来られる方の宿泊先の手配やアクティビティの準備等を行っています。お客様の希望に合わせた内容に出来るよう心がけています。中川町でのワーケーションを通し、中川町のファンになっていただけるよう活動しています。



### 連絡先

### 基本情報



【年 齢】  
37歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前 職】  
左官職人  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

私が幌加内町を知るきっかけになったのは、旧政和小学校にて11年前から開催されている「政和アートFes」です。私は金属造形作家として作品を展示したり、ワークショップをしてきました。昨年アーティストレジデンスとして、約2カ月間幌加内町に滞在し、町の豊かな自然を作品にて表現し展示しました。幌加内町の自然や農業、アートの魅力を多くの方に発信したい、幌加内で感じた感動を与える立場になりたいと思い、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は、幌加内町観光協会にて勤務をしています。幌加内町を観光・情報発信の面から支え、特技のアートも活かし、新たな事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。任期後も幌加内に定住し、継続した取り組みを行いながら、幌加内町を発展させるお手伝いをしていければ幸いです。

### 活動内容

#### ●観光案内所での観光案内業務

5月から9月にかけて、土日に道の駅にて観光案内を行いました。案内ブースには「ほろかないMAP」という大きな地図に、今オススメの観光スポットを写真付きで紹介しました。また、ブースの天井には、朱鞠内湖のイトウとワカサギのモビールを制作・展示をしました。



#### ●ほろプラ新聞

幌加内町の魅力を手書きでフリーペーパーとして配布しました。おそば屋さんMAPや廃線になった深名線、イトウなどをイラスト付きで紹介し、目を引く新聞になりました。観光客のほか、町民も興味をもってくれました。現在は観光協会や役場のホームページで見ることが可能です。



#### ●看板商品の開発

観光庁の事業にて、幌加内町の看板商品の開発に携わりました。中でも幌加内高校とコラボした「筋エビせんべいそば」「そばフィナンシェ」は、POPの制作をし、幌加内町新そば祭りにて販売したところ好評でした。現在町内での販売に向けて調整中です。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @horokanai\_2022 ホロカナイに移住しました(協力隊)

### 基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
北海道 千歳市  
【転出元】  
東京都 杉並区  
【前職】  
フリーカメラマン  
【活動時期】  
R2.8.28～ R5.8.27  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学卒業をきっかけに北海道を離れ、プログラマ・カメラマン・衣料品販売店店長等の様々な職種を経験していました。その後、起業を考えていたがコロナ禍と重なり、今後の活動について模索していた中、中頓別町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、「自分の経験を活かして地元北海道へ貢献したい」と思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

継続してなかとんべつ、宗谷地方に貢献できることを行っていきます。  
「地域の人たちが文化芸術に触れられる機会」を提供できるような「映画館・図書館・美術館」のような機能を場を作り、小規模ながら文化芸術を感じ時間を過ごせる休憩・飲食スペースなどの運営を検討しています。

### 活動内容

#### ●観光情報発信・道の駅管理運営業務

町が設立した観光組織（一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー）の職員として、同社が受託する道の駅やキャンプ場・コテージ等の管理運営業務を行い、SNSによる観光情報発信、パンフレットやチラシの作成、商品ロゴのデザインデザイン等、幅広く活動を行っている。



#### ●森のこども園・ピンネっこクラブ事業

中頓別町認定こども園、教育委員会と連携し、「中頓別の大自然の中、自由遊びを通じて発想力や行動力を育む」活動に参加している。事前準備、フィールドの視察、当日の子供の見守り、写真撮影、片付け等のサポートを行っている。

吉田隊員撮影写真→



#### ●天北トレイル事業

所属団体における事業の1つで、廃線となった天北線軌道跡をかつようしたロングトレイルコースを造成し中頓別町の観光資源の一つとしての活用の検討・発信を行っている。現時点では軌道跡コース等の試歩や、地域理科を深める他の目シンポジウムのスタッフとして関わっている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) m.yoshida@nakatom.com (電話番号) 01634-7-8510

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(facebook) <https://facebook.com/nakatonokoshi/>  
(ブログ) <https://nakatomkyouryokutai.blog.fc2.com/>

### 基本情報



【年 齢】  
36歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

礼文島についてのテレビ番組を見て、礼文島で暮らしたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

礼文島は自然も素晴らしいですが、住んでいる方々も素晴らしい町です。

この環境が失われることのないよう、「また来たい」「住みたい」町として、観光面をはじめ、移住・定住面にも携わり、今後の発展に向け、尽力できればと思っています。

### 活動内容

#### ●カフェスタッフとしての活動

礼文島内の観光施設「カナリアカフェ」において、スタッフとして活動をしています。

利尻山を望む最高のロケーションで、ソフトクリームやコーヒーなどの提供を行っております。

礼文島を訪れた方々に、旅の良い思い出を残していただきたいとの思いで、日々の活動を行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) rebun.kyouryokutai@gmail.com

(電話番号) 0163-86-1001(職場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://twitter.com/rebunvoice8>

<https://www.facebook.com/kyoryokutai.rebun/>

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
北海道（旭川）  
【転出元】  
北海道（石狩市）  
【前職】  
フリーター  
【活動時期】  
R2.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

2019年にアルバイトで初めて利尻に来ました。夏の間のか月間ほどでしたが、島のお祭りに参加させて頂いたり、昆布干しをしたり、釣りを始めてみたりと、島の色々な人達と関わる機会があり、その経験がキッカケで、利尻で暮らしてみたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

神居海岸パークの運営で、沢山の観光客と直接会話する機会があり、もっとリアルな情報を伝えることができれば、利尻を良いと思ってくれる人が増えると感じていました。そこで任期後は、利尻の自然や観光をもっと伝えていくため、映像制作や利尻をSNSの運営を行いたいと思い、現在準備中です。

### 活動内容

#### ● 神居海岸パークの運営

観光協会の運営する神居海岸パークで、ウニ採り体験、昆布お土産作り体験など案内や、体験で使用するウニの採取や管理などを行ってきました。



#### ● 利尻の情報発信

Instagramで、グルメや景勝地などの情報をまとめたり、また神居海岸パークのWEBサイトでは利尻観光のモデルプランを発信してきました。



#### ● ポスターやチラシなどのデザイン

ウニ採り体験のチラシや、宗谷バスの1日乗車券のポスター、利尻町の紙袋のデザインなどを行ってきました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [yoshida-yuto@town.rishiri.Hokkaido.jp](mailto:yoshida-yuto@town.rishiri.Hokkaido.jp)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/rishiri\\_trip/](https://www.instagram.com/rishiri_trip/)

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
北海道苫小牧市  
【転出元】  
北海道旭川市  
【前職】  
機械整備職  
【活動時期】  
R2.4.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

・地元北海道が小さい頃からずっと大好きで、まちの活性化や賑わい作りに携わりたいと思ったから。

【幌延町を選んだ理由】

1. たまたま訪れたサロベツ原野の魅力にとても感動したから。
2. 酪農体験ツアーでお世話になった酪農家さんと仲良くなり、月1で幌延町へ訪れるようになって、このまちに住んでみたいと感じたから。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・幌延町に少しでも必要な存在になれるように、まちの人と交流を深めながら活動をしていきたい。
- ・地域おこし協力隊という肩書きがなくなっても、幌延町のまちおこしを続けていきたい。

### 活動内容

#### ●各種情報発信

- ・まちの広報誌や地域おこし協力隊SNSを見てくださった方から「頑張っているね」など と声を掛けてくれることがとても嬉しい。
- ・コロナ禍でまちの人達と関わる機会を持ってない期間があったが、その期間があったからこそ町のことを深く調べ、活動の中でやりたいことを考えることができた。



#### ●「利尻礼文サロベツ国立公園」の魅力発信

幌延町にある貴重で、魅力的な観光資源である「利尻礼文サロベツ国立公園」の素晴らしさを伝えるため、「ほろのべ・サロベツ花\*NEWS」を定期的に発行しているほか、サロベツ原野ガイドブックを制作しました。



#### ●動画制作・youtube配信

各種PR動画等を制作しており、幌延町地域おこし協力隊公式youtubeチャンネル「ほろのベテレビ」で様々な動画を公開しています。  
まだバズった経験はないのですが、色々とこだわっておもしろい動画づくりを心掛けていますので、ぜひ一度ご覧ください。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 01632-5-1114 (幌延町役場企画政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
幌延町地域おこし協力隊Facebook  
<https://m.facebook.com/horo.okoshitai/>

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道で、地域に根差した観光に携わりたいと考えて就職活動などを進めていく中で、「一般社団法人知床しゃり」を知る。

人の交流する場所に関心があり、そういった場所から地域の観光について考えたり、地域の人々と観光客の結節点となるような仕事がしたいと思っていた中で、(社)知床しゃりの理念に共感し、斜里町の地域おこし協力隊として採用していただいた。

### 今後の抱負・任期後の目標

1. 知床トコさんスタンプラリーの持続可能な事業としての仕組みを構築する
2. E-BIKEを知床の新たなアクティビティおよび移動手段として確立する
3. さまざまな人がゆるやかにつながることのできる場所をつくる

### 活動内容

#### ●知床トコさんスタンプラリー

知床の「泊まる」「味わう」「楽しむ」「おみやげ」など、様々な種類の「知床トコさん」スタンプを集めて楽しんでいただき、集めたスタンプの色や数によって、ここにしかない景品がもらえる企画。推進担当として、シーズンごとの企画やスケジュール管理、資材調達などを行っている。



#### ●E-BIKEレンタル

スタイリッシュでスポーツ走行に適した電動アシスト自転車「E-BIKE」の利用促進のためにレンタルを実施。知床の大自然を体で感じることができるツール。サステイナブルな移動手段として、アクティビティやまち乗りなどを楽しんでいただける企画を考案したり、広報などに携わっている。



#### ●地域イベント

町内で開催されるさまざまなイベントの実行委員会などに入り、運営の手伝いなどを行う。  
これまでに参加したイベント：  
知床しゃり花火大会、知床サステイナブルウィーク、写真ゼロ番地知床



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [akaritakeyama@shiretoko-sustainable.com](mailto:akaritakeyama@shiretoko-sustainable.com)  
(電話番号) 0152-26-9970  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(HP) <https://www.shiretoko-sustainable.com/>  
(Instagram) [https://www.instagram.com/shiretoko\\_stamprally/](https://www.instagram.com/shiretoko_stamprally/)  
(note) <https://note.com/shiretokoshari/>

### 基本情報



【年 齢】  
43歳  
【出身地】  
愛知県岡崎市  
【転出元】  
北海道北見市  
【前 職】  
人材派遣  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊に応募することで、外部から移住してくる人間でも地域とのつながりを作ることができ、田舎で都会にない新しいライフスタイルが創り上げられるのではないかと思ったため。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域で地元にはない事業を興し、外貨を稼ぐ。

- ・コスプレ撮影サービス
- ・レンタルサウナ
- ・海水生物ペット事業
- ・各種ITサービス

など、いくつかテストしてみて絞っていく予定。

### 活動内容

#### ●町内観光用撮影

町内各所、観光エリアやイベントなどの記録用撮影、環境保全のための定点観測用撮影を行う。



#### ●観光イベントのサポート

観光物産協会に関する各種物産展や観光PRイベントへの参加、準備・運営に関するサポートを行う。



#### ●観光情報発信

町内や地域おこし協力隊に関する情報をSNSにて発信する。そのための動画撮影、編集、公開業務。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/saroma\\_tai](https://twitter.com/saroma_tai)

### 基本情報



【年齢】  
49歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前職】  
イラストレーター  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

子供が成人したことを機に、新しいことをしてみたいと考えていたところ、大好きなオホーツクの求人を見つけ、応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光物産協会の運営を充実させ、任期後は観光物産協会の事務局員になる。

### 活動内容

#### ・朝顔トンネル

サロマ湖道の駅に朝顔トンネルを作成。  
アイヌのミュージシャンのMV撮影の現場となる。



#### ・佐呂間の素敵を毎日配信

佐呂間の農業、漁業、林業をはじめ、お店やイベントなどを取材、体験。特産物の調理動画作成。それを、FacebookやInstagramで発信。インスタライブにて、活動内容を配信。



#### ・ホタテシェルアート

佐呂間の特産であるホタテの貝殻を使って、観光でいらした方も楽しんでいただけるようなワークショップを考案。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram 佐呂間町地域おこし協力隊 @saroma\_tai  
facebook サロマ協力隊

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
北海道旭川市  
【転出元】  
北海道旭川市  
【前職】  
番組制作・リポーター  
【活動時期】  
R3.8～  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職で知り合った、地域おこし協力隊の活動を見ていて興味を持ったから

### 今後の抱負・任期後の目標

何らかの形でご当地キャラクターを制作し、運用できるようにしたい

### 活動内容

#### ●動画制作

町の広報と連携して、地域のイベントや施設・観光スポットの紹介等を町の公式YouTubeで発信。



#### ●ご当地キャラクターの制作

現在、遠軽町には4町村が合併する前にできたキャラクターはいるが、統一されたものはいない。そこで、どの地域でも通用するキャラクターを制作しようとしている。



#### ●グラフィックデザイン・イラストの作成

イベントやふるさと納税返礼品に関するデザインや、イラストを適宜作成し、SNSでの発信や印刷物への活用などを行っている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) 役場: kikaku@engaru.jp  
(電話番号) 役場: 0158-42-4818  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(facebook) <https://www.facebook.com/engaru.engaaru/>  
(Twitter) [https://mobile.twitter.com/hinaga\\_engaru](https://mobile.twitter.com/hinaga_engaru)

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
北海道北見市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
カフェ店員など  
【活動時期】  
R3.4～R7.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学への進学を機に、オホーツク地方から札幌へ移住しましたが、年々地元へ帰りたい気持ちが芽生え始め、隣町である遠軽町にも高校時代に住んでいたこともあって、応募しました。

また滝上町は、父親の実家もあり、毎年のように訪問していたこともあることから、特に親しみがありました。

さらに、飲食店での勤務経験を活かすことができ、趣味のお菓子づくりのスキルを伸ばすことができるのではないかと考えたことも、きっかけの一つです。

### 今後の抱負・任期後の目標

製菓の専門学校へ入校し、国家資格である製菓衛生師の取得を目指して日々切磋琢磨しています。

また、町内にある道の駅で焼き菓子を販売したり、他の市町村の協力隊と協働して、イベントを企画するなど、横のつながりも大事にしていきたいです。

これまでの経験を活かして、滝上町の特色溢れる特産品を開発や販売をし、最終的にはふるさと納税のお礼の品として全国の方々へ発信できれば、と思っています。

### 活動内容

#### ●フレグランスハウス業務

5月から10月までの間、フレグランスハウスにおいて喫茶業務に従事しているほか、ハーブガーデンの整備や収穫、石鹸づくりなどの体験メニューの実施、事務作業等のバックオフィス業務も担っています。



#### ●ジャズ喫茶の開催

毎週火、水曜日限定で営業しているカフェ「KARUI」において、2日限定店長体験をさせてもらい、趣味の一つであるJAZZを存分に活かしたジャズ喫茶を企画、開催しました。

町内外問わず、お客様にも多くご来店いただくことができました。



#### ●道の駅イベント「冬物語」

フレグランスハウスは閉鎖する冬期間を利用して、道の駅勤務であり、同じ協力隊員である佐藤隼輔隊員とコラボして、町内産小麦である「きたほなみ」と数種類のハーブを使用した焼き菓子を製造、販売しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
0158-29-2111 (滝上町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook <https://www.facebook.com/taki.okoshi.tai/>

### 基本情報



【年 齢】  
36歳  
【出身地】  
ベトナム  
【転出元】  
富山県射水市  
【前 職】  
通訳者  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

求人サイトで募集情報を見かけて、興味を持ちました。外国人の立場から企画を提案したり、ベトナム語・英語で情報発信をすることによって、町の観光PR力が向上するとともに自分の言語能力も向上できると考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

安定した仕事は、スキルの向上、様々な知識の習得につながり、自分自身が会社・団体の役に立ち、貢献していることを実感できることだと考えており、日本で安定した仕事が継続できれば、将来家族を日本へ迎えようと思っています。

### 活動内容

#### ●町外における特産品販売

町のPR活動として、札幌市において雄武町特産品の販売活動を行い、来場したお客さんへの商品説明・レジ業務等を担当しました。(5月…ホテルポールスター札幌、8月…札幌ドーム)



#### ●町内開催イベントのサポート

新型コロナウイルス感染拡大のため中止が続いていた「雄武の宝 うまいもんまつり」が、9月25日、3年ぶりに開催されました。チラシ作成などの準備作業、祭り当日は観光協会の活動(「雄武牛焼き」の販売、「ちゃんちゃん焼き」の無料配布)を行いました。



#### ●雄武町フォトコンテストのサポート

5月1日～9月30日に作品を募集し、10月下旬に結果発表した2022年「おうむを写そう」フォトコンテストにおいて、ポスター制作、写真の申込受付や投票準備を行いました。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

雄武町観光協会 (電話番号) 0158-85-7234

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(雄武町観光協会) <https://welcome-oumu.hokkaido.jp/>

### 基本情報



【年齢】  
24歳  
【出身地】  
沖縄県読谷村  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
出版社  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

出版社で営業職として全国書店と関わっていた中で、各々の店舗が立地、地域性を活かし店づくりを行っており、書店経営を行いたいと考える。白老町に書店がないという話を現協力隊隊員から聞き、本と地域性を活かし経験を活かした白老町活性化活動を行いたいと思い応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は移動式本屋として活動しており、今後も継続して町内外のイベントで移動式本屋を用いた観光PRを実施する方針。  
任期満了後は町内に新たな拠点を設け本屋を展開し、本の修繕方法を学ぶワークショップや書店経営に注力し本を用いた更なる観光振興への活動に取り組む方針。

### 活動内容

#### ●町内での移動式本屋活動

町内の観光インフォメーションセンター ポロトミンタラにて移動式本屋を出店。子供への読み聞かせや本の魅力、観光客向けに観光PR活動を実施している。



#### ●町外での移動式本屋

洞爺湖町のイベント会場で白老町の観光PRのため移動式本屋を出店。パンフレットを用いた観光PR活動等を実施。移動式本屋は珍しく町外での更なる知名度向上のため活動している。



#### ●イベント会場での移動式本屋

札幌でのマルシェイベントに参加。観光PR活動を実施。アイヌ文化やその他様々な本を店頭並べ観光PR活動を実施。道内外様々な地域で移動式本屋を用いた観光PRを行い、他地域の特色を自身の本屋の活動へ活かしている。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/matatabibunko\\_hon](https://www.instagram.com/matatabibunko_hon)

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
東京都 世田谷区  
【前職】  
株式会社TABIPPO  
【活動時期】  
R4.1～ R6.12  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

国内外を問わず旅をしながら働くフリーランス/インフルエンサーとして活動していました。コロナをきっかけに「人とつながる場所」を自分でも持ちたいと思うようになり、地元北海道でゲストハウス事業をはじめること。多くの拠点の候補がある中、「Fanfare あびら起業家カレッジ」という、安平町の起業支援プログラムを見つけ、エントリーしました。地域おこし協力隊の制度を活用し、様々なサポートを受けながら事業に取り組めることに魅力を感じたのが応募のきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

初年度の目標であるゲストハウスの開業と認知拡大は完了したので、次年度以降はより地域の魅力を感じてもらえるような旅の仕組みづくりを実施したいと考えています。「楽しかったで終わる観光」ではなく、「学びのある旅」を提供していきたいと思っています。任期後もゲストハウスは続けていきます。新千歳が近い利点を活かして、若者が安平町に来続ける仕組みづくりや、北海道の玄関口として面白い人たちの集まる町づくりをしていきます。

### 活動内容

#### ●DIYで40名以上のボランティアが全国から集結

築43年の古民家を購入し、DIYでフルリノベーション。インフルエンサー、経営者、フリーランス、旅人など、全国から応援のボランティアが40名以上集まってくれました。開業前からたくさんの方の想いが詰まった宿になりました。



#### ●クラウドファンディングにて248名から215万円の支援

ゲストハウス開業に向け、クラウドファンディングを実施。たくさんの方からのご支援をいただき、目標金額に対し142%で達成。資金調達だけでなく、安平町の認知拡大にも貢献しました。



#### ●ゲストハウスVACILANDOオープン

2022年11月1日に「ゲストハウスVACILANDO」をオープンしました。『ゆっくり急ぐ』がコンセプトで、スローライフも仕事も両立させたい人が集まる空間です。安平町に足りない20～30代の世代との関係人口づくりのキーになる場所。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- ▶ VACILANDO公式サイト→ <https://vacilando-gh.com/>
- ▶ 個人Instagram→ [https://www.instagram.com/roy\\_world81/](https://www.instagram.com/roy_world81/)
- ▶ 観光情報発信Instagram→ [https://www.instagram.com/tabito\\_hokkaido/](https://www.instagram.com/tabito_hokkaido/)

### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
秋田県由利本荘市  
【転出元】  
長野県長野市  
【前 職】  
映像編集者  
【活動時期】  
R3.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

映像関係の仕事をする前は農業関係の仕事をしていたので農業と映像を組み合わせたいと考えて、農業の盛んな地域への応募をしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

役場内の仕事にも慣れてきたので、これからはスピーディーに活動を進めていきたいです。Youtubeを始めとした情報発信で清水町の活動や町民のことを町内外に知ってもらい、少しでも町に活気がつくように活動していきたいです。

任期後は映像制作で地域に貢献できるようにしていきたいです。

### 活動内容

#### ●町公式Youtubeチャンネルによる情報発信

まちのイベントや取材などを通して、まちの魅力を発信するための動画制作を行い、町公式Youtubeチャンネル「十勝清水町うっちゃねる」にて発信を行っています。



#### ●SNSを活用したまちの情報発信

地域おこし協力隊のLINEアカウントを作成し、まちのイベント情報などの発信を行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp)  
(電話番号) 0156-62-2114

### 基本情報



【年 齢】  
62歳  
【出身地】  
東京都 杉並区  
【転出元】  
東京都 三鷹市  
【前 職】  
フォトグラファー  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

国立公園化される日高山脈について、写真家として観光・PR事業に協力できると思いました。

### 今後の抱負・任期後の目標

国立公園化正式決定が諸事情により延期中ですが、引き続き日高山脈についてのPR活動を行って行きます。任期後については未定ですが、村を基点に十勝～北海道と活動範囲を広げて行ければと思っています。

### 活動内容

#### ●帯広空港ロビーディスプレイ

R3年9月より帯広空港出発ロビーにて、日高山脈の巨大写真プリント（1520x3560mm）を展示しています。



#### ●村内巨大プリント写真展

R4年6月、村の文化創造センターにおいて巨大プリント（1520x2630mm）10点による写真展を開催。環境省アクティブ・レンジャー、写真連盟十勝支部とのコラボレーションによる日高山脈写真月間に発展しました。



#### ●中札内村撮影地図制作

現在進行中の企画です。村内の日高山脈撮影絶景ポイントをまとめた地図を制作中です。道の駅等で配布して、観光に活用して頂ければと思います。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(webサイト) <https://www.lensculture.com/hitoshi-machida>



### 基本情報



【年 齢】  
47歳  
【出身地】  
大阪府 高槻市  
【転出元】  
大阪府 高槻市  
【前 職】  
旅行会社勤務  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

以前より地域活性化に興味があり、またコロナ禍で地方移住が推奨されていたので、この機会に地域活性化に取り組んでみようと思い応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の方に意見を伺い、地域の事を教えてもらいながら、地域に合った環境やSDG'sに関する体験型の企画を造成していきたいと考えております。またサイクリングのおすすめコースを作り、観光客にご案内などサイクリング観光を発信してサイクリング利用を推進していきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●紙漉き体験

夏休みに村内の小学生と中学生向けにおこなった体験イベントです。古紙と野菜の葉っぱや皮など廃棄される部分を利用して紙を作ります。捨てられる物に新しい価値を付けて生まれ変わるアップサイクルを体験してもらいました。



#### ●ツリーイング体験

9月のシルバーウィーク最終日に村内や村外の小学生以上対象に専用のロープを使って木に登る体験を開催いたしました。園地にある立派な木もいくつかご紹介し木や自然の面白さをご案内。木の力強さや木の上から眺める景色は大人も楽しめます。これからも木や自然に触れる機会を作ってまいります。



#### ●サイクリングモニターツアー

9月と10月に1回ずつモニターツアーを開催いたしました。1回目はフェーリエンドルフ発着で小泉淳作氏にスポットをあてた約20kmコース、サイクリング後は今夏オープンしたスパも楽しんで頂きました。2回目は村道を中心に日高山脈がきれいに望める60kmコース、サイクリスト中心に参加して頂きました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
中札内村観光協会（メール）[info@kankou-nakasatsunai.com](mailto:info@kankou-nakasatsunai.com)  
（電話番号）0155-68-3390

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（ツイッター）[https://twitter.com/nakasatsunaitai?s=20&t=6M-f1iULdt\\_yyRVhHZRXzA](https://twitter.com/nakasatsunaitai?s=20&t=6M-f1iULdt_yyRVhHZRXzA)

### 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
神奈川県座間市  
【転出元】  
神奈川県座間市  
【前 職】  
(株)キズキ／筑波大学  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

私は観光学を専門とする研究職の立場から、農山漁村の地域創生事業に携わってきました。現場経験を重ねるなかで、ひとつの地域に腰を据え、直接的な担い手として地域づくりに挑戦することを目指すようになり、一発奮起して移住を決意しました。北海道広尾町は所謂物見遊山型の観光地ではありません。だからこそ、まだ見ぬ地域資源の発掘や観光的魅力の創出、ストーリー性の付加が不可欠になります。克服すべき課題は山積みですが、ポテンシャルに満ち溢れた広尾町での挑戦は毎日が刺激的で高揚感を覚えます。

### 今後の抱負・任期後の目標

「**選ばれ続ける広尾町**」を実現すべく、広尾町の強みを反映した体験型観光プログラムの開発・運営に努めていきます。今年度は多様なプログラムを考案し、手応えを掴むとともに、広尾町らしさの追求や活動内容の外部発信、連携可能性の模索、市場分析など、**活動の土台作り**に徹しました。次年度はプログラムの実装化に向けて、観光人材の発掘育成やフィールド開拓、観光教育の強化にも注力します。任期後は十勝観光の中核を担うべく、関係人口を創出する**拠点整備**や**観光地経営**に関する事業展開を目指しています。

### 活動内容

#### ●一次産業を軸とする体験型観光の推進

広尾町は一次産業が満遍なく展開しています。今年度は放牧見学や昆布干し体験といったオーソドックスな体験観光プログラムを充実させました。今後は一次産業の連動性を体感したり、**国際友好都市をもつノルウェーの要素を加味したプログラム**を考案したりと、更なるオリジナリティの追求に努めます。



放牧見学ツアー

#### ●地元高校生との体験型観光プログラムの共創

総合的な探求の時間を活用した**観光教育**に取り組んでいます。今年度は「**十勝の海・漁業**」を題材に、高校生が発案する体験観光プログラムを共創しました。その過程で、生産現場でのフィールドワークや漁師を交えたワークショップを実施しました。その様子は各種メディアにて紹介されています。



地元高校生の室内昆布干し体験

#### ●視察研修旅行の受入環境の整備

広尾町では視察研修旅行の受入環境を整えています。今年度は**学生インターン**（北海道大学、東京海洋大学ほか）を積極的に受け入れ、視察研修旅行の更なる推進に向けたモニターツアーに参加してもらいました。また、北海道知事（なのみちカフェ）や学生団体などに対する各種アテンドにも従事しました。



北海道知事の来訪対応

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 01558-2-0117 (広尾町水産商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(地域おこし協力隊Instagram (QRコード(左)))  
(ピロロツーリズム推進協議会website (QRコード(右)))



### 基本情報



【年 齢】  
38歳  
【出身地】  
東京都江戸川区  
【転出元】  
千葉県松戸市  
【前 職】  
医療従事者（事務系）  
【活動時期】  
R4.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

昨今のコロナ禍と40代を目前に控え、今後の生き方を真剣に考える機会があり、『せっかくなら好きな事をやろう！』と念願の北海道移住を決意しました。そこで好きなお酒や観光に関わるような仕事をJOINや転職情報サイト等で探し、同時に移住フェアにもオン・オフライン問わず積極的に参加してきました。最終的に東京の移住フェアで以前から旅行で何度も訪れていた池田町ブースにて協力隊募集情報を得ることができました。町長や現役協力隊からの話も聞け、池田町に移住を決めて応募し現在に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊のフットワークの軽さを活かし今後は池田町の食や十勝ワイン等の魅力を伝える体験メニューや商品開発、情報発信をしていきます。任期中に任意団体設立も視野に入れ定期的に主催のイベント等を積極的に発信し町内に定着を図り、町内移住者や交流人口を増加させていきます。主催イベント等を通じて池田町内外の関係者と交流や関係構築を続けていき、協力隊当初の目標である池田町にて池田町及び十勝管内の活性と持続可能な発展を担う地域商社を立ち上げていくために日々活動していきます。

### 活動内容

#### ●移住後初主催イベント

移住して半年弱ですが同期のブドウ栽培推進員との初共催で町内千代田地区の圃場で初めて『秋のブドウ収穫と畑でランチ会』を開催。天候にも恵まれ16人の参加者達と『山幸』を収穫。搾りたてのジュースは甘い！の感動の声。準備は大変でしたが来年以降も協力隊事業として開催していきます。



#### ●初出張、夏の大型イベント参加

8月、初めて池田町を飛び出し札幌ドームで行われた『大ほっかいどう祭』に参加してきました。池田町自慢の「十勝ワイン」や「ハム」「長芋」等を来場者にPR！北海道で有名なタレントさんに「ロゼロック」を飲んでもらったり十勝ワインのファンの皆様と直接お話しできたりと大盛り上がりでした。



#### ●移住フェア in大阪と京都府京丹後市訪問

今後池田町がガストロノミーツーリズムを推進していく中で数ある先進地として京丹後市を選び、担当者から詳細や現状を聞き協力隊としてできる池田町での在り方や方向性を模索してきました。また併せて直の担当ではないが大阪の移住フェアにも参加。現役協力隊として池田町をPRしてきました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 015-572-3218 (役場産業振興課商工観光係)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
池田町地域おこし協力隊  
フェイスブック：<https://www.facebook.com/ikedata.chiikiokoshi/>  
インスタグラム：<https://www.instagram.com/ikedata.chiikiokoshi/>

### 基本情報



【年 齢】  
31歳  
【出身地】  
中国黒龍江省東寧市  
【転出元】  
長野県松本市  
【前 職】  
大学院生  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に足寄町にある九州大学北海道演習林に研究のため毎年来ていました。足寄町の豊かな森林や北海道の文化、オンネトーや雌阿寒岳のような観光資源となる手つかずの大自然は故郷にも通じるところがあり、足寄町の素晴らしさを、国内外の人たちに知ってもらい、多くの方々に足寄町に訪れ、体験して欲しいと考えるようになりました。そのとき足寄町が募集していた「インバウンド対応、エコツーリズムの推進」のための協力隊募集は願ってもないチャンスだと思い、すぐに応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今年度が最終年度で、これから阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区の維持管理を担えるように、今は色々な現場業務の引継ぎを受けています。これからも足寄町に残り、オンネトーに関わる事業を行っていきたいです。そして、日本の永住権取得も考えています。インバウンド需要が戻れば、中国人や韓国人向けのツアー商品づくりやガイドの会社を立ち上げ、将来的には宿泊もできる施設も作ってみたいですね。

### 活動内容

#### ● ツアープログラム開発

オンネトーは四季ごとに楽しみ方がありますが、道路が冬期閉鎖する冬はあまり活用できていません。スノーシューガイドツアーなど、安全に楽しめるツアーが実施できると思い、プログラム開発に取り組んでいます。森林の知識を生かした春～秋のツアーも考えています。



#### ● 町広報誌連載「キンコンカンコー」

足寄町民に、私の活動を通して足寄町の観光について知ってもらうため、広報誌に隔月で連載しています。現場で活動しているからこそ分かるオンネトー地区の自然解説やその時期ごとのイベントなどを紹介しています。



#### ● オンネトー地区管理業務（見習い）

オンネトー一國設野営場を含む現地の管理人が高齢のため、後継者となるべく、様々な維持管理業務を覚えているところです。阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区は現地の自然を理解しなければできないことが多いです。何世代も先までこの自然を残しながら、利活用もできるよう日々勉強しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) →



### 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
群馬県 桐生市  
【転出元】  
宮城県 仙台市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.10～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

「自分らしく暮らし、働ける場所」への移住を目指して転職活動をしていたところ、かねてより興味があった地域おこし協力隊の中でも今までの経験やスキルを活かせるミッションを見つけて応募。暮らしていく場所として釧路市について調べる中で、「日本であって、日本らしくない」雄大で美しい自然に囲まれた環境に惹かれた。まだ知らない日本をもっと海外の人に知ってもらい、楽しんでもらうと同時に、地元の人たちが誇る地域づくりに貢献していきたいと思った。

### 今後の抱負・任期後の目標

海外のお客さんに向けて、日本という旅先の中で「北海道」「道東」というフィールドを選んでもらえるような仕組みづくりに力を入れていきたい。  
目先の目標としては2023年に北海道で開催されるATWSでのネットワーク拡大で、より多くの人に地域の魅力を直接伝え、アドベンチャートラベラーのニーズを吸収して、道地域に落とし込むかを深掘り。任期後についてもポストコロナのインバウンド観光において旅行者も地域も気持ちよく楽しめる仕組み作りに関わる仕事をしたいと考えている。

### 活動内容

#### ●アドベンチャートラベル（AT）の推進

主に欧米豪の旅行者に支持され、近年市場規模が拡大している観光分野である「アドベンチャートラベル（AT）」を当地域で推進するために、地域の観光資源等の調査、ガイドスキルの習得、地域内外の事業者とのネットワーク構築、外国語及び日本語を活用した観光情報発信等を実施。



#### ●ATツアーの企画、商談等によるビジネスネットワーク構築

当地域の観光資源を実体験に基づき調査し、ATツアーとして7泊8日程度のモデルコースを作成。ATの国際的な団体ATTAが主催する世界最大のイベント「ATWS」やオンライン商談会等により、世界各国のATバイヤーとビジネスネットワークを構築。



#### ●海外旅行者向けAT情報発信

インスタグラムやYouTubeにより、海外AT旅行者に向けて当地域のATコンテンツをPR。ひがし北海道の様々なコンテンツを実際に取材し、地域の魅力や楽しみ方を、日帰りや2泊3日のモデルコースとして仕立てて発信。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) okawa@lake-akan.com (電話番号) 0154-67-3200

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/arctic\\_japan/](https://www.instagram.com/arctic_japan/)



### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
茨城県 鹿嶋市  
【転出元】  
茨城県 鹿嶋市  
【前職】  
地域連携DMO 職員  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

道東の着地型旅行会社で働いていたことがあり、道東に戻るきっかけを探していた。

観光協会の活動強化という目的に対して、地域連携DMOでの着地型旅行商品の造成などの経験を生かして貢献できると思い応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光協会の法人化後職員として、道東の中央に位置する標茶町を拠点に旅行者が往来するような拠点を作りたい。

### 活動内容

#### ●標茶町バスターミナル観光案内所 窓口業務

市街地、JR標茶町の隣にあるバスターミナル内の観光案内所での窓口業務



#### ●標茶町や特産品のPR、観光列車のおもてなし

SNSやイベントでの標茶町及び特産品のPR



#### ●近隣町村との観光協会連携事業

鶴居村観光協会、(弟子屈町)摩周湖観光協会との連携事業、摩周・標茶・鶴居プロモーションボードでの活動



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】標茶町役場  
(メールアドレス) info@shibecha-kanko.com (電話番号) 015-485-2111  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) 標茶町地域おこし協力隊  
<https://www.facebook.com/town.shibecha.chiikiokoshi>  
(Instagram) 標茶町地域おこし協力隊  
<https://www.instagram.com/shibechaokoshi/>

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
東京都青梅市  
【転出元】  
栃木県佐野市  
【前職】  
旅行会社  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で旅行会社に限界を感じ、元々やりたいことであった地方創生へ直接携われる仕事を求めて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域おこしとして観光客増加に向けたイベントや施策の実施を行っていききたいと思います。

また、コロナで疲弊する、宿泊、飲食事業者へのフォローもしていきたいです。

### 活動内容

#### ●特産品を活用したレトルトカレーの開発・販売

別海町の特産品「北海シマエビ」と「ホタテ」の風味を味わえる2種類のレトルトカレーを開発しました。

開発には協会の協力をいただき、町内での販売はもちろんのこと、道外イベント出店の際にも完売するなど、別海町の新たなお土産として定着しつつあります。



#### ●道の駅にモーモーベンチ設置

「道の駅おだいとう」に新たなフォトスポットとして牛のベンチを設置しました。道の駅で購入したソフトクリームや牛乳と一緒に写真撮影する人も多く、道の駅の売上UPに繋がったり、SNSに掲載いただくなど好評です。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [betsukaikanko@gmail.com](mailto:betsukaikanko@gmail.com) (電話番号) 0153-74-9018

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(別海町観光協会HP) <http://betsukai-kanko.jp>

### 基本情報



【年 齢】  
38歳  
【出身地】  
埼玉県志木市  
【転出元】  
東京都小金井市  
【前 職】  
不動産会社  
【活動時期】  
R元.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

新しい環境でのチャレンジと起業のため。

### 今後の抱負・任期後の目標

廃線と利用した、町内をめぐる周遊型観光が出来るように広報活動などに力を入れることと、町民の方に受け入れていただけるような活動を心掛けていくこと。

また、野菜の販売から野菜を使った六次産業化なども視野に入れ、新しい別海町の取り組みとして、移住定住や働き先になれるようにしたい。

### 活動内容

#### ●農産物組合での野菜販売

町内で自給用に農産物を作っている人を集めて、昨年7月に「別海農産物組合 べつかいらーべじ」を結成しました。主に町内の温泉施設である別海町ふるさと交流館で毎週土日に野菜販売を行い、軽トラ市や、別海町産業祭に出店するなど活動の幅を広げています。



#### ●旧標津線の廃駅の掘り起こし

旧国鉄標津線の廃駅跡を新たな観光スポットとして掘り起こしました。一昨年度に上春別駅跡地、昨年度に平糸駅と光進駅跡地の整備を行い、看板のレプリカも設置して当時の雰囲気再現しました。

今年も役場職員と協力して草刈り等環境整備も行いました。

今後もSNS等によって鉄道に造詣が深い層へのPRを図り、誘客に努めていきたいと考えます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) syoukou@betsukai.jp  
(電話番号) 0153-75-2111 (内線1624)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム) @betsukai\_kyoryokutai

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.10～R6.10  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学生の時、青森に住んでいる友人に誘われ遊びに来たのをきっかけに津軽が大好きになりました。長期休暇がある度に津軽に足を運び、津軽で暮らしてみたいと思うようになりました。しかし、自分の興味のある求人が見つからず「青森で暮らすタイミングはまだかな」と思っていた矢先、中泊町を見つけました。主な仕事内容が外国人との交流、インバウンド対策と書いてあり、高校の時に留学した経験がこの町で活かそう、また、奥津軽ならではのディープな文化を楽しめそうだと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として2年目を迎え余裕が出来てきたため、より積極的に活動を行っていきたいと思います。インバウンド対策に関しては冬には金多豆蔵人形劇、ストーブ列車を含めたモニターツアーを行い、外国人受け入れの準備を進めます。町内在住外国人ともより交流を深められるように日本語教室の定期開催、また町民との交流の機会もより、増やしていきたいです。今後も活動を通して中泊町の魅力を世界に伝えていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●インバウンド対策

海外からの旅行者を迎え入れられるようにインバウンド対策を行っています。小川三知の最高傑作と言われるステンドグラスが残る宮越家を中心に観光してもらえるように整備しています。右の写真が2022年9月には私がガイドを行い英語でモニターツアーを行った際の写真です。



#### ●町内在住外国人との交流

中泊町に技能実習生として来ている外国人の生活をサポートしています。役場などで事務手続きが必要な際はやさしい日本語で案内を行います。日本語能力検定を受ける実習生に向けて勉強会を行ったり、町民との交流のために、郷土料理のしとぎ餅体験をしてお花見をする会を行いました。



#### ●情報発信

中泊町文化観光協会のイベント情報、町の魅力をSNSで発信しています。中泊町に来る前に町のことを調べていてもあまり町の雰囲気わかる情報が少なかつたため町民インタビューを行いnoteで発信しています。また自分が中泊町に住んでいて驚いたことなどを体験記として投稿しています。



「なんもねえ町」にも誇れるものを 宮越寛さん

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) nakadomariyouryokutai02@gmail.com  
(電話番号) 0173-57-9030  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://www.instagram.com/nakadomari.tourism.info/>  
(Twitter) [https://twitter.com/nakadomari\\_info](https://twitter.com/nakadomari_info)  
(note) [https://note.com/nakadomari\\_roman](https://note.com/nakadomari_roman)

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
青森県八戸市  
【転出元】  
青森県八戸市  
【前職】  
東北電力株式会社  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

個人事業主として生計を立てようとしていたタイミングで当制度を知り、居住地の隣の二戸市で「自分の事業も育てながら地域に貢献しながら活動する形式」での協力隊募集が出ていたことを発見したことから。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域内のデザイン関係、ちょっとした制作物、IT関係の御用聞きなど、気軽に相談できるポジションとして地域内定住&自立を目指します。

### 活動内容

#### ●紙媒体&web製作

個人事業を兼ねて、地域内事業者の方々から紙媒体デザイン&webサイト制作について、任期中は低廉な価格で制作作業を請け負っています。固定顧客も増えてきており、卒業後の収益予想もなんとなく立てられるようになりました。



#### ●移住相談のサポート

移住コーディネーターも兼務し、二戸市の移住ポータル「二戸の暮らしポータル」および「空き家バンク」の記事更新や管理を請け負い、移住相談の最初の窓口対応を含めてサポートしています。



#### ●市内情報の発信

「にのへシャドーズ」「カシオペアブランド推進協議会」などの組織の情報発信担当として、二戸の魅力を発信しています。個人アカウントでも二戸のよいところなどを発信。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) ryo.Takahashi@harahachibu-design.work

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/harahachibu\\_D](https://twitter.com/harahachibu_D)

### 基本情報



【年 齢】  
44歳  
【出身地】  
オーストラリア  
クイーンズランド  
【転出元】  
三重県三重郡菟野町  
【前 職】  
フォトグラファー  
【活動時期】  
R4.4～（1年目）

### 協力隊に応募したきっかけ

自然や四季の移り変わりが好きで、今まで行ったことのない場所に行ってみたく思っていた時に、雫石で自分の仕事でもあるフォトグラファー募集を聞いてやってみたく思った。

### 今後の抱負・任期後の目標

雫石、岩手はまだ海外からの認知度が低いのでこの素晴らしい自然、人との関わりをより多くの人に知ってもらいたい。

そして町全体が海外の方が訪れた時に過ごしやすい、また来たいと思っただけのように改善が必要な箇所を変えていきたい。

### 活動内容

#### ●キャンプシーンの撮影

人気の高いアウトドア、キャンプの様子を撮影、インスタなどのSNSに投稿し、雫石、岩手でできるアウトドアの楽しみ方を紹介する。



#### ●カフェレストランの紹介

雫石、その周辺で楽しめるカフェやレストランなどを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。



#### ●イベント紹介

雫石、岩手、東北で楽しめるイベントや祭りなど、海外の方が興味を持てるようなコンテンツを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。



### 連絡先

Eメール : [kankou@town.shizukuishi.iwate.jp](mailto:kankou@town.shizukuishi.iwate.jp)

IG : [@visit\\_shizukuishi](https://www.instagram.com/visit_shizukuishi)

Pete Leong Photography FACEBOOK page

: [@peteleongphotography](https://www.facebook.com/peteleongphotography)

### 基本情報

【年齢】  
33歳  
【出身地】  
茨城県つくば市  
【転出元】  
千葉県松戸市  
【前職】  
制作会社勤務  
【活動時期】  
R4～



### 協力隊に応募したきっかけ

会員の頃からぼんやりとした地方移住願望はあり、友人が他県の協力隊に着任したことがきっかけで協力隊制度について知りました。  
詳しく調べていく中で「JOIN」にたどりつき、自分のスキルを活かせそうな募集が掲載されていたことや、自分と似たような経歴の方が活躍されていることを知り、思い切って応募してみました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は初年度ということで、町からの依頼ベースで制作にあたることが多いですが、2年目・3年目の活動では、初年度の活動を通じて出来た繋がりを活かして、より踏み込んだ作品創りに取り組みたいと考えています。  
また、任期後は町の情報発信に関わった経験と自身の強みである映像制作スキルをかけあわせ、新しい地域密着型のメディアを運用しマネタイズしていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●映像制作

町のYouTubeチャンネルに掲載される映像として、イベントのアフタームービー・職員採用動画・公共交通を周知するモーショングラフィックスなどの他、SNS掲載用のショート動画や母子手帳アプリに掲載するレシピ動画などを制作しています。



#### ●地域学生とのコラボ制作

町内の公立高校の「総合的な探究の時間」で、地元研究をテーマに取り組む2年生たちと一緒にふるさとCM大賞に出展する映像を制作した他、同高校の軽音楽部のミュージックビデオを制作しています。



#### ●町内フォトスポットの発掘

「いかにも観光資源」というような場所の無い町内で、“見方や切り取り方を変えれば映える（エモい）”ような場所を発掘する為、色々なところでスナップを撮っています。オススメは公民館横の消火栓です。良い写真が集まったら、何かしらの形で世に出せればと思っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(町のYouTubeチャンネル)  
<https://www.youtube.com/channel/UCBmNTP8PhUb9RuJ7MJ4LRhg>

### 基本情報



【年齢】  
48歳  
【出身地】  
滋賀県 彦根市  
【転出元】  
滋賀県 彦根市  
【前職】  
電気工事業  
【活動時期】  
R1.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

山田町が募集していた「無人島キャンプインストラクター」という内容に惹かれたのと同時に、体験観光を通じて町の関係人口の増加、活性化に少しでも協力したいという思いから応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

最終年度となり今年は、無人島キャンプの付加価値として、シーカヤックや様々なプログラム化の実現に向けて取り組めます。  
2023年の任期終了後は、無人島キャンプや体験観光といった内容で起業する予定です。体験観光だけではなく、山田町の豊かな漁業資源にも携わり定住しながら、町の魅力を伝えていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ● 専門家による無人島キャンプ

県内外からキャンプ場経営者や山岳ガイド、キャンプディレクター等の野外活動における専門家を招いて、無人島（オランダ島）で1泊2日のキャンプを行いました。その結果を基に、無人島キャンプを市場に提供する為の取り組みを継続して行っています。



#### ● 安全管理を学ぶ

無人島という環境下では通常のキャンプ場や施設よりも危険度が増します。お客様に安全に楽しんでいただく為には、いかに危険度を下げることが重要です。その為に「リスクマネジメント」や「野外救急法」を学んでいます。



#### ● 充実したプログラム化に向けて

無人島キャンプの体験プログラムのひとつとして、シーカヤックを取り入れる予定です。その為にインストラクター資格を取得し、更なる技術の向上に取り組んでいます。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://www.facebook.com/yamada.chiiko01>  
(Instagram) yamada.chiiko01

### 基本情報



【年 齢】  
53歳  
【出身地】  
青森県八戸市  
【転出元】  
青森県階上町  
【前 職】  
二戸地域雇用創造協議会・  
いわて復興応援隊等  
【活動時期】  
R3.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

ここ十数年、いわて復興応援隊の隊員&雇用創造協議会の実践支援員として、岩手県北地域の観光振興及び雇用の創出にあたってきました。

その経験や人脈等を活かして、岩手県北地域の振興を、アウトドアアクティビティ、特に自転車を活用した観光振興、サイクリングガイドや、ジオパークガイド・トレイルガイド等をメインにして、頑張っていきたいと思い応募させて頂きました。

### 今後の抱負・任期後の目標

サイクリスト・キャンパー・カメラマン・オーディオマニア・珈琲愛好家等々、幅広い趣味の方が訪れたいような場所を提供、町内及び周辺市町村からのリピーターを獲得し、地域の歴史・文化・産業の紹介や、ジオパーク等のガイド、各種ワークショップの開催により、北三陸エリアの振興に繋がってきたい。

また、任期後にも継続出来るよう、収益を確保できる仕組みや、拠点づくりをすすめていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●サイクリングガイドや、アテンドの様子

ゴールデンウィークや、お盆期間に、サイクリスト向けのガイドや、トライアスロン愛好家の練習のお手伝いを、洋野町の魅力を発信!!



#### ●ジオガイド&トレイルガイドの様子

旅行会社等より依頼を受け、ジオパークのガイドや、トレイルコースのガイドをおこなっています。  
※右、東北エモーション



#### ●ジオパーク普及啓発活動&各種イベントの様子

ジオパークの普及活動や、各種イベント等をおこない、地域住民&近隣市町村の誘客をすすめ、経済効果の拡大を目指します。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0194-66-8870 (職場)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/k3rbase/>  
<https://www.instagram.com/kitsanriku.base/charliecapa7.wixsite.com/website-1>

### 基本情報



【年 齢】  
49歳  
【出身地】  
新潟県佐渡市  
【転出元】  
青森県八戸市  
※地域おこし協力隊経験有  
【前 職】  
公務員  
【活動時期】  
R4.6～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

下記2点により、これまでの経験を協力隊活動に活かせる  
と考えたため

- ・前任の青森県八戸市での地域おこし協力隊期間中、活動の幅が広げられず、改めて他の地域で活動してみたいと思ったこと
- ・仙台市での募集内容が、協力隊期間中から将来の定住に向けた活動につながる可能性が高いと感じたこと

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは任期終了までに地域おこし協力隊として自分自身が納得できる活動をする（前回の反省より）  
そのうえで、多拠点で地域に関わる活動を行えるような生業を作りたいと考えている。

### 活動内容

#### ● 3x3連携 動画制作 近隣商店街への誘導検証

スポーツイベントに関する情報発信・動画制作を通じ、イベント来場者を増やす。  
同時に、イベント終了後、近隣商店街を訪れるような誘導できるような仕組みづくりとその検証をしていく。



#### ● 地域おこし協力隊マルシェ(企画中)

現在の活動地域に東北各地からの移住者が多いことから、この地域に住む移住者コミュニティを作り交流を活性化させたい。  
東北各地の地域おこし協力隊にマルシェの形式で仙台に来てもらい移住者に刺さる「地元」を提供してもらう場を作る。

#### ● 活動団体の支援(広瀬川灯ろう流しなど)

地域で行われるイベントのボランティア参加・情報発信を通じ、地域の各活動団体の支援を行う。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) tai015020@city.sendai.jp

(電話番号) 022-247-1337

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

ORコードでも可

(太白区HP)

(隊員ツイッター)



### 基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
宮城県仙台市青葉区  
【転出元】  
東京都葛飾区  
【前職】  
イラストレーター  
アーティスト業  
※個人事業主  
【活動時期】  
R4.7～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京などで20数年アーティスト活動をしていく中で、いつかは地元で貢献する活動をしたいと考える様になりました。加えて、ここ数年の私のアート活動は、自身の作品作りとその販売&アピールからシフトチェンジ。作品を作るまでの過程や作品テーマの構造自体を“共に体験してもらう為の場を作る事”を意識するようになりました。それはその場にいらっしゃる方達のご縁を繋ぐ仕組み作り・地域の中でささやかな縁日の場を作る事、“縁を繋ぎ縁を結ぶ為の縁日作り”です。そんな時、知人から協力隊募集の情報が出ていることを知り、その内容を見て私のこれまでの活動経験とこれからやりたい縁日作りが活かせるのではないかと考え応募致しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

長町商店街を含む長町周辺エリア全体でのアートとコーヒーのイベント開催。  
長町にアートの発信拠点を作り。  
仙台の他の地域のアート拠点の方々との合同イベント開催。  
長町コーヒーフェス開催。  
そのようなイベントやコンテンツの企画や提案をする活動。など。

### 活動内容

#### ●地域情報発信のSNSグループ開設

「いがすべ！長町」長町&周辺エリア情報コミュニティ開設。  
地域の魅力を皆で教え合い盛り上げていく為に、誰でも参加出来る投稿が出来る、地域情報コミュニティSNSを開設。自身でも日々情報を発信すると共に、グループへの参加を促すための広報活動も行う。



#### ●活動団体の支援

・広瀬川灯ろう流し  
地域のメインイベントの一つでもあるお祭りにスタッフとして参加。  
・スタンプラリーに伴う商店街マップ作り  
仙台市が開催するデジタルスタンプラリーで、長町エリアでの利用を促進するための販促チラシ及びデジタルデータの制作支援。



#### ●コーヒー&アートイベント等の企画

これまでのアート活動をヒントとし、隊員任期中の開催を目指した商店街を活用したアートイベントの企画。  
・ドリップパックアート展  
(アーティスト・CoffeeRoaster・商店街コラボの提案)  
・ながまちCOFFEE FES (長町エリアに新たなお祭りを生む)  
・商店街シャッターアートイベント  
(地域学生と商店街で作る街の映えスポットアート拠点)等企画中



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) tai015020@city.sendai.jp (電話番号) 022-247-1337  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】 ORコードでも可  
(太白区HP) (隊員Instagram) (隊員Twitter) (いがすべ！長町FB)



### 基本情報



【年 齢】  
34歳  
【出身地】  
宮城県松島町  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前 職】  
スポーツアパレル、家具  
メーカー販売マネジメント  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学院時代の講義で協力隊の制度を知り、興味を持ったのが最初のきっかけです。地元である宮城県で元々興味があつた観光で地域を盛り上げる仕事に惹かれ応募しました。また、活動を通して地域貢献できるだけでなく、自らも成長できると考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は起業を考えており、活動と並行して、その準備や地域の人たちとの繋がりを多く作っています。起業の際はそのネットワークを生かし、地域全体に賑わいを創出するため、地域のHUBになるような施設をつくることを目標にしています。地域の人だけではなく、様々な地域から様々な人が集まり、コミュニティを作っていく、そんな場所を目指しています。

### 活動内容

#### ●甲冑体験

白石城を拠点とし、甲冑の試着体験の運営を行っています。用いる甲冑はその昔、戦国時代に着用した物を忠実に再現したもので、当時の重みを感じることができる貴重な体験です。私が足軽（通称あしがるさん）の恰好で、皆さまをお出迎えします。



#### ●城キャンプ

白石城本丸広場にテントを張り、白石城を見ながらキャンプを楽しむ「城キャンプ」を開催しています。キャンプだけでなく、白石城の見学やワークショップも開催、城郭好きにはたまらないキャンプです。ご家族、ソロキャンプなど、幅広い年齢層の方にご参加いただき、好評を博しています。



#### ●対話型イベント「OneTable」

白石市にある自然に囲まれたキャンプ場や伝統あるお寺の中で、様々な体験や地元の料理を楽しみながら対話をするイベントです。コロナウイルスで離れてしまった人と人の距離を白石の食、自然、人を通じて埋めていくためのイベントです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [hisayuki@visittohoku.jp](mailto:hisayuki@visittohoku.jp)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/ashigaru\\_san/](https://www.instagram.com/ashigaru_san/)  
(Twitter) [https://twitter.com/ashigaru\\_san20](https://twitter.com/ashigaru_san20)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/ashigarusan>

### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
秋田県秋田市  
【転出元】  
東京都杉並区  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍によって生活がガラリと変わり、満員電車での通勤やままならない外出、子供を友達と遊ばせることができない環境が人生を見つめ直すきっかけになりました。そんな時に出会ったのが角田市の地域おこし協力隊募集でした。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後も引き続き、道の駅の交流人口を増やす為、イベントの企画や移住のイベントにも積極的に参加をして角田市をPRしていきます。

### 活動内容

#### ●dogparkイベントの実施

Dogpark設置 (2021/11/1)  
オープン記念イベント (ドッグフードサンプル配布)  
One love wan life  
ワンちゃんグッズマルシェ (2022/4/24)  
One love wan life  
ワンちゃんグッズマルシェ  
犬の仮装パーティー (2022/10/16)



#### ●ワークショップの開催

月に1回のフラワーアレンジメントワークショップ開催。  
他にも、水引きで作る小物のワークショップやにゃんこけしの絵付け体験も開催。



#### ●グリーンツーリズムの企画・運営

梅のもぎ取り体験&梅ジュース作り  
里芋の収穫体験



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム) [https://Instagram.com/yu\\_mo.kyouryokutai?r=nametag](https://Instagram.com/yu_mo.kyouryokutai?r=nametag)

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
秋田県 湯沢市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

東北地方で観光業に携わり、自分に合った環境で生活したいと思っていたところ、協力隊の募集内容と角田市の環境が自分の希望にマッチしたため角田市の協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在の目標は、「閑散期のない宿にすること」です。そのために、ゲストハウス66が東北観光の拠点となるよう、通年楽しめる観光コンテンツを角田市を拠点に増やしたいと考えています。テーマ型のニューツーリズムや、体験型コンテンツを展開できるよう、準備中です。

また、私の1番の目標が「東北にインバウンド旅行客を増やすこと」です。実現するために、任期後も角田市を拠点としながら東北の観光業の発展に関わっていきたいと考えております。

### 活動内容

#### ●ゲストハウス66の運営

ゲストハウス66の業務を中心としながら活動中です。ゲストハウスでは、全国各地から角田市を訪れる方とのコミュニケーションを楽しんでいます。リピーターのお客様も増えており、ゲストハウスならではの交流を楽しんでいる最中です。



#### ●観光情報メディアの運営

観光情報メディア「TOHOKU ROUTE66」で定期的に観光系記事を作成し、公開しています。実際に公開した記事をみて宿に宿泊していただいたお客様もおり、直接お客様から感想やリアクションを伺えることが、現在のやりがいに繋がっています。また、取材先で今まで知らなかった東北の魅力を知ることができることも日々の活動の面白いポイントです。



#### ●各SNSでの地域情報発信

各SNSを利用して地域情報を発信しております。新しいターゲット層として、20~30代の女性を角田市に呼び込むために、女子旅向けの情報を発信するInstagramを開設しました。これまでとは違う角度で角田市の魅力を発信しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- 観光情報メディア TOHOKU ROUTE66 (<https://road-trip-tohoku.com/>)
- TOHOKU ROUTE66 Facebook (<https://www.facebook.com/tohokuroute66>)
- TOHOKU ROUTE66-女子旅- Instagram ([https://www.instagram.com/tohoku\\_joshitabi66/](https://www.instagram.com/tohoku_joshitabi66/))

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
神奈川県相模原市  
【転出元】  
埼玉県加須市  
【前職】  
個人事業主  
【活動時期】  
R3.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

東京では土地の面積に制限があり、なかなか巨大な作品を制作することができない。一方海外では巨大な作品が数多く存在し尚且つパブリックなスペースに設置することができる条例が定められている地域も多い。今回のプロジェクトでは作品そのもののサイズやコンセプトのスケール感も大きなものを制作・設置し、海外でも活動できるアーティストであることを証明するためのプレゼンテーションの場にする。

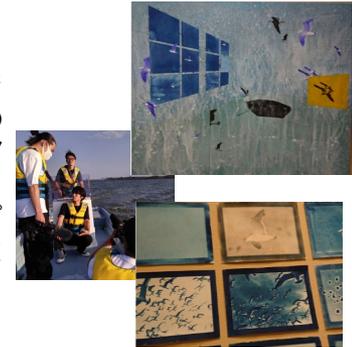
### 今後の抱負・任期後の目標

世界の事例を見ても明らかのように地方創生には芸術が流用される。町民の人たちへの対面的なコミュニケーションも勿論だが、キュレーターのニコラ・プリオーが提唱した「関係性の美学」を検証しながら、地域に対するコミュニケートにうまく機能する芸術活動を行う。芸術は社会や地域に還元され文化の土壌になることが役割だと思っているので、地域の方々やプロジェクトメンバーと共に協力し合って新しい文化都市をつくっていきたい。

### 活動内容

#### ●地域のリサーチと関連作品の制作

鳥の海地区にある特徴的な浮島「蛭塚」の感染症対策で使われた歴史的背景や地理的特徴等をリサーチ。町民の記憶やイメージを寓話化し、シルクスクリーンやサイアノタイプを用いたアート作品制作を実施。町の郷土資料館での企画展にて展示し、町内外の方へプロジェクトの取り組みだけでなく、地域の文化や歴史についての情報発信も行っている。今後は蛭塚内部にアート作品を設置できるか計画中。



#### ●アートを通じたにぎわい創出

空き家を活用した期間限定のアトリエを設置。制作を行いながら子供達など地域住民や域外からのアートファンなどが気軽に立ち寄れる場所をつくり、荒浜・鳥の海地区以外でのにぎわい創出に取り組んだ。また、自身の作品をベースにしたワークショップを行い、町民がプロジェクトやアートに気軽に触れられる機会を創出した。



#### ●アート以外での地域交流活動

亘理高校美術部への訪問や課外活動に参加。また、中学校での出張授業等にも参加し、地元の子供達との交流やキャリア形成にも積極的に取り組んでいる。その他、地域イベントへの参加やプロジェクト全体の運営等にも関わり、アート以外でのまちづくりや情報発信にも広く取り組んでいる。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
WATARI TRIPLE C PROJECT  
(メールアドレス) triplec@onetable.jp (電話番号) 0223-33-2070

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(プロジェクト公式Instagram) <https://www.instagram.com/triplecproject/>

### 基本情報



【年齢】  
22歳  
【出身地】  
神奈川県 横浜市  
【転出元】  
神奈川県 横浜市  
【前職】  
なし  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代に研修で現在の受け入れ先法人であるえにしホースパークで活動していました。その際に、大郷町地域おこし協力隊を紹介していただき、縁あって訪れた大郷町と もっと関わってみたいと思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

触れ合いイベントや馬とのフォト撮影など、サポートという形で携わっている活動が多いのが現状なので、ドリームキャッチャー作りの時のように私自身が主体となって行える活動を増やしていきたいと考えています。また、まだまだ地域の住民の方と関わる機会が少ないので、今後はもっと地域のイベント等に参加し、積極的に関わっていきたいです。

### 活動内容

#### ●ふれあい体験乗馬イベント

近隣地域の保育園や幼稚園、児童館などに馬を連れていき、子どもたちが馬に触れ合ったり体験乗馬をするイベントのサポートをしています。最初は怖がっていた子ども最後は笑顔になってくれるのがとても嬉しいです。



#### ●馬と一緒にウェディング

大郷町の美しい自然の中でのウェディングフォト撮影や結婚式を行うサポートをしています。まるでお伽噺の世界のような美しさを見ることができ、馬も撮影を楽しんでいるように思えます。馬の位置や角度の調整をしたり、モデル様のサポートをします。



#### ●愛馬のドリームキャッチャー

愛馬の蹄鉄を使ったドリームキャッチャー作りの講師をしました。細かい作業が多かったため、実際に作っているところを見ていただきながら同時に進めていきました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [machidukuri@town.miyagi-osato.lg.jp](mailto:machidukuri@town.miyagi-osato.lg.jp)  
(電話番号) 022-359-5537

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
インスタグラム : osato\_ay



OSATO\_AY

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
宮城県 仙台市  
【転出元】  
宮城県 仙台市  
【前職】  
幼稚園教諭／児童館職員  
【活動時期】  
R4.9～

### 協力隊に応募したきっかけ

パストラル縁の郷（現・派遣先）支配人からの紹介。

### 今後の抱負・任期後の目標

これまでの経験を活かし、大郷町の魅力をYouTubeやイベント活動等を通し発信していきたいと思っております。

また現在、来年の夏に派遣先のパストラル縁の郷で“親子で収穫体験を楽しめる農園”を開園するために農業を勉強しています。任期後のことはまだ何も考えていませんが、体調管理だけは気をつけていきたいです。

### 活動内容

#### ・シネマ大郷

9月3日に大郷小学校で開催された映画上映会で司会進行とネタを披露しました。



#### ●いもほりわんだーらんど

10月2日にパストラル縁の郷で主催イベント『いもほりわんだーらんど』を開催しました。自身のSNSを使って告知し、当日は約50人の参加者と一緒にサツマイモ掘りをしました。



#### ●第6回おおさと秋まつり

10月29日に大郷町野球場で開催されたおおさと秋まつりの参加者に提供する常のモロ木製マグネットの教材を製作しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
YouTube/Instagram/Twitter 『すまいるわんだーらんど』

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
宮城県涌谷町  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前職】  
映像クリエイター  
【活動時期】  
R2.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

個人事業主として仙台市で映像クリエイターを行っていたが、法人化するにあたり、自らが培ってきた映像制作や情報発信の技術や経験を活かし、涌谷町の地域発展に貢献していきたいという考えを持ち、応募。

涌谷町の日本初の産金の歴史を中心としたストーリー「みちのくGOLD浪漫」が文化庁により、日本を代表する100の物語「日本遺産」に認定されたことにより、涌谷町の地域資源を再認識したことも応募のきっかけとなった。

### 今後の抱負・任期後の目標

映像撮影・編集の技術を駆使し、涌谷町の農業を中心とした産業のブランディングに寄与する映像制作や日本遺産「みちのくGOLD浪漫」をはじめとした観光にかかわる情報発信を行い、涌谷町の交流人口の増加や経済の活性化に寄与していきたい。

また、任期後は、地方を拠点として、映像制作や広告代理店業事業を行うためのビジネスモデルを確立させたい。

### 活動内容

#### ●地域産業のブランディング

涌谷町の日本初の産金地に基づいたブランド米「金のいぶき」にかかわるブランディング映像を制作し、YouTubeなどの動画共有サイトや店頭でのデジタルサイネージなどで配信している。



#### ●行政サービスの発信

涌谷町役場が行っている上下水道や移住定住にかかわる行政サービスを、職員と連携して作成し、住民等に対して理解深耕・普及啓発に携わっている。



#### ●ライブ配信によるプロモーション

コロナ禍において人と人が対面する機会が減少している中、映像技術を発展させたライブ配信技術を修得し、涌谷町のふるさと納税にかかわるイベントのライブ配信や夏まつりの花火大会のライブ配信を行い、離れていても涌谷町を知ってもらえる、楽しんでもらえる機会創出を行っている。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

宮城県涌谷町企画財政課  
(s-kinno799@town.wakuya.miyagi.jp) (電話番号) 0229-43-2112

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(涌谷町公式YouTubeチャンネル)

[https://www.youtube.com/channel/UCtrSVHFQ3\\_FQXITZ18Zu2tw](https://www.youtube.com/channel/UCtrSVHFQ3_FQXITZ18Zu2tw)

### 基本情報



【年 齢】  
23歳  
【出身地】  
愛知県瀬戸市  
【転出元】  
愛知県瀬戸市  
【前 職】  
大学生  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

大学時代にSNSを使用して、物を売ったり宣伝したり、自身が制作したグラフィックなどを発信していて、それらがすべて活かせると思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、公認キャラクターのイラストやデザインのレパートリーを増やしつつ、グッズ企画に力を入れていきたいです。

### 活動内容

#### SNSアカウントの開設

「みさとまちこちゃん」初のTwitterアカウントを開設しました。まちこちゃんの様子や、イベント情報などを発信しています。



Sunrise

#### 地域のイベントへの参加

「みさとまちこちゃん」を普及させるべく、地域の様々なイベントに参加しました。参加者と一緒に写真を撮ったり、たくさん声をかけてもらいました。



#### ステッカーの製作

「みさとまちこちゃん」を覚えてもらうためにイベントに参加した際に、そこでまちこちゃんと触れ合ってくれた方に配布するステッカーを制作しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Twitter @machikochan3310

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
宮城県美里町  
【転出元】  
東京都足立区  
【前職】  
フリーライター  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

地元のまちづくりに携わりたいと思ったこと

### 今後の抱負・任期後の目標

まちづくり事業を軸とした起業

### 活動内容

#### ●note『みさと新報』

ライターだった経験を活かして、まちの「イベント」や「人」を取り上げて記事化。町内の人には改めて、そして町外の人には新しく美里の情報を知ってもらい、町のイメージの形成および向上を図る。

→ <https://note.com/misatomachiko/>



#### ●移住イベントへの参加

町の移住・定住促進の担当者として、宮城県が主催する移住のオンラインイベントに参加。トーク企画や個別相談ブースで、美里の情報および魅力を移住検討者に伝えた。



#### ●2年目以降へ新たな施作の準備

町外の人に美里へ足を運んでもらうべく、「お試し移住」のような新たな施策を準備中。宮城県内で仙台駅に次ぐ2番目の沿線が通る「小牛田駅」に、少しでも多くの人が降り立ってもらえるよう、他の地域の事例も参考にしながらかたちにしていく最中である。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [misatomachi.kyoryokutai@gmail.com](mailto:misatomachi.kyoryokutai@gmail.com)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://linktr.ee/misatomachi\\_kyoryokutai](https://linktr.ee/misatomachi_kyoryokutai)



### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
宮城県大崎市  
【転出元】  
宮城県大崎市  
【前職】  
大学生  
【活動時期】  
R4.4～

### 活動内容

#### ●Instagramで町の魅力発信



### 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災をきっかけに「地域づくり」に興味を持ち、大学では「まちづくり」を専攻し地域の課題を見つけその解決策を見出すという授業に取り組んでいました。大学で学んだことをそのまま生かせるような仕事がしたいと進路に迷っていたところ、授業で一度訪れたことのある美里町で地域おこし協力隊の募集があると聞き、これはチャンスだと思い応募しました。出身地の大崎市とも近く、地域資源の一つに「薔薇」があることが最大の魅力だなと感じ、それが応募の決め手につながりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後はバラ染めをした布を使って、ヘアアクセサリーを作ったり、薔薇のドライフラワースワッグなどといった商品開発を行っていきたくと考えている。また美里町の関係人口を増やすためにもInstagram『BEVI』のフォロワー1000人到達することが直近の目標である。協力隊卒業後について、現在は薔薇を使った起業を考えている。また地域の魅力発信やプロモーション活動として、InstagramなどSNSでの発信や、チラシ・ポスター制作も引き続き継続していきたくと考えている。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/bevi\\_misatotown/](https://www.instagram.com/bevi_misatotown/)  
(各種SNSへのリンク集) [https://linktr.ee/misatomachi\\_kyoryokutai](https://linktr.ee/misatomachi_kyoryokutai)

### 基本情報



【年齢】  
44歳  
【出身地】  
千葉県 松戸市  
【転出元】  
千葉県 木更津市  
【前職】  
羽田空港リムジンバス  
旅客管理業務  
【活動時期】  
R3.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

以前、私が結婚式を挙げた横手市の会場スタッフのホスピタリティは、ぬくもりがあり唯一無二の経験でした。

その後、秋田県への移住を考えていた中、「観光客目線で地域の課題を見つけ、豊かな地域資源を磨き活用することで、あらゆる産業に活力を与える。」といった横手市地域おこし協力隊のミッションに魅力を感じ、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

横手市へ「行ってみたい」「住んでみたい」と私自身が感じたように、一人でも多くの方に横手市の魅力を知ってもらっただけでなく、訪れたお客様と地域住民の交流を促し、もっと横手市を好きになってもらえるよう、移住者ならではの役割を担ってまいります。

観光資源を活用しながら地域の魅力を伝え、誘客へとつなげていきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●移住アドバイザー業務

横手市に移住後、りんご農家や大型商業施設で働いている方々取材し、どんな事が出来るのか、どのような暮らしをしているのかについて、移住を検討している方に向け記事にしました。

先輩移住者の声は、私にとっても非常に興味深い内容でした。



#### ●かまくら・ライド実行委員会

サイクリングを趣味にしていることから、横手市の食・景色を満喫しながら横手市内全域を巡るサイクリングイベント「かまくら・ライド」実行委員会に参加しイベントの運営を行いました。

約300人のライダーに参加いただき喜んでもらったことが、何より嬉しかったです。



#### ●地域づくり支援事業

地域の方々にも自然環境についての理解を深めてもらう為、アウトドアをテーマにした講習会や複合イベントを企画しています。

農地や里山など、自然への興味を多くの人に促せるよう、キャンプ飯クッキング、キャンプギアの説明などが出来るよう準備を進めています。



### 連絡先

#### 【連絡先】

一般社団法人 横手市観光推進機構

電話番号：0182-38-8652 メールアドレス：tatani-dmo@bz04.plala.or.jp

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

・横手市観光推進機構Facebook



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
宮城県仙台市  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前職】  
営業（専門商社）  
【活動時期】  
R4.3.15～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ渦で大ダメージを受けた、観光・宿泊・飲食業などの支援をしたいと考えようになったから。

幼い頃から日本地理が好きで、時間的自由を得た大学生時日本一周を実行。全国各地の絶景やグルメ、人々との交流を図ってきた。社会人になっても『旅』が人生のテーマとなっており、休日は全国各地を回っていた。その中で得た知見や体験は現在の私を構成している根幹となっている。

私が楽しむのではなく次は私が今まで楽しんできた部分の支援をしたいと思い、協力隊への応募を決意した。

### 今後の抱負・任期後の目標

抱負：秋田県民に聞くと『秋田なんて何も無い』と答える人もいるが、移住者が見る景色はこんな楽しいエリアは無い。その中でも北秋田市は認知度も低く、どんな素材があるかあまり知られていないと感じているため、自身が体験した事を発信する事で、北秋田市への交流人口増加に繋げていきたい。

目標：人口減少が続く秋田県内。労働人口の減少が著しい地域で黒字経営でも後継者不足で廃業してしまう事業者が多い。親族や従業員以外での会社を存続させる、第三者継業する事を目標に協力隊活動外で動いている。

### 活動内容

#### ●森吉山頂に映える看板を

登山者が写真を撮ってみたい、それを見るために山に登りたい、と思ってもらえるような手で持てる看板を自作し、森吉山へもっと多くの方に来ていただける仕掛け作りを行う。

表面に『森吉山』、裏面は写真の通り。北秋田市側から見た森吉山の形に看板を加工し作成。8月末地元新聞紙・秋田魁新報にも掲載され集客に繋がった。



#### ●秋田内陸線 x 自転車旅

秋田県中央北部、鷹巣～角館間を繋ぐ全長94kmの秋田内陸縦貫鉄道沿線旅プランを秋田内陸線社員と計画中。途中駅で下車し電車内に積んだ自転車で沿線添いを観光する。電車や車では見逃してしまう所を、移動速度を落として沿線風景を感じ、空気感を感じ、楽しめる企画を考案中。



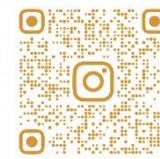
#### ●地域交流

『北秋田市にワイナリーを』を掲げている、森吉山ファーム・あきた野ワイナリー様のブドウ収穫ボランティアの参加。春先からブドウの生育を追っており、今後ワイン作りなどのボランティアを実施していく予定。他にも市内キャンプ場とイベントを企画するなど、地域の方々との交流を積極的に行う。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/yanagi\\_outdoor](https://www.instagram.com/yanagi_outdoor)



### 基本情報



【年 齢】  
24歳  
【出身地】  
埼玉県 さいたま市  
【転出元】  
茨城県 古河市  
【前 職】  
フリーランス動画編集者  
【活動時期】  
R4.10～R7.9  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

どこか田舎に住みたい！フリーランスの動画編集者としてはインターネットさえあればどこでも活動できるので協力隊に応募せずにはただ移住すればいいのですが、それだと結局一人で部屋にこもりパソコンとにらめっこすることに変わりはないと思い新しい働き方を模索していました。たまたま仙北市地域おこし協力隊の募集を見つけ、大学の先輩が就任していることを知り、応募要件に「ネイティブレベルの英語力」…これは自分のためにある！そう確信して応募しました。この選択は正しかったと思います。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは私に委託された業務である「インバウンドグリーンツーリズム事業の運営及び事務作業」の責務を全うすること。それに加え自由に個人的な活動をさせて頂いているので大好きな映像制作に時間をたっぷり使って将来的には起業して自分のスタジオを持ちたいと思っています。仙北市には「絵になる」風景がたくさんありますし、動画クリエイターたちはインターネットがあれば活動できるので、最終的には「クリエイター村」なるものを作って同じ仲間たちと仙北市から世界にコンテンツを発信しようと思います。

### 活動内容

#### ●協議会の運営サポート

仙北市農山村体験推進協議会の運営サポートです。主な内容としては電話及びメールでの予約対応です。仙北市には自然を満喫できるアクティビティがたくさんあり、それを体験したい人とサービスを提供している人を繋げる大事なお仕事です。



#### ●HP管理やSNSを含むPR活動

ホームページやインスタグラムを通じて仙北市の魅力を国内外に発信する業務です。これは私の前職につながるところもあり、自信をもって取り組んでいます。なにより映像制作が大好きなのでこの業務はやっていて楽しいです！



#### ●クリエイター村（仮）建設（予定）

これは自主的に取り組もうと思っている私の任期後の生活に直結してくる活動です。いい感じの空き家をクリエイター用のスタジオにリフォームして活用しようと思っています。具体的な案は固まっていますが、仙北市を「クリエイターが集まる市」にしたいと思っています。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [co-de@city.semboku.akita.jp](mailto:co-de@city.semboku.akita.jp) (交流デザイン課)

(職場) 0187-43-2277 (仙北市農山村体験推進協議会)

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

仙北市地域おこし協力隊フェイスブック

<https://www.facebook.com/sembokurashi/>

仙北市農山村体験推進協議会公式Instagram

<https://www.instagram.com/sembokugt/?hl=ja>

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
宮城県 大崎市  
【転出元】  
埼玉県 川口市  
【前職】  
建設コンサルティング企業  
【活動時期】  
R2.9～R5.8  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

4年前の個人旅行中、偶然訪れた田沢湖高原の山荘での管理人夫婦の温かなもてなし、秋田での暮らしや熊についての話、周辺で採れた天然食材を使った滋味豊かな食事、駒ヶ岳山麓のブナ林や田沢湖の豊かな青など、美しい自然と本質的な生活、素敵な人たちに深く胸を打たれ、旅行者では満足できなくなり移住を決意。職探し中に知人経由で協力隊制度を知り、都内での移住フェアやHPで情報収集の上で応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

具体的に何を仕事とするかは決まっていますが、住み続けたいという気持ちは固まっています。この2年で知り合った方や訪れた場所を通じて、秋田県だけでなく、元々好きだった岩手県にもますます惹かれ、北東北に対象を拡大して興味が尽きないところです。自分なりに感じている魅力を自分なりの形で発信していく仕事を作れたらいいなと思っています。

### 活動内容

#### ●観光庁補助金事業「田沢湖ミハラステラス」創出およびランドマーク化に基づくゲレンデパーク造成事業

- ①申請主体：地域DMO（一社）田沢湖角館観光協会
- ②事業主体：たざわ湖スキー場

田沢湖と秋田の山々を見晴らすたざわ湖スキー場・「ぎんれいハウス」のリニューアルにより、絶景カフェ「田沢湖ミハラステラス」を創出。

話題性ある空間と新メニュー開発、および木工家具や伝統工芸品の導入によって地元事業者が連携した地域の新たなランドマークの創出を図ります。また、グリーンシーズンのゲレンデをフィールドとしたアクティビティ拠点・イベント会場としての活用により、地域活性化と観光振興を同時に叶える「場」として、地域の様々な課題解決を図り、持続可能な観光地域づくりを目指します。



#### ●秋田県事業「新しい旅行スタイルに対応したコンテンツ商品化支援事業」（インバウンド向け）

秋田県の観光コンテンツをイギリス旅行会社へ販売する事業。受託事業者の現地スタッフとしてサポート業務を請うつ中で、仙北市以外の県内の観光資源に関する調査や事業者との交渉を補佐。秋田の魅力に対する外国人の視点を学び、コンテンツ造成に活かします。



Experience overview

Experience tours of Yuzawa's representative natural resources.  
Yuzawa, known as the 'Village of Hot Springs', is, as its name suggests, blessed with some of the best hot springs in the prefecture.  
You can experience the power of geothermal heat that causes hot water to gush up all over the area at Gellutsu, where steam and hot water blow out of the strata, which is rare in Japan. Kawarage Jigoku, which is called one of the three most sacred places in Japan, and Oyu Park, is a natural where the gushing hot spring water flows.

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス） [co-de@city.semboku.akita.jp](mailto:co-de@city.semboku.akita.jp)（交流デザイン課）

（電話番号） 0187-42-8280（（一社）田沢湖・角館観光協会）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

仙北市地域おこし協力隊フェイスブック

<https://www.facebook.com/sembokurashi/>

がっこちゃっこラジオ（右記QRコード）



### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
沖縄県 那覇市  
【転出元】  
秋田県 秋田市  
【前職】  
大学生  
【活動時期】  
R1.9～R5.8  
(4年目)  
※コロナ禍の任期特例

### 協力隊に応募したきっかけ

大企業での就活に取り組む中で、大きな組織で働くことよりも、地方で自由度の高い環境でチャレンジしたいという気持ちが強く芽生え、地域おこし協力隊を志望しました。

仙北市は教育旅行の体験やインバウンド需要に応えられる観光素材が豊富に眠っていることにポテンシャルを感じ、自身の技量が最も活かせる場所であると感じ、選択しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期中の目標として、今拠点を置いている（一社）仙北市農山村体験推進協議会の発展にできる限り寄与することです。発展というのは規模としても、会社運営としても、資金力としても、周りへの影響力としてもよりよくなるよう努めています。現在任期後の定住を見据えて農家民宿の事業承継を今年5月にスタートし、年度内にアクティビティガイドとしての事業も始動（法人化等）します。

### 活動内容

#### ●グリーンツーリズムの推進

仙北市内に点在するグリーンツーリズムの宿（農山村体験ができる宿）の情報発信や事業のサポート（外国人対応・全国旅行支援の補助・Wifi設置の相談など）をしています。  
行けば必ず美味しいお茶菓子でもてなしてくれるので横に体がでかくなり続けています。



#### ●人を楽しませるアクティビティガイド

宿の裏方のサポートだけでなく、自身も前線に立ちお客さんを案内するガイドも率先してやっています。アウトドア関連の案内をすることもあれば、外国人旅行者の通訳と一緒に県内を周ったりすることも。時には教育旅行で訪れた子どもたちの相手もしますよ。



#### ●定住を見据えた農家民宿の事業承継

厳密に言うと、こちらの事業承継は業務外（つまり副業）にあたるのですが、本業との親和性も高く、また定住に向けた足がかりとなっています。築135年以上の茅葺きの古民家宿の事業を引き継ぎ、遊びに溢れた宿としてお客様から評価を頂いています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）[co-de@city.semboku.akita.jp](mailto:co-de@city.semboku.akita.jp)（交流デザイン課）

（職場）0187-43-2277（仙北市農山村体験推進協議会）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

仙北市地域おこし協力隊フェイスブック

<https://www.facebook.com/sembokurashi/>

個人ブログ [https://note.com/shamburs\\_one](https://note.com/shamburs_one)

がっこちゃっこラジオ（右記QRコード）



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
台湾  
【転出元】  
東京都 江戸川区  
【前職】  
旅行ガイド・企画  
【活動時期】  
R2.8～R5.7  
(3年目)

### 活動内容

#### ●自然と伝統行事を取材、海外に発信

素晴らしい自然と伝統文化(祭り等)を有する仙北市、惜しいのは情報が少ない点です。現在YoutubeとInstagram 2つを使って発信しています。Instagramは週4回、Youtubeは撮影から動画編集まで時間がかかるため、月1つもしくは2つの動画を投稿してます。



#### ●スノーボード、スキーインストラクター

ウインターシーズンはたざわ湖スキー場でインストラクターやパトロールの業務を中心として活動しています。写真は、母語を活かして、海外の方にスノーボードを教えている様子です。



#### ●たざわ湖スキー場各大会のサポート

ウインターシーズン、たざわ湖スキー場は様々な大会を開催します。昨年は、全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会が開催され、大会コース整備及び大会終了に伴う撤収作業などをサポートしました。



### 協力隊に応募したきっかけ

個人旅行の観光客は益々増えていますが、東北地方の情報は少ないと思っています。地域の魅力を発見し国内外に発信したり、またガイドの経験と母語を活かしたいと考え、応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の視点で考え、地域マネジメントに繋がって持続可能な旅行プラン作りを実現します。

また、冬の拠点としているたざわ湖スキー場の訪日外国人等に対する知名度が十分ではないため、スキーとスノーボード等のウインタースポーツに興味がある訪日外国人への情報発信を図りたいです。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [co-de@city.semboku.akita.jp](mailto:co-de@city.semboku.akita.jp) (交流デザイン課)  
(電話番号) 0187-43-3301 (交流デザイン課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック  
<https://www.facebook.com/sembokurashi/>  
Youtubeチャンネル (左側QRコード)  
がっこちゃっころラジオ (右側QRコード)



### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
宮城県岩沼市  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前職】  
WEBデザイナー  
(WEB制作・コーダー)  
【活動時期】  
R4.4~

### 協力隊に応募したきっかけ

山形県中山町出身の妻から協力隊募集の話聞き、募集要項を確認したところ、これまでの仕事で行ってきた、ドコモショップやWEBデザイナーとして培ったことが役立つのではないかと思います。応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは町民に私の事を知ってもらい、情報発信を通して、町内で活動されている様々な団体や企業・個人と繋がる事が目標です。また、WEB制作の仕事を平行して行いながら、任期後につなげていきたいです。

任期後の目標は、まず生活基盤を整える為、個人でのWEB制作の仕事を継続的に受注できるようになる事です。その上で、町内外から必要とされるようなサービス(内容未定)を展開したいです。

### 活動内容

#### ●Instagramを使用した情報発信

中山町で開催されたイベントや日常的な風景を投稿しています。町内の方でコメントやDMをくださる方もおり、その返信などもしています。



#### ●スマホ教室

月に2回(09:00~16:00)誰でも参加可能なスマホ教室を実施しています。開催内容は主にスマホの基本操作です。ドコモショップと連携して行っています。基本操作以外は、防災時の使用方法やキャッシュレス、マイナンバーについての話もします。



#### ●WEBサイト制作

現在制作中ですが、総合情報サイトを制作しています。どんな町でなにがあるのかが1サイトで完結するようにしたいと思っています。また、移住定住に特化したサイトをその後、制作したいと思っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram <https://www.instagram.com/nakayamabiyori/>



### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
山形県山形市  
【転出元】  
神奈川県茅ヶ崎市  
【前職】  
中学校事務員  
【活動時期】  
R2.2～R5.2  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

- ・栃木県で地域ボランティア(草刈、江戸時代から続く祭りの運営)や地域企画提案事業が行っていた時期に、関わっていた事業が「栃木県知事賞」を受賞した。県知事賞の受賞をきっかけに、地域振興を本格的な仕事にしたいと決意、地元である山形県にUターン決める。
- ・様々な地域を訪れ、行政担当者に話を伺ったが、一番情熱を感じた中山町の協力隊となり、移住することを決める。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・今後の目標は、現在、休日を利用して運営している「民泊柏倉清右衛門 みんなくかしわくらせいえもん」を事業として軌道に乗せることで、地域の宿泊施設としての役割を担い、関係人口創出の拠点となれるよう努めること。
- ・もう一つは、現在テストマーケティングや販売を行っている中山町の物産商品「北前いも煮」を事業として軌道に乗せることで、商品を通して町のPRにつなげたり、地域にお金がおちる仕組みなどにもつなげていきたいと考えている。

### 活動内容

#### ●観光庁「みらいをつくる観光共創イニシアティブ」実施

- ・協力隊1年目で、観光庁の人材育成事業の現地プログラム事務局を行い、観光商品(体験型商品、物産商品など)に必要な地域関係者との関係の質向上に努めた。
- ・中山町の近隣市町村との協力体制をつくり、winwinになる関係性づくり、企画提案を行った。



#### ●YouTubeコミュニティラジオ開局

- ・観光庁事業に参加した各団体の役員、別組織の人々で、より一層、横のつながり(組織同士の関係性)を強くし、地域振興につなげるために、YouTubeコミュニティラジオ「みらくるラジオなかやま」を開局した。約1年半の活動で、様々な団体のつながりを強くするとともに、町の情報発信コンテンツにもつなげた



#### ●活動内容タイトル3

- ・中山町でしか体験できない旅行商品造成(紅花染め、タフティング体験など)や民泊業開業を行い、休日を利用してお客様受入も行った。
- ・芋煮会発祥の地中山町の物産品開発として「江戸時代の芋煮商品化」を実施した。レシピ開発、試作、試食会、テストマーケティング、販売を実施した。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://ja-jp.facebook.com/ito.kazuyuki.73>  
(YouTubeコミュニティラジオ)  
<https://www.youtube.com/channel/UCVUjMSrDsp6p7KvjX6KyHAG>

### 基本情報



【年 齢】  
38歳  
【出身地】  
愛知県名古屋市  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.5～R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で前職の仕事を続けることが難しくなってしまったタイミングで、憧れだった田舎暮らしをしたいと思い立ち、朝日町ですでに活動されている方を知人から紹介してもらい話を聞きました。募集中のタイミングで実際に町を訪れ、豊かな自然や紡がれている歴史に感動し、また同世代で活躍している方がたくさんいることに刺激されました。想像よりも暮らしやすそうだったこともあり、応募することに決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

関係人口創出を見据えた情報発信のミッションをしていく中で、町にとってどういう形の関係人口を創出することが重要なのかを捉えることが大切だと気付きました。他の地域とも協力しながら朝日町が元気になることで、町外・県外にも活力を与えられるような仕事を、任期後も町に定住しながらしていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●Youtubeチャンネルを開設

就任してすぐに自身のYoutubeチャンネルを立ち上げました。朝日町のイベントなどを中心に「移住者の自分がいちばん楽しむ」コンテンツを発信しています。町の未来に希望を持って活動している町民と共に動画をつくることで、それが町民のモチベーションに直結することが分かりました。



#### ●マイナーな町の特産にも新たな光を

りんごとワイン以外にもたくさんの特産があります。そのひとつで朝日町が全国トップの収穫量を誇るあけびに注目し、米沢の醸造所とのコラボで新しいクラフトビールをつくりました。生産者応援を掲げ、6次化の前例がない特産にも道があるということを示すことができました。



#### ●小学生も希望活動人口に

小学校の5・6年生の総合の授業に参加しています。児童自ら町の魅力を発見し、様々な形で町民に発信するというチャレンジ。子どもの頃に町の魅力を自分で探して発信することで郷土愛が増し、町に希望を持ちつつ社会に出ていってほしいです。



### 連絡先

(ゲストハウス松本亭一農舎 0237)84-0880  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
YouTubeチャンネル「パオクン@山形」  
<https://www.youtube.com/channel/UC05xn7FDaiCgVf9NUJ4r3pA>  
Instagram <https://www.instagram.com/paokunn/>  
Twitter <https://twitter.com/paokunn>

### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
台湾 台中市  
【転出元】  
埼玉県 鴻巣市  
【前職】  
旅行会社係員  
【活動時期】  
R2.2～R6.1  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

ちょうど旅で朝日町に来て、翌年ワーキングホリデービザで日本の田舎で働きたいことと旅行会社で勤めていることを町民に話して、それからその町民の紹介で地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

日本も台湾も高齢化の問題があって、特に田舎方面で若者達が仕事のため都会に移住しますから、町の存続問題になっております。それで今まで旅行会社で働いた経験を活かして観光経由で田舎で新タイプの仕事を作って、若者を地方に呼び返して欲しい。国際交流とビジネスのうちにも地方文化存続の維持をしたいことが私の抱負です。

### 活動内容

#### ●町の魅力を発信

台湾人向けのSNSで観光スポットやイベントの情報などを配信しています。町の日常、農作業、風土文化などを実際に体験し、台湾人目線で町に興味を持ってもらえるよう紹介しています。



#### ●ブloggerとの交流

台湾の旅行ブloggerに町の魅力を紹介しています。ブloggerやファンとオンラインで交流し、関心のあることなどを聞いてツアーコースを提案しています。



#### ●観光案内

町を訪れる台湾人観光客の案内や通訳をしています。町民と観光客が交流し、会話や体験を通して思い出を作ってもらい、また来たいと思うような案内を心がけています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0237-83-7111 (職場)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<http://marutravel1989.blogspot.com/>

### 基本情報



【年 齢】  
41歳  
【出身地】  
福井県 敦賀市  
【転出元】  
兵庫県 西宮市  
【前 職】  
中国語・英語通訳案内士  
【活動時期】  
R3.4～

### 活動内容

#### ●現在の活動について

外国人観光客に大石田の魅力を知ってもらい、気持ちよく観光してもらうことで、いい思い出を持ち帰ってもらえるよう外国人フレンドリーの街を目指して活動しています。まだ手探り状態ですが、限られた時間でできることをやっていきたいです。



### 協力隊に応募したきっかけ

これまで観光業に従事してきており、観光での町おこしには興味がありました。コロナ禍で本業が頓挫し、別の仕事を探していた際に大石田町の地域おこし協力隊の募集を見つけ、その活動に魅力を感じました。

### 今後の抱負・任期後の目標

大石田の魅力を発信していき、外国人観光客に対し知名度を上げる活動を行なっていきたいと思っています。また町民に対しても外国人観光客に抵抗感がないようコミュニケーションツールなどの整備を行なっていく予定です。

### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

〈Tel〉

0237-35-2111(内線145／大石田町役場産業振興課)

〈SNS〉

<http://pottering2021.livedoor.blog/> (blog)

<https://www.instagram.com/oishida.ginzan/> (Instagram)

<https://www.facebook.com/ooishida.machiokoshi2021> (FB)

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
新潟県新潟市  
【転出元】  
山形県山形市  
【前職】  
学生(東北芸術工科大学)  
【活動時期】  
R3.4～ R6.3  
2年目

### 協力隊に応募したきっかけ

大学でまちづくりを学び、町のことを大好きになりました。大学の教授の紹介があり、山や川などの自然が豊かだったことも含め金山町の移住を決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

2年目は、地域の文化を理解しつつ、自立した時の収入源にもなりそうな事業にチャレンジしています。去年は一人でできることが多かったのですが、今年度は地域の人や仲間を募り一緒にやるプロジェクトも増えてきました。今後の目標は居場所づくりと地域が助かる仕組みをつくっていくことです。そのために地域の方の声を聞き、地域外の事例や意見も収集して、怖がらず声と行動に移していきたいです。

### 活動内容

#### ●活動内容 地域の魅力発信『やんばい』

地域魅力発信を目的に毎月ポストカードを作成し全戸配布、最上郡内のお店に配布しています。私は町の皆さんに毎月手紙を書くように出し、町の人は娘さんやお友達にメッセージを書くのに使ってもらいます。いろんな人に金山の魅力を伝えたいです。



#### ●活動内容 暮らし旅

観光よりも金山の人の暮らしに近い体験活動を行っています。漬物作りや箸作り、農家さんの手伝いなど。観光として町を見るのではなく、金山の人が普段やっていることにお邪魔することで、「また〇〇さんに会いに行きます！」など金山との関係が深くなりました。



#### ●活動内容 金山展示

金山町に住んでいる若者と県外の大学生と企画した合同展示KIKKAKE。金山にある素材で映像、写真、家具、イラスト、小物を作りました。町内外の若者の交流と、楽しみつつ金山を盛り上げようという気持ちが高まり金山愛が深まりました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) [https://www.instagram.com/kaneyama\\_no\\_zikan/?hl=ja](https://www.instagram.com/kaneyama_no_zikan/?hl=ja)

(Facebook) <https://www.facebook.com/Kaneyamaokoshi>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
台湾 宜蘭県  
【転出元】  
台湾 宜蘭県  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

2018年に教育交流の視察で、台湾側の小学校の先生と一緒に初めて最上町を訪れました。その後も、小学校の交流活動へ協力をし続ける以外にも、最上町で夏季と冬季の文化体験交流のイベントを開催しました。たくさん打ち合わせを行う中で、国際交流に興味を持ち、地域おこし協力隊に着任して、台湾との国際交流をしたいと思いました。

### 今後の抱負・任期後の目標

台湾と最上町の小学校との国際交流を継続して行っていきます。

### 活動内容

#### ●コロナ禍でのオンライン交流 国際交流の集い

台湾宜蘭県日本友好交流協会と最上町を繋ぐオンライントークショーを開催しました。宜蘭県の紹介や宜蘭県日本友好交流協会の紹介のほか、最上町での思い出やこれから目指すべき交流の方向などをオンライントークの中で話し、交流しました。

#### ●最上町ガイドブック（日本語版/繁体中国語版） 最上町の魅力20選の作成

長引くコロナ禍により、台湾・宜蘭県との直接的な相互交流がままならない状況のなか、今後における“ウィズコロナ”を見据えた取り組みとして、観光や文化、物産面等の積極的なインバウンドの展開にむけた情報コンテンツの充実・発信が極めて重要であると認識します。現状の課題に対応するため、最上町内の自然や食文化、物産、歴史、生活文化等の魅力あるインバウンド資源を、外国人(台湾の人々)目線で紹介するガイドブックとして、情報誌の制作・発行しました。



#### ●令和3年度 新庄・最上ジモト大学プログラム 日台地元PRプロジェクト～MOGAMIから你好～の開催

高校生が地元のPR動画を作り、台湾の日本語学校の生徒に新庄最上を紹介しました。オンラインでお互いに地元の魅力や文化をPRし、台湾文化を学びつつ、楽しみながら交流が行われました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/mogamimachi.chiikiokoshi>

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
埼玉県さいたま市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
美術館学芸員  
【活動時期】  
R2.09～

### 協力隊に応募したきっかけ

夫が飯豊町に移住したことをきっかけに職探しを始めました。私は、もともと登山をはじめとしたアウトドア活動に親しんでいました。そして前職でイベントの企画や運営等をしていた経験を活かし、アウトドア活動を盛り上げることを通じて、地域の活性化をお手伝いできればと考え、地域おこし協力隊に応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後はアウトドア体験を、飯豊町の素晴らしい自然環境や文化体験や美味しい食事などと結び付けて紹介することに尽力したいと思っています。そして任期後は、アウトドア体験 + aを行うガイドとして活動できればと、現段階では考えています。

### 活動内容

#### ●カヌー・SUP体験の充実

飯豊町南部にある白川湖では、近年カヌーやSUPといったパドルスポーツが人気です。特に4-5月に見られる「水没林」を活かした観光を促進すべく、カヌー・SUPの事業者を対象に講師を呼び、コンテンツ充実のための支援を行いました。



#### ●スノーシュー体験の充実

日本有数の豪雪地帯である飯豊町において、雪を活かしたアウトドアアクティビティの充実を図るべく、スノーシューハイキングの提案などを行いました。



#### ●地域の登山活動のお手伝い

地域の方々が盛り上げていこうとしている登山プログラムを地域の観光会社から販売するお手伝いや、コンテンツを充実させるために講師を招聘して登山講習会を開催しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [katou999@town.iide.yamagata.jp](mailto:katou999@town.iide.yamagata.jp)  
(電話番号) 0238-87-0523 (職場・その他)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
Instagram @iide\_yamagata\_chiikiokoshi

### 基本情報



【年齢】  
48歳  
【出身地】  
岐阜県大垣市  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
外資系化学会社 広報部  
【活動時期】  
R2.6～ R5.5  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

猪苗代町中ノ沢温泉街で生まれた「中ノ沢こけし」を作りたいと一念発起し、町内に住む中ノ沢こけしの工人さんのもとに弟子入りしました。最初は東京から通いで修業をはじめ、転職活動中に「地域おこし協力隊」という仕事を見つけました。前職との給与のギャップには大いに悩んだものの、地元の工芸品を作るということは、地域を知る事、つながる事だと思い、また、町のアピールもでき、前職の経験を活かせる仕事だったので、協力隊の仕事に応募することを決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今年は協力隊としての活動はラストイヤーです。協力隊制度の卒業後の自立・就業支援や、給与面に関する課題を感じています。OGとして次に続く協力隊のみなさんとつながり続け、サポートや一緒に活動できればと思っています。任務終了後もしばらくは修行が続きますが、工人としてデビューした際には、地域だけでなく、外に飛びだし、広く活動したいと思っています。「かわいい」だけのこけしではなく、こけしを作る職人の思いや技術、木地玩具の「癒し」なども伝えていきたいです。

### 活動内容

#### ●SNSを活用した町の観光情報の発信

当初400フォロワーに満たなかった町のインスタグラム (@buena\_vista\_inawashiro) の運用を担当。ビジネスアカウントに切り替えてハッシュタグや投稿の分析をしながら、町の観光地、施設情報やイベント、投稿のリポストなど、施設と協力しながら投稿数を増やし、フォロワー数1000以上に伸ばしています。



#### ●中ノ沢こけしを活用した地域の観光振興

地域の有志と「中ノ沢こけしプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、中ノ沢こけしの文化・観光振興を軸とする活動を行っています。2021年、22年と「中ノ沢こけし祭り」を開催し、2年で延べ1300名を超える来場者を迎えました。今年は温泉街に100名以上の宿泊者を迎え、地域活性化に寄与しました。この活動により、町や近隣町村・県にも中ノ沢こけしの存在を大きくアピールしました。



#### ●サイクリストに優しい宿・サイクルスポットの整備と情報発信

昨今のサイクルツーリズムの取り組みによりサイクリストが地域に増えたことを受け、受け皿となる「サイクリストに優しい宿」の整備をしています。この取り組みは、宿や地域への集客を促す手段の一つとして取り組んでおり、民間が運営するサイト「TABIRIN」への無料登録や県、市の取り組みに便乗しながら、町内、隣町村のサイクリスト受け入れに興味のある施設を回り、整備とサイト登録を促し、集客の一助になるよう活動しています。現在サイクルスポットも含め、16件が新たに登録されています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
左から：町のインスタ、中ノ沢こけしプロジェクト実行委員会インスタ、個人の修行の活動を紹介するインスタ



BUENA\_VISTA\_INAWASHIRO



NAKANOSAWA\_KOKESHI



KOKESHI\_CULTURE

### 基本情報

【年齢】  
48歳  
【出身地】  
大阪府 堺市  
【転出元】  
大阪府 堺市  
【前職】  
地域おこし協力隊  
【活動時期】  
R2.4～



### 協力隊に応募したきっかけ

東北は地ビール・クラフトビールや食べ物が美味しく、綺麗な空気や風土が良いこと、震災からの復興に協力したいという思いから地域おこし協力隊に応募した。

西郷村の協力隊として応募したのは、主任務となっている「フットパス」の経験者であるため。

### 今後の抱負・任期後の目標

フットパスの普及と地域の活性の為に活動する。  
任期後については不明。

### 活動内容

#### ●フットパス事業の推進

フットパス事業を推進する全般的な用務。コース整備や企画、イベント企画、フットパスについての講師等のオブザーバー的用務。

実際に動く実働スタッフとしての用務も行う。

フットパスはイギリス発祥のウォークで、地域を楽しみながら歩ける道とその道を歩くことである。地域活性としては観光に留まらず、地域教育、スモールビジネス、ツーリズム、美化等の多様性に特徴がある。



#### ●フットパス事業 マップ作成

フットパス事業の1つであるが、特に作成されたコースを印刷製本するためにデータをまとめる活動。



#### ●地域活動団体への協力

フットパス事業に関連して、地域活動を行う団体による事業への協力。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(facebook) <https://www.facebook.com/bigourou/>

### 基本情報



【年齢】  
46歳  
【出身地】  
東京都清瀬市  
【転出元】  
東京都品川区  
【前職】  
旅行会社添乗員  
空港職員  
インバウンド系PR  
【活動時期】  
R3.4~R6.3

### 協力隊に応募したきっかけ

【地方での生活へのあこがれ】

お城巡りが好きで全国を旅行するうちに、騒々しい都会で暮らすより、地方でのんびり暮らしたいと考えようになりました。また、いつかサーフィンをしたいと思っていたので、住むなら海のそばが候補でした。

【仕事内容の魅力】

「観光・情報発信」という鹿嶋市のミッションが、長年観光系の仕事に従事した自分の得意分野を活かせると考えたからです。

### 今後の抱負・任期後の目標

R5.4に茨城県鹿行地域の協力隊と一緒に、鹿行地域にある資源や人材を活用しながら、広域連携・相互扶助による地域発展を目指してNPO法人を立ち上げました。任期後はNPO法人での活動を通じて地域貢献していきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●観光PR

- ①SNSによる情報の発信  
Facebook、Instagram、Twitter
- ②観光情報サイトへの執筆  
観光情報サイト「鹿行ナビ」への執筆
- ③メディアへの出演  
テレビ・ラジオ等に出演し、鹿嶋市をPR



#### ●イベント対応

市内で行われるイベントにいらっしゃる観光客へのおもてなし

- ①お出迎え
- ②観光案内
- ③着ぐるみ対応



#### ●サイクルツーリズムへの取り組み

- ①サイクリングマップの作成  
サイクリストや観光客向けに、鹿嶋市と周辺地域の観光情報付きサイクリングマップを作成
- ②サイクルサポートステーションの導入  
サイクリストに優しいまちを目指して、市内の飲食店・施設に協力を依頼



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kyouryokutai.kashima@gmail.com](mailto:kyouryokutai.kashima@gmail.com)  
(電話番号) 0299-82-2911  
(職場：鹿嶋市役所 商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : [instagram.com/kashima\\_okoshi1](https://www.instagram.com/kashima_okoshi1)



### 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
長野県飯田市  
【転出元】  
東京都豊島区  
【前 職】  
TVディレクター  
専業主夫  
【活動時期】  
R.2.4.1～ R7.3.31

### 協力隊に応募したきっかけ

- 1、大学で建築・まちづくりを専攻
- 2、同時に自転車ツーリングサークルにも所属
- 3、テレビ制作で地域の魅力を紹介する番組を制作（東北エリア）

以上3つや今までの経験がすべて生かせる仕事だったこと、また家族ができて働き方などを考え直している時期だったので模索できる時間になると考えました。

### 今後の抱負・任期後の目標

コロナ直後での着任で、活動をスタートして3年目になりました。制限がかかる中でもできることを模索し、活動を続けてきました。まだ稲敷市のサイクルツーリズムは始まったばかりで少しずつ意識改革が進んできたところ。今後も地域内のプレイヤーとして活動を続けていきます。また市内だけに拘らず霞ヶ浦エリア、茨城県南エリアで取り組みの幅を広げていけるよう旅行会社などとの連携を進めています（<https://rallhour.com/>）。いただいた縁を大切に地域に自転車で何ができるのか、取り組んでいきます。

### 活動内容

#### ●稲敷市自転車PR事業「イナシキライド」の開発

稲敷市の自転車事業を共通のイメージにするために「イナシキライド」というタイトルでブランディングを行いました。ツアー、レンタサイクル、サイクルサポートステーション、MAPなどのグッズ展開に関わり、PR動画制作も監修しました。



#### ●自転車ツアーの開発

市内の地域資源を楽しむための手段として「自転車」を活用しようと少人数のガイドサイクリング事業を開発・実施しました（2021→10回）特に、自然環境を生かしたもの→自転車×農業体験、カヤック、釣り、キャンプなどに取り組んでいます。

#### ●自転車イベントの実施

茨城放送（Lucky FM）と共催で「いばチャリin稲敷」を開催（2022.5）。総勢100名が走るイベントのコース造成、立寄先の設計、提供品の調整などを提案、また20名程度いるサポートライダーとの試走会の開催などを指揮しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://i10aym.wixsite.com/musan>

<https://www.city.inashiki.lg.jp/page/dir009107.html>

### 基本情報



【年齢】  
55歳  
【出身地】  
東京都立川市  
【転出元】  
神奈川県鎌倉市  
【前職】  
自営業（模型製造販売）  
【活動時期】  
R4.4.1～ R7.3.31

### 協力隊に応募したきっかけ

将来茨城県に移住する為につくば市付近の市町村を調べていた際、稲敷市の地域おこし協力隊の活動を知りました稲敷市の緑豊かな田園風景や貴重な歴史的建物も現存しているのに感動致しました町の風景が美しく素敵な町という印象や地域おこし協力隊がパワフルに活動されているのをSNSなどで拝見させていただき地域を盛り上げて良い町をつくり守る思いにとっても共感いたしました稲敷市の活性化につながるやりがいのある取り組みに私も参加させていただく思いました。

### 今後の抱負・任期後の目標

いなしきフィルムコミッションのようなサービスを行いたいと考えております稲敷市のPRを強化しインターネットや動画サイトで映像を活用し稲敷市を知ってもらい観光や稲敷市で暮らしてみたいと思う方を増やせたらと思っております退任後いままでの町になかった事業をおこせたらと思っております

また、JRAトレセンが近くあり稲敷市にも馬の育成牧場が多数ございますので誰もが気軽に馬とふれ合える場所をつくりたい夢もあります。

### 活動内容

#### ●稲敷市内外PR活動

稲敷市内外イベントに参加させていただいております マスコットキャラクター（稲敷いなのですけ）と一緒に地域特産品や印刷物を配布しながら稲敷市のPR。（写真/ご当地キャラ成田詣）



#### ●稲敷市の観光資源

稲敷市内の有形、無形文化財SNSなどを活用しながら情報発信させていただいております。（写真/江戸崎祇園祭2022&江戸崎囃子連の皆さま）



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://www.facebook.com/inashiki07/>  
(instagram) [https://www.instagram.com/inashiki\\_07/](https://www.instagram.com/inashiki_07/)  
(Twitter) [https://twitter.com/Inashiki\\_07](https://twitter.com/Inashiki_07)

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
千葉県我孫子市  
【転出元】  
東京都目黒区  
【前職】  
エリア放送業務  
【活動時期】  
R2.7～R7.6  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナの影響でそれまで続けてきた仕事がストップしたり、オンラインのみでのやり取りに変化する中で、コミュニケーションを取りづらいことも多々あり、悩んでいた時に行方市の募集を目にしました。近年、SNSなどの発達によりコミュニケーションが多岐にわたる中、私自身はオンラインやSNS上でのコミュニケーションだけでなく、実際に人に会ってのコミュニケーションを大切にしたいと思い、行方市の地域おこし協力隊では可能と考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

コロナで活動の制限はありますが、積極的に地域に馴染めるように、活動を行っていきたくて考えております。任期後は起業をしたいと考えています。

### 活動内容

#### ●なめテレ（なめがたエリア放送）の普及活動

・電波測定車による電波エリア調査を実施し、視聴エリアの拡大を図る。また、番組撮影や編集作業に従事するとともに、市内の各お宅を訪問しアンテナや機器を設定するなど視聴啓蒙活動を行う。



#### ●〇鹿行地域おこし協力隊との連携

・2022年より、鹿行地域の地域おこし協力隊と連携し、交流人口拡大や地域振興を図るため、サイクリングで地域を巡り、観光スポットの紹介やサップ体験を取り入れたイベントを計画する。



#### ●〇広域(鹿行地域おこし協力隊)とNPO法人設立

・2023年4月に鹿行地域の地域おこし協力隊とNPO法人鹿行地域おこしLab.を設立。鹿行地域をPRするイベントの開催(IbarakiSense@銀座)や地元潮来市で開催されたあやめ祭り他、今後も継続して鹿行地域の魅力を積極的にPRする計画。また、地域コーディネーターや関係人口創出事業に着手していく計画です。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) seisaku02@city.namegata.lg.jp  
(電話番号) 0299-72-0811

### 基本情報



【年 齢】  
50歳  
【出身地】  
兵庫県宝塚市  
【転出元】  
兵庫県宝塚市  
【前 職】  
調理師  
【活動時期】  
R4.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

今回のこのコロナで失職をして、実家へ戻りましたが心の中でどうしても茨城県で頑張りたいと思っていたところに第1期生の村川さんの活動に出会いお手伝いをするにより感銘を受け、前職の経験を活かし自分も美浦村の良さを伝えたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後も美浦村の旬の野菜、湖産物を使い、魅力ある料理を作って提供していきます。今後のコロナの状況にもよりますが、目標としていた美浦村に特化した居酒屋を村内で開店させたい。

### 活動内容

#### ●美浦村週末カフェでかつらめしの提供

美浦村でとれた旬の野菜をメインとしたカフェ内での食事の提供。  
ふれあい市場や旬の美浦村の特産物をお客様に宣伝している。



#### ●霞ヶ浦の漁への参加

自分が漁に出ることによって、霞ヶ浦の日々の様子や湖産物の状況について知り、カフェのお客様に説得力をもって霞ヶ浦の魅力を伝えることができる。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
ツイッター インスタは 検索：かつらめし

### 基本情報



【年 齢】  
46歳  
【出身地】  
東京都  
【転出元】  
東京都江東区  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

20年以上、霞ヶ浦に釣りをするために通っており美浦村にある大山スロープを利用していました。その間に水辺の環境美化に関わる清掃活動なども行ってきました。美浦村の環境が好きで、美浦村に恩返しがたく美浦村の活性化に繋がる仕事をしたいと考え、協力隊に応募をしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

着任後、すぐにコロナの影響で美浦村週末カフェの営業自粛期間があり思ったような活動ができておらず、条件が満たされるなら2年延長の特例を認めて頂きたいと考えています。現在、美浦村週末カフェは週末だけの営業ながら月間約1000名のお客さまが訪れている人気のスポットとなっております。この人気のスポットを任期後になくしてしまうのはもったいないので何かしら美浦村と繋がりをもちながら発展していきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●美浦村週末カフェの運営

美浦村内の鹿島海軍跡地に、サイクリスト、釣り人地域住民が訪れることができる美浦村週末カフェを運営。週末には多くのお客様で賑わう。



#### ●SNSによる情報発信

美浦村週末カフェアカウントによる定期的な情報は心を行っている。

ツイッターフォロワー：1700名

インスタフォロワー：1200名

コロナでカフェがクローズの際には、美浦村の観光資源を定期的に発信した



#### ●ふるさと納税の返礼品として

美浦村へのふるさと納税の返礼品として、私が行うフィッシングガイドチケットを提供した。約10件の申込みがあった。

2023年に向けて、さらなる返礼品の強化を行う。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://mihoweekendcafe.com/>

インスタ、ツイッターは、検索：美浦村週末カフェ

### 基本情報



【年齢】  
46歳  
【出身地】  
沖縄県  
【転出元】  
東京都江東区  
【前職】  
パートタイム  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

主人と一緒に釣りをするために長年霞ヶ浦に通っており、美浦村の自然の豊かさに触れてきました。主人からの勧めもあり、今回応募致しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として美浦村週末カフェのSNS更新や店舗に貼るメニューなどの作成、経理作業を中心に行っています。今後は、主人と相談しながら、美浦村週末カフェをどう発展させていくのか検討したいです。

### 活動内容

#### ●美浦村週末カフェのSNS運用

美浦村週末カフェアカウントによる定期的な情報発信を行っている。

ツイッターフォロワー：1700名

インスタフォロワー：1200名

コロナでカフェがクローズの際には、美浦村の観光資源を定期的に発信した



#### ●ホームページの作成やステッカーデザイン

美浦村週末カフェのホームページデザインを業者と行い、更新を行っている。

また、過去のデザイン関係の仕事を活かして来場者にプレゼントするステッカーや店舗に貼るメニューのデザインを行っています



#### ●美浦村週末カフェ内での活動

営業日には店舗内（キッチンカー内）にて、ドリンクやスイーツを提供しています。

また、店舗の在庫管理や経理出納を行っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://mihoweekendcafe.com/>

インスタ、ツイッターは、検索：美浦村週末カフェ

### 基本情報



【年 齢】  
49歳  
【出身地】  
千葉県千葉市  
【転出元】  
東京都練馬区  
【前 職】  
NPO法人の事務局  
【活動時期】  
R4.8～R7.7  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

海山都会の三拠点で、リモートで仕事、日帰り温泉やご当地グルメなど楽しむ、旅人でありワーケーションのようなライフスタイルを10年以上してきました。コロナ前の3年間、新潟・長野・愛知・岐阜など信越中部地域で、古民家を活用したサテライトオフィスやゲストハウス、コワーキングスペース、移住体験住宅、空き家バンクの視察、各地の地域おこし協力隊員のイベントに参加し、自治体さん、地域の皆さんから様々な学びを頂戴しました。この経験を活かし地域を行き交う人の流れを創りたく応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域を行き交う人の流れを創り、時間や距離をいとわず、会いたくなる人やもの、場所、ことがある「地域の資質＝宝」を活用し、交流し合う「つながり」を地域を超えて創出します。そのために、やちよまち仮想鉄道プロジェクトを企画し、近隣自治体や、千葉県八千代市など、やちよまち仮想鉄道の駅を延線していきます。空いている空間、空き家空き地空き店舗など空きスペースを活用し、資源活用と未来への継承を目指します。

### 活動内容

#### ●八千代町ワーケーション

八千代町のグリーンビレッジ憩遊館やちよ乃湯の施設に集合し、温泉とランチ、ディナーを一緒に、ワークショップ（和紙でありがとうのカードまたはほぐし織の傘の端布を活用した創作アート）とワーク（仕事や副業、起業、新規プロジェクトについて言語化したり思考の整理化をする）を一緒にする



#### ●おふろワーク

県西地域のイベントに合わせて、観光を楽しみ、八千代町で食事をして地域の温泉に入る。地域を超えて観光する日帰りツーリズム。



#### ●ゴミゼロモーニング

桜川市の真壁地区の神社掃除とお茶会参加し、ランチと入浴とワークショップを八千代グリーンビレッジ憩遊館やちよ乃湯で体験し、交流するイベント。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

TwitterとInstagram @edoshiya / note : <https://note.com/iju/>

web : <https://yachiyomachi.com>

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
愛知県 常滑市  
【転出元】  
愛知県 常滑市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.12.9～R5.12.8  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

JOINの移住フェアに行き、興味を持ったことをきっかけに、その後も全国の自治体への現地見学を重ねた結果、今の那須塩原市へ魅力を感じたため、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は動画編集や情報発信を主に行なっていますが、もう少し活動の幅を広げて将来の糧にすることができたら良いと思っています。  
任期後は活動の中でできた人との繋がりを活かせるような仕事ができればと考えています。

### 活動内容

#### ● SNSを利用した情報発信

日々の活動をSNS (Instagram、Facebook、Youtube) で発信している。  
発信のための動画編集を日々行い、市内のイベント等に積極的に参加している。



#### ● 近隣市町の協力隊との共同活動

定期的に近隣市町の協力隊と集まり、広い視野での情報発信を試みている。  
こちらの活動もYoutubeを主に使用しているが、イベント等の開催も計画中。



#### ● 地元学生を絡めた活動 (予定)

定期的に地域おこし協力隊と地元学生が交流できるような取組を現在計画中。  
学生との繋がりができたら、共同で活動している様子を随時SNSでアップ、イベント等の開催につなげられたら。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @nasushiobarachiikiokoshi (Youtube) なすしおちおこ



### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
千葉県佐倉市  
【転出元】  
千葉県佐倉市  
【前職】  
添乗員  
【活動時期】  
R3.1～R5.3

### 協力隊に応募したきっかけ

観光に興味があり、海外留学の経験を元に観光業での就職を目指していました。しかし、昨今のコロナ事情により、すべての観光業が打撃を受け、自分も転職すべきか進退に悩んでいた時、家族の勧めで地域おこし協力隊の紹介サイトを見たところ、まさに私が目指していた形の業務が沢山あることを知り、さらに様々な地域で募集がかかっていることを知りました。せっかくのチャンス、どうせならば行ったことのない土地を知りたいという気持ちから、応募先を考え、那珂川町にご縁をいただき今に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

私の活動は多岐にわたるように見えますが、その主幹は「那珂川町の魅力を沢山の人が知ってもらおう」というとても地域おこし協力隊らしい活動内容だと感じています。沢山の人が関わる以上、一つの正解というものがない点に苦戦することもあります。反面、那珂川町の魅力を様々な形で多くの人にお届けできることにやりがいを感じています。そのためにも、まだまだ知られていない那珂川町の魅力をもっと発掘していきたいと思っています。

### 活動内容

#### ● ツアーの開催

コロナ禍の状況を鑑みて、オンラインツアーや着地型ツアーの開催をしました。疫病退散祈念を盛り込んだツアーや、那珂川町の特産品「八溝ししまる」、「温泉トラフグ」など那珂川町の魅力を最大限に詰め込んだツアーを開催しました。現在も、沢山の方に利用してもらえるツアーを作成中です。



#### ● ワークーションの開催

那珂川町で行うワークーションは、子ども連れの家族を対象としている点が特徴となります。大人が旅館などで仕事をしている間に、子どもたちは自然の中で那珂川町の遊びを体験し、過ごしてもらいます。子どもたちをサポートする中で、体験を通し、成長する姿を直に見れる瞬間にやりがいを感じます。



#### ● イベントの開催

那珂川町の特産品紹介と観光PRのために、毎年日本橋イベントスペースでの開催を行っています。昨年度、初めて参加申し込みから、出展の準備まで担当しました。慣れない業務もあり苦戦しましたが、イベントの準備を通し、町民の方達と沢山交流を持つことができたきっかけとなるイベントでした。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) nakagawa.chiikiokoshi@gmail.com  
(電話番号) 0287-92-1114(那珂川町役場企画財政課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(那珂川町地域おこし協力隊Instagram)  
[https://www.instagram.com/nakagawa\\_028/](https://www.instagram.com/nakagawa_028/)



### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
山梨県都留市  
【転出元】  
山梨県都留市  
【前職】  
飲食店勤務  
【活動時期】  
R1.8~

### 協力隊に応募したきっかけ

学生の頃から「地域に密着して地域の人と一緒に仕事がしたい」と思っていました。前職を辞め、地元に戻ったタイミングで地元で活躍する地域おこし協力隊員と出会い、地域おこし協力隊とは何か、活動を通しての地域との関わりなどを聞いていく中で「私のやりたい仕事はこれだ!」と思い、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊3年目の年にこれまで地域に蒔いてきた種が一気に花が咲くようにたくさんの地域の方とイベントを企画したり、声を掛けていただけるようになりました。活動をする中で自分の活動は「地域の方々の夢を実現するお手伝い」だと思えるようになり、今後も地域の方々の夢を叶えるお手伝いをしながら、一丸となって地域の課題に取り組んでいきたいと思っています。任期後はまだ確定はしていませんがこれまでの繋がりの中で地域の人とお仕事をする準備の前準備をしているところです。

### 活動内容

#### ●イベント企画・お手伝い

市で開催する大きなイベントから地域の方が開催する小さなイベントまで幅広く携わっています。自分自身でもイベントを企画したり、運営や撮影、チラシのデザインなど様々な形でお手伝いをしています。来月には伊香保温泉石段街で音楽イベントを開催する予定です。



#### ●情報発信

情報発信に必要な魅力発掘、写真・動画の撮影から自分で行ない、Instagram、Twitter、Facebook、YouTube、ウェブサイトなどの様々な媒体での情報発信をしています。またSNSのみならず渋川駅観光案内所内掲示板での発信や、市内の情報を掲載したInformationCardを作成し配布しています。



#### ●デザイン

イベントのチラシやポスター、地域商品券、物産展のPOP等のデザインをしています。また、協力隊の情報発信用ウェブサイトもデザインし日々更新しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(webサイト) <https://shibukawakyouryoku.wixsite.com/mysite>

(Instagram) [https://www.instagram.com/\\_ngmk\\_/](https://www.instagram.com/_ngmk_/)

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
青森県田子町  
【転出元】  
群馬県前橋市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R2.4～ R6.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

帰省した時に、地元の良いところを感じたと同時に、過疎地になっていることも感じ、地方創生に貢献したいと思いました。

みどり市には「おためし地域おこし協力隊」に参加した際に、様々な資源があるにも関わらず、有効活用ができていないことを勿体なく感じたこと、この場所なら様々な面で上手く活性化を見込めるのではないかと思ったため応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

みどり市の協力隊は、人数も多く、それぞれ活動内容も異なるので、協力し合ってイベントや活動を充実していきたいと思っています。

退任後は、現在活動している内容を軸に、収入の一部に充てていければと考えています。

### 活動内容

#### ●情報発信/イベント

地域店舗への取材、観光地の撮影をし、SNS等で発信をしたり、イベント企画・運営などを行っています。私が着任してからは、コロナが始まった頃ということもあり、悉くイベントが無くなりましたが、3年目となると、形を変えて実行されるようになりました。市内の方も知らなかった穴場スポットなどを、今後も発掘していく予定です。



#### ●アウトドア (カヌー/SUP/ノルディック・ウォーク)

みどり市にあるダム湖「草木湖」を中心に、カヌーツアーやSUPツアーのガイド、ポールを2本使用しながら歩くノルディック・ウォークの指導をしています。時期に合わせてツアー内容を変えているので、いつ来ても楽しめるよう心掛けています。みどり市や群馬県の魅力を、自然と触れ合いながら多くの方に知っていただくと嬉しいです。



#### ●ドローン

近年注目を集めるようになった、ドローンを活用しながら活動に取り組んでいます。用途は色々ありますが、観光・情報発信担当ということもあり、現在は空撮を中心に行っています。普段見ることのできない空からの景色を、ドローンを通し、新しい視点でみどり市を発見し、楽しんでいただければと思います。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0277-76-0984 (職場)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
[ホームページ] <http://jurarumin.life>  
[ツイッター] [https://twitter.com/Jura\\_greenGNM](https://twitter.com/Jura_greenGNM)  
[フェイスブック] <https://www.facebook.com/profile.php?id=100006305615202>  
[インスタグラム] <https://www.instagram.com/jurarumin.pic/?hl=ja>  
[ネットショップ] <https://jurarumin.base.shop>

### 基本情報



【年齢】  
55歳  
【出身地】  
東京都江戸川区  
【転出元】  
東京都江戸川区  
【前職】  
IT企業 システムエンジニア、品質管理  
【活動時期】  
R3.10～ R6.10  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

着任の数年前から人や社会への貢献を感じられる仕事をしたい、社会課題の解決につながる活動をしたいと強く思っており、地域おこし協力隊となることで、行政と連携しつつ地域の人々に接し、自分の場づくりやITの知識を活用しながら、その地域に貢献したいと思いました。宿泊型農業体験施設の運営の募集だったので、農業も施設運営も学びながら、地域貢献できると考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在の施設単体での集客、活性化は難しいと思うので、周辺地域と連携する必要があると考えています。お客様にはみどり市全体を楽しんでいただくために、観光スポット、飲食店、事業者なども紹介しながら、地域および農林業、商工業、観光業の連携体制を築きたいと思いません。任期後は活動の延長として独立、事業化したいと思いません。

### 活動内容

#### ●浅原体験村の運営

施設整備やレジ打ち、事務作業、そば打ち、配達作業など、日常的に人手が不足している業務を補いつつ、人手不足の解消と収益向上を目指して、業務改善の取り組みを進めています。体制面の課題対応、改善とともにIT化を進めての効率化を図り、情報発信等による



#### ●ワークショップ、講習、体験イベントの企画、開催(予定)

浅原体験村の資源(農園、そば打ち技術、施設)を活用したイベント(芋掘りやそば打ち体験)を実施するとともに、地域資源を活用した体験イベント(木工、林業、農業関連)、SDGs、IT/DX、組織づくりに関する講習、ワークショップなどの企画、実施に取り組む



#### ●グリーンツーリズムの企画、開催(予定)

地域住民、地域事業者、商工会、観光物産協会との連携を図り、地域外の人々の受け入れ、案内体制態勢を築き、地域案内とワークショップ、体験イベントを組み込んだグリーンツーリズムの企画、実施を目指す。



### 連絡先

[フェイスブック] <https://www.facebook.com/makoto.miyashita.75>  
[インスタグラム] [https://www.instagram.com/mackt\\_delux/](https://www.instagram.com/mackt_delux/)  
[ツイッター] [https://twitter.com/mackt\\_delux](https://twitter.com/mackt_delux)

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
香川県高松市  
【転出元】  
香川県名高松市  
【前職】  
スマートフォン等の修理  
受付サービス  
【活動時期】  
H31.4～R5.3  
4年目

### 協力隊に応募したきっかけ

観光関連の業務での地域おこし協力隊の募集を探していたときに、みどり市の募集に出会いました。

みどり市東町地域の自然や観光資源と、新しいことにチャレンジできそうな環境に魅力を感じ、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光客や移住希望者など、外部から訪れる方と、地域の方が、つながり、ふれあう場所をつくり、そのサポートができるようになっていきたいです。

体験型・着地型観光や地域イベント等の推進にも取り組み、地域を盛り上げていきたいと考えています。

任期後は、撮影やデザイン等のスキルも生かして、活動していきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●イベント、観光ツアー等の企画・運営、観光ガイド

ワークショップ、写真展などの開催や、観光ツアーの企画、観光ガイドも行っています。隣接地域（桐生市、栃木県日光市等）の協力隊との協働事業（フォトコンテスト、ツアー企画など）にも取り組んでいます。



#### ●SNS、パンフレット等での情報発信

SNSを活用した情報発信のほか、地域の魅力を伝える写真集やみどり市地域おこし協力隊のパンフレット等を制作する等、地域のPRに取り組んでいます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）mika-an@city.midori.gunma.jp

（電話番号）0277-76-0984（職場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

[インスタグラム] [https://www.instagram.com/midori\\_chiiki/?hl=ja](https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja)

[ツイッター] [https://twitter.com/midori\\_chiiki](https://twitter.com/midori_chiiki)

[フェイスブック] <https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/>

[ブログ] <https://ameblo.jp/midori-chiiki/>

[ユーチューブ] <https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ>

### 基本情報



【年齢】  
22歳  
【出身地】  
東京都小金井市  
【転出元】  
東京都小金井市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

小さい頃から家族でサービスエリアや道の駅などで買い物や、食事をする事が多く、将来的にそのような場所で働きたいと思っていました。高校生になり、通った高校が農業高校で、園芸を学んでいるうちに農業にも興味を持ち、両方できる仕事を探していて、地域おこし協力隊のサイトで昭和村を見つけて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、出張やマルシェなどで別の地域に行った際に、昭和村に来たことない人や、昭和村のことをあまり知らない人達に昭和村で作っている加工品や作物をどんどん紹介し広めていこうと思います。  
任期後の目標は昭和村に移住ができるのであれば移住し、昭和村で働こうと思います。  
4月にラジオ番組に出させていただき、群馬県民のフォロワーが沢山出来たので、そのアカウントで昭和村のことをつぶやいていこうと思います。

### 活動内容

#### ●とうもろこし祭り

夏に行う道の駅で最大のイベント  
道の駅で作ったとうもろこしを店頭で販売し、農園では、とうもろこしの収穫体験を行いました。



#### ●ハロウィンカボチャ

道の駅で栽培しているハロウィンカボチャと昭和村の農業委員会の方々が作っているジャンボカボチャに顔などをつけて販売しました。



#### ●米作り

道の駅の中にあるレンタル農園をご利用している利用者様たちと田植えをし、稲刈りを行いました。  
余ったお米は道の駅で店頭販売を行う予定です。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Twitter : @Showa\_Okoshi\_T

### 基本情報



【年 齢】  
30歳  
【出身地】  
群馬県 昭和村  
【転出元】  
東京都 八王子市  
【前 職】  
野菜加工センター作業員  
【活動時期】  
R4.4～R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

30歳を前にして何か地元に戻元できることはないかと考えた時に協力隊になることで少しでも県内外の人に昭和村の良さを知ってもらえると考えたからです。

### 今後の抱負・任期後の目標

生まれ育った昭和村の良さをより多くの県内外の人に発信すること。昭和村に残り、昭和村の発展に少しでもいいので力になること。

### 活動内容

道の駅めぐり一む昭和旬菜館での接客対応や野菜の袋詰め作業、野菜の陳列作業等々。また昭和村や道の駅、旬菜館の日々の出来事をSNSを通じて発信すること。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Twitter @showaokoshi

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
東京都武蔵村山市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
公共施設管理  
【活動時期】  
R2.10～R4.10  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地域づくりに興味があったことと、町の特産品に興味があったため。

### 今後の抱負・任期後の目標

小川町の特産品に和紙があります。現在の日本の住宅事情では、和室が少なくなっており、スマホ等の普及で、生活に和紙に関わる機会が減ってきました。和紙が特別な存在ではなく、誰にとっても当たり前に見えるような製品や仕組みを考えたいです。考える際は、プロセスを大事にし、地域の方と一緒に課題やアイデアを出していきたいと思えます。任期後は、町への定住を目指しています。任期中に家を見つけて整備し、地域の方と関係性をつくりながら、和紙に関わる現在の活動を継続的にいり就農することが目標です。

### 活動内容

#### ●小川和紙のPR

小川といえば「和紙」といわれるほど、小川町は和紙で有名です。なかでも楮（こうぞ）だけを使用した「細川紙」の製造技術は、昭和53年に国の重要文化財に指定され、平成26年にユネスコの無形文化遺産代表一覧表に記載されました。

私の活動は、和紙の魅力を地域内外に情報発信し、卒業証書の注文調整、販売を行うことです。

情報発信では、町内で開催される和紙関連のイベント支援、和紙に関係する映画の自主上映会の開催、SNSや町の広報誌を使った情報発信を行ってきました。

卒業証書づくり支援では、9割近くのシェアを占める県立高校等の卒業証書注文の受注、職人さんや関連機関への発注、納品調整と事務局業務全般を引き受けております。



上映会のチラシ



完成した卒業証書

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
Instagram@koba.n.ogawa

### 基本情報



【年齢】  
26歳

【出身地】  
広島県広島市  
佐伯区海老園

【転出元】  
神奈川県横浜市  
保土ヶ谷区岡沢町

【前職】  
横浜国立大学大学院Y-GSA  
学生

【活動時期】  
R3.4~

### 協力隊に応募したきっかけ

- ・旧比企銀行という築130年を超える建物を再生するプロジェクトから小川町に関わるようになり、より町に根ざした活動をしようと考え、町や人との関係性を築くために、協力隊になることを決めました。
- ・協力隊の募集情報については小川町で知り合った知人に教えてもらいました。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・メディアを運用していることのできる魅力発信の面白さを開拓することです。
- ・任期後は、協力隊の活動で築いた関係性をもとに、小川町を拠点に建築やデザインの仕事をしたいです。まずは現在個人で進めている古民家改修・運用のプロジェクトが任期中に見通しがつくようにすることが目標です。

### 活動内容

#### ●LINE「小川町情報スモリバ」

毎週水曜配信 登録者数：5000人程度

小川町に関する素敵な情報をお届けするローカルメディア「小川町情報スモリバ」の編集・運営を担当しています。宣伝的な情報が主ですが、取材なども通して小川町のことを楽しく知るような媒体を目指しています。



#### ●第3期若者未来会議

町に関わりを持つ若者が集まり、2年間で町の課題について話し合い、解決を目指し実践まで行う、若者未来会議の運営を担当しています。第2期では、メンバーとして関わりました。

現在は会議・フィールドワークを通して、次年度に向けた取り組みを考案中です。



#### ●小川町SDGsまち×ひとプロジェクト

小川町が取り組む住民参加型のまちづくりプロジェクトに参加し、フラッグシップ実行委員会の委員長を担当して、小川町の多様な魅力や関係性が感じられるイベントの企画をしています。



#### ●その他 チラシなどのデザインを頼まれることがあります。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(tel) 0493-72-1221 (小川町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

LINE公式アカウント「小川町情報スモリバ」：<https://lin.ee/t14z0io>

小川町地域おこし協力隊Instagram：<https://www.instagram.com/ogawamachi.kyouryokutai/>

木谷海斗個人のInstagram：<https://www.instagram.com/kaitokidani/>

### 基本情報



【年 齢】  
36歳  
【出身地】  
広島県広島市  
【転出元】  
広島県広島市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.10～R5.9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地元での生活や、海外での生活を経て、興味のあった田舎への移住をしたいと考えていた時に、国が取り組んでいる地域おこし協力隊という制度を知りました。自分の希望や新しい挑戦にぴったりな制度がと思い、色々調べた後に長瀬町へ応募をしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後も長瀬町に定住をしたいと考えているので、そのために自分の新しい事業として新しくキッチンカーを使った移動販売などをしたいと考えています。活動の継続をしては、引き続き地元の人たちと一緒に町を盛り上げられるような取り組みやコミュニティ作りにか力を入れていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ● SNSを使った情報発信

長瀬町では誰も取り組んでいなかった海外観光客の人や、日本に興味のある英語圏の人たちに向けた情報発信をしたいと考え、SNSなどで英語と日本語を使った情報発信をしています。



#### ● 長瀬産の材料を使った商品開発

地元の生産者さんのご協力もあり、長瀬産のフルーツや材料を使って。カラフルなフルーツソーダや焼き菓子などの開発・販売をしています。ゆくゆくはこれらをキッチンカーなどでイベント出店や移動販売などをしたいと考えています。



#### ● 移住者や町の若い人を中心としたコミュニティ運営

長瀬町内外、近郊エリアの若い人を中心とした情報発信などが自由にできるコミュニティ作り・運営に携わっています。地域のお土産物を制作したり、人と人が繋がれるような「場」作りを目指しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://www.instagram.com/nagatoro\\_aya/](https://www.instagram.com/nagatoro_aya/)

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
宮城県 名取市  
【転出元】  
東京都 足立区  
【前職】  
住宅の設計、施工管理  
【活動時期】  
R4.5～ R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

空き家再生の事業をやりたいと考えていたときに、銚子市内で古民家・空き家をリノベーションし民宿とレストランを運営されている方と出会い、憧れを抱いたのと同時に銚子市内でかなりの空き家の数があると知り、自分にも何かできるのでは無いかと思い移住しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は移住、定住、関係人口の増加を狙い空き家をリノベーションしたゲストハウスやお試しハウスを作りたいです。任期終了後は銚子市内で起業し空き家建築士、ゲストハウスの運営、移住定住促進などの事業をしたいです。

### 活動内容

#### ● 笠上黒生駅リノベーション工事

銚子電鉄、笠上黒生駅リノベーション工事の設計、作図を行っています。8～9月設計検討、10月26日工事着手。12月中旬竣工予定。築100年の歴史ある駅舎の修繕工事ということで、地域の皆さんの思い出の駅でもあるので、温故知新を大切にこれから駅舎を利用される方が安心して利用できるように、丁寧に工事を進めてまいります。



#### ● 空き家の調査

市内の空き家の現状を調査し、空き家所有者に活用方法の提案を行っています。今後は自分でも空き家を購入しゲストハウス、お試し移住ハウスなどにリノベーションし事業を行なっていきたいと思っています。



#### ● インバウンド向け寿司握り体験イベント

9月28日に総務省地域力創造アドバイザー中川直洋さん企画のインバウンド向け寿司握り体験イベントのアテンドやイベント詳細の企画等を行いました。日本のインバウンド系企業の関係者を銚子市に招待し、銚子の海の幸を堪能してもらいました。今後も観光の受け入れや提案をできるようにしたいです。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(SNSリンク) [linkfly.to/ojimax](https://linkfly.to/ojimax) →Instagram、Facebook  
LINE、YouTube



### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
大阪府枚方市  
【転出元】  
東京都江東区  
【前職】  
鉄道専門コンサルタント  
【活動時期】  
R4.5～R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

これまで鉄道専門のコンサル事業を行うなかで、「鉄道を基軸とした地方創生」をキーワードにMaaS・デジタル化をはじめとする次世代サービスを用いた事業・取組にも注力してきたところ、地域に密着した形で、これを推進していきたいと考えていました。  
その中で、「銚子電鉄」という鉄道会社を擁することが一番の理由ではありましたが、地方創生に取り組むのであれば、まず自分自身が地元に着くことで現状把握と課題解決に内側から取り組む必要があると考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

人口減少が進む現代社会の中、各地でローカル線の廃線が大きな問題となっています。このような状況下で、地元産業の強みを十分に活かすことで、鉄道を軸に地域活性化が行えるという形を創りたいと考えています。  
銚子市が、その成功事例をフォーマットとして全国各地のフラッグシップになれると確信しており、その一助となる役割を担えるよう、尽力していきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●まちづくりセミナーの開催

銚子市のみなさんと、銚子電鉄及び銚子市の現状や問題点を共に考えるきっかけづくりとして、令和4年10月2日に「Railtothefuturein銚子」を開催しました。  
まちづくりの観点から、銚子電鉄を事例として行政との連携や沿線住民との関係等について、江戸川大学の崎本教授、大塚准教授及び銚子電鉄の竹本社長による、講演・パネルディスカッションを企画しました。  
開催形式については、多くの方に参加していただけるよう、現地・オンラインでのハイブリット形式でセミナーを実施しました。

～地方鉄道とまちの未来を沿線から考えよう～  
10.2 (Sun) 13:30  
Rail to the future in 銚子  
銚子、人口減少・少子高齢化にあわせてコロナウイルスによる移動制限など、全国の地方鉄道は苦境にある。一方で地方創生の推進や地域活性化にも必要とする地方鉄道は、新たな役割を求められている。銚子電鉄も事例となり、行政との連携や沿線住民とどう向き合っているのか。そして未来にも銚子が持続的であるために、沿線者の関与によるプラットフォームを提案して考えていきます。  
登壇者 登壇者 登壇者  
崎本 武志 (江戸川大学教授) 大塚 真治 (江戸川大学教授) 竹本 勝紀 (銚子電鉄取締役兼社長)  
主催 当日の日程  
日時：2022年10月2日(日)13:30～16:00 (※受付開始13:00)  
場所：銚子市勤労コミュニティセンター Zoomのハイブリット開催  
参加費：対面・Zoomとも無料(服装自由)  
お問い合わせ：nishiue@choshi-dentetsu.jp  
お申し込みURL：https://forms.gle/E2aDuXhozLvev66  
QRコード  
主催に協賛・協賛者として参加します。・講師の謝辞を掲載してあります。アンケート結果・ブログ等に協力者を掲載いたします。主催者からのご案内・お問い合わせは主催者からいたします。

#### ●安全・安心な運行体制の確保

銚子電鉄は最低限のスタッフで営業しており、運転士の確保についても同様で、余裕があるわけではありません。  
そのため、地域おこし協力隊としての直接の業務ではありませんが、名古屋鉄道株式会社が在籍時に運転士としての勤務経験もあったことから、運転業務についてもサポートを行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [nishiue@choshi-dentetsu.jp](mailto:nishiue@choshi-dentetsu.jp)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/Itsuki\\_Nishiue](https://twitter.com/Itsuki_Nishiue)

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
千葉県富津市  
【転出元】  
東京都大田区  
【前職】  
記者（企画・営業・編集・制作）  
【活動時期】  
R2.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

前職で、千葉県の観光雑誌や観光パンフレットを作っていた経験を活かし、地元の物産や観光資源の良さを県内外問わず多くの人に知ってもらいたいと思ったこと、観光業や観光協会での仕事をやってみたいと思ったことや千葉県という地域の力になりたいという気持ちがきっかけとなりました。観光協会や観光系の求人を探していたところ、香取市のHPでの募集を確認し、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

香取市での活動は3年目となりますが、昨年までは地域団体に所属。諸事情により今年から個人事業主として活動しております。会社員以外での働き方は初めてなこともあり、様々な場面で苦戦はあるものの、色々なことを勉強させていただいています。未だコロナ感染症の影響でイベントなどが中止になり、活躍できる場面が少ないのですが、小さくとも地域協力活動は行っていく所存です。昨年同様、地元の方との交流において、地域ビジネスに繋げる目線を持つことを忘れないように心掛けていきます。

### 活動内容

#### ●地域イベントの取材やSNSによる情報発信

香取市内で行われるイベントの取材&撮影やSNSでの情報発信を行っています。今年に入り今までコロナ感染症の影響で中止だったイベントも、全てではありませんが徐々に開催しているので今まで経験のなかったイベントも取材を行うことができました。



#### ●任期後の定住に向けての市内での交流拡大

今年から個人事業主として活動する中で、地域おこし協力隊としての任期後も同市内で働き、暮らしていくことを目指し、様々な市内の事業者と交流を行っています。現在はいくつか交流が実ったものもあり個人的に副業として仕事を頂いています。



#### ●近隣地域の地域おこし協力隊との交流

今年の年初には同期の地域おこし協力隊員にメインで企画していただき、県内・県外問わず近隣の地域おこし協力隊との交流も行っています。市外から来ていただいた隊員に市内の観光を紹介するツアーを開催するなど積極的に交流は行っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<https://www.facebook.com/katori.kyoryoku>

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
千葉県船橋市  
【転出元】  
千葉県船橋市  
【前職】  
通関業事務補助  
【活動時期】  
R2.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

千葉で観光に関する仕事をしつつ、将来は千葉県内の観光地で、千葉と日本の魅力を発信する仕事をしたいと考えていたところ、今回の制度で香取市が募集をしていたため、応募いたしました。応募に際してはJOIN公式サイトで募集自治体を検索し、市役所HPなども参考にしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光資源の発掘・活用・発信という活動目標に沿って、市内の魅力的な産品・団体・地域などを発見し、引き続き市内外に発信していきたいと思えます。

また、任期後も香取市をはじめとする地域の方たちとの関わり続けていけるよう、出来ることを検討しています。

### 活動内容

#### ●地域情報の発掘・収集・発信

メインミッションである、地域の魅力の発掘・発信。普段はSNS (Instagram) を中心に、道の駅などで配布している「月のお便り」、年に一度、「香取の素敵な方々、集まりました。」などを紙媒体で発行しています。より多くの方へ届けるために様々な手段を利用しています。



#### ●高齢者の集いの場、地域サロンの運営サポート

介護保険事業のひとつである「地域サロン」の運営をサポートしています。月に2回、担当地区のコミュニティホームを開放し、地域の65歳以上の方を対象として筋力アップ体操を行ったり、おしゃべりや手作業をしています。



#### ●地域のお困りごと相談

どこかで出店をしたい×朝市をしているので出店者を募集している、規格外などの野菜の廃棄などがある×こども食堂を開くので野菜が欲しい、子どもを遊ばせたい×子ども向け施設・イベントなど、需給の引き合わせを行っています。また様々な相談を受け、解決や安心につながるよう、アドバイスしています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(電話番号) 0478-50-1212 (香取市役所商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

(Facebook) <https://www.facebook.com/katori.kyoryoku>

(Instagram) <https://www.instagram.com/katori.saito/>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
埼玉県所沢市  
【転出元】  
神奈川県平塚市  
【前職】  
重機メーカー  
【活動時期】  
R3.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

「いつか伊豆諸島で自然と人と関わる仕事がしたい。」この夢を捨てきれず転職活動を始め、伊豆諸島の求人を探し、その中で、この地域おこし協力隊の募集要項を見つけ、まさに私が求めていた仕事内容で応募しました。私は人と話すこと、人に影響を与えることが好きです。私が自然ガイドとして働くことで三宅島を好きになってくれる人が現れれば、それがやりがいになると考えています。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負としましては、三宅島から見える綺麗な星空をガイドし、三宅島をさらに好きになるきっかけを与えられる人材になりたいと考えております。

任期後は三宅島でゲストハウスをやりたいと考えております。島民と観光客を繋げられる温かいゲストハウスにしたいと考えています。

### 活動内容

#### ●三宅島の自然や星空の勉強

三宅島の自然ガイドになるために、三宅島の自然のことや星空のことを勉強しています。また、三宅島に来てもらえるように、三宅島の美しい自然をSNSで発信しています。



#### ●三宅島の自然PR

都内でのイベント時に、来場してくれた方向けに三宅島の紹介をしています。三宅島はどこにあるのか、どのような島なのか、何があるのかなどを話、三宅島に興味を持ってもらえるように活動しています。



#### ●島暮らし体験中の自然ガイドとサポート

三宅島では移住を考えている人向けに島暮らし体験を実施しています。島暮らし体験に参加された方が三宅島をより好きになってもらえるように三宅島の自然ガイドをしています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/Miyakemura.muraokoshi>  
[https://twitter.com/welcom|\\_miyake](https://twitter.com/welcom|_miyake)

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
東京都品川区  
【転出元】  
東京都品川区  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.7～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

会社員を経験して何か特殊な仕事がないかと探していた所、地域おこし協力隊の存在を知りました。そこで小さい頃から所縁のあった燕市を調べ、募集要項の『SNSの発信業務』を見つけ即応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

燕市に移住するための就職先、もしくは起業の模索。移住することは決めているので、そのために生活していける術をこの3年間で見つけたいです。

### 活動内容

#### ●SNSの情報発信

燕市観光協会のInstagram、Twitterを主に動かしています。市内の観光資源に赴き、実際に体験などをして情報を発信しています。これからは物撮り用の撮影ブースを充実させたり、動画の編集などにも力を入れて、観光業界で影響力があるInstagramに力を入れていきます。



#### ●ラーメンマップ・ウェブサイト作成

燕背脂ラーメンMap・ウェブサイトの制作をしています。実際に店舗に赴きラーメンの撮影、Mapの整備、店舗情報のとりまとめ等を行っています。



#### ●イベント等の参加発信等

お祭・イベント等に赴き取材・発信を行っています。最近では観光協会主催の酒吞童子行列があり当日の記録写真担当や“鬼月間”期間中は青鬼になり、ビッグスワン（サッカー場）に行ったり、ケーブルテレビに出演などを行いPRしました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [kanko@city.tsubame.lg.jp](mailto:kanko@city.tsubame.lg.jp)

(電話番号) 0256-77-8233

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) @tsubamecity\_trip

(Twitter) @tsubamekanko



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
群馬県吾妻郡長野原町  
【転出元】  
新潟県新潟市秋葉区  
【前職】  
販促（ネットショップ）  
【活動時期】  
R3.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

群馬県出身で全国転勤の社会人として働いていたが、新潟県内大学を卒業、また奥さんが新潟県出身であることもあり新潟への移住を決意。自身のスキルを活かせそうな「情報発信」を中心とした活動を求める協力隊募集をしていた田上町に興味をもち、道の駅たがみのコンセプトやブランディングにも共感したため応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

#### 【今後の抱負】

田上町の認知を上げることを大目標に、手法に捕らわれずに進めていきたい

#### 【任期後の目標】

地方ではまだまだ未着手の部分が多いデジタル分野において、企業や店舗（周辺地域含む）の情報発信や業務改善が出来るような仕組みの提供をしていきたい

### 活動内容

#### ●SNS、noteを使った定期的な発信

- ・各種SNSを使い、イベント情報や町の認知を広げる投稿を継続的に実施
- ・noteでは町内のヒト、モノ、コトに焦点を当て、取材・撮影・記事制作を実施
- ・現在運営している各種アカウントの総フォロワーは約5,000。次は大台の10,000を目指し継続発信



#### ●googleマップの情報更新・追加

- ・町内の店舗、観光スポットの写真、口コミをアップ
- ・写真の表示回数は50万回を突破
- ・現在「googleビジネスプロフィール」の設定フォローも実施中。町内の文化財「椿寿荘」に協力いただき、HP制作含めgoogleをフル活用した情報発信の仕組み作りを検討中



#### ●スマホPC相談室

- ・道の駅たがみと連携して実施
- ・毎週金曜13時～15時開催
- ・現在のところ毎回8名前後の参加者で好評。リピーターを中心に新規参加も増えている



### 連絡先

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram

twitter

note



## 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
京都府 宇治市  
【転出元】  
富山県 射水市  
【前職】  
広告・イベント制作企画  
【活動時期】  
R2.10～R4.10  
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

地元・京都府宇治市で地域活動に25年以上携わってきて、10年前に後輩が長野県の小谷村の地域おこし協力隊になったことを知り、自分も外に出て力を試したいという思いを持つようになり、どこで活動してみたいとか調べるようになりました。仕事のキッカケで富山県の事を知るようになり、興味を持ち、射水市・高岡市を結ぶ万葉線、射水市の公共交通の利用促進ならば自分のやってきた仕事も役立てられるのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動中に地域の若者たちや、企業の方とのつながりもできました。今後はそういった関係ができた方々と地域おこしをしていきたい、また、協力してくださる県外企業が持っているアイデアなどを取り入れた仕事をしていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●万葉線と自転車に乗って出かけよう Viewポイントラリー

富山県が設置しているサイクリングロードには、沿線に万葉線や雨晴海岸、内川周辺の観光施設、海王丸パークなど、景色の良い観光スポットが多数あるが、サイクルトラムや万葉線の駅、電停に設置してある駐輪場、レンタサイクルの周知度が低く、コロナ禍の影響もあることから利用頻度が低い。そこで、拡散能力の高い若い世代を活かすための興味を引き出すコンテンツと、万葉線と自転車に対し連結、連動性を持たずコンテンツ、このコンテンツを繋げる観光イベントを行った。具体的には、富山県出身の人気声優を起用した万葉線の車内音声案内と、万葉線車内やサイクリングロード、レンタサイクル場にAR入りのViewポイントを設置し、スマートフォンでマーカーを読み込むと人気声優の観光ガイドが流れる設定や、アプリを利用してスタンプラリーを行う。この事業により、人気声優のファンへの聖地巡礼による万葉線の利用者増、万葉線とサイクリングロードなど、各地に音声ガイドを導入することで、万葉線からサイクリングロードへと動線を作り、効果を見える化することができ、且つ新しい層を獲得することを目的とした事業です。



### ●万葉線「光の道」プロジェクト

万葉線沿線(中新湊～東新湊間)に電車から楽しめるイルミネーション装飾を施し、その先の海王丸駅、海王丸パークを拠点にイルミネーション会場として施工。万葉線「光の道」プロジェクトとして、イルミネーションイベントを開催した。資金はクラウドファンディングを行って集め、期間内に目標金額を上回る事ができた。期間内で総入場者数1,883名、大人は1,283名、子供は630名の方が訪れた。コロナの第7波の中での開催で且つ、毎週末が天候に恵まれなかったイベントとしては好評のもと、終えることができた。特に、メイン会場である、パークは電飾をお借りした京都府の城陽市観光協会様に会場設営もご協力いただいたこともあり、イルミネーション自体の満足度も高かった。



### ●その他：イベントの運営・各種PRツールの制作

地域のイベントから観光系のイベント、記念行事などのイベント制作、運営、加えて、それに付随した広告、Webページの制作、告知動画の制作までに携わった。また万葉線では回数券やグッズのデザインにも携わった。



▲イベント運営資料



▲車内サイネージ広告



▲デザインした切符



▲デザインしたグッズ

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス)  
【射水市役所生活安全課】 seikatsu@city.imizu.lg.jp  
(電話番号)  
【射水市役所生活安全課】 0766-51-6623

### 基本情報



【年齢】  
44歳  
【出身地】  
群馬県 大泉町  
【転出元】  
群馬県 大泉町  
【前職】  
個人事業主(自動車清掃)  
【活動時期】  
R3.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で新しい生活様式や新しい働き方が話題となり、それをきっかけに新しく何かチャレンジしようと思い模索していたところ、「地域おこし協力隊」が目にとまり応募するきっかけとなりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負として、現在のミッションは、1から学び始めた事なので、さらにスキルの強化とデータを使った集客増加、カードの利用価値向上を目指していく。

任期後の目標としては、携わっているミッションが若干特殊と言う事もあり、起業か他の道か現在模索中。

### 活動内容

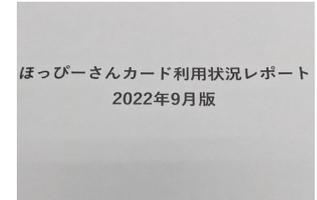
#### ●地域ポイントカードの推進

町内町外合わせて約60店舗以上の加盟店がある地域ポイントカード「ほっぴーさんカード」の推進。データ集計のレポート作成、イベントやキャンペーン運営の活動をしている。



#### ●データ活用の推進

ポイントカードにはICチップが入っており加盟店利用データや利用者の属性などが取得可能。それらのデータを集計、グラフ化などをし、各関係者にレポート配布している。また、レポートを参考にしてイベント案なども作成している。



#### ●SNSの利用

ポイントカード会の許可を得てX(旧Twitter)で「宝達志水町ポイントカード会【公式】」の情報発信をしている。少しずつだがイベント情報発信毎にフォロワーが増えている。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
宝達志水町ポイントカード会 [https://twitter.com/hoppy\\_san\\_point](https://twitter.com/hoppy_san_point)

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
神奈川県海老名市  
【転出元】  
神奈川県海老名市  
【前職】  
ライター  
【活動時期】  
R4.2～ R7.1  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

元々地方に興味があり、地域に密着した仕事をしたいと思っていました。ある日、後輩が茨城県で地域おこし協力隊をやっていると知り、そこから行き先を考え始めていました。新聞記者やカメラマンなどの経験があった事もあり、経験を活かせる業務ができる場所を視野に17自治体巡り、高浜町に応募を決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

SNSを中心に、ホームページの制作など、Web関係の仕事をしていきたいと思っています。これまでの経験値として、取材ライター、カメラマンの業務と並行して幅広く活動していければと思っています。田舎ほどまだまだ発信力が弱いので、その強化を図りつつ、定着率の低いデジタル面を地道ではありますが、住民の方に伝えていきたいです。

### 活動内容

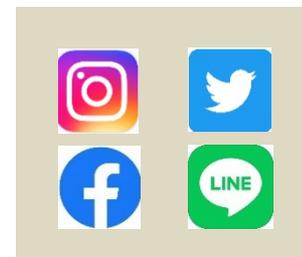
#### ● 広報誌の取材・執筆

町の広報誌「広報たかはま」の取材撮影および執筆をおこなっています。季節に合ったものやイベント、町の施設に関する情報など、幅広く取材し、町民に周知しています。また、自分のコーナーも担当し、自らの体験談をコラムにしています。



#### ● SNSとHPによる情報発信

勤務先の高浜まちづくりネットワークと地域おこし協力隊の各種SNSアカウントを運用しています。主にはTwitter、Instagram、Facebook、LINEです。また、高浜まちづくりネットワークのHPを管理し、現在は改修して、レスポンス性の高いサイトの制作を目指しています。



#### ● イベント企画

イベント企画に伴う情報発信もおこなっています。2021年はお化け屋敷を開催し、各種SNSでの発信活動はもちろん、運営に伴うマニュアル作成、スタッフのシフト管理、プロデューサーとの打ち合わせなど、裏方業務を行なっていました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0770-72-2740

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(SNS一覧) <https://linktr.ee/takahama.machinet>

### 基本情報



【年 齢】  
46歳  
【出身地】  
東京都港区  
【転出元】  
東京都墨田区  
【前 職】  
テーブルマーク株式会社  
【活動時期】  
R3.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

転職を考えた際に知った、「日本仕事百貨」のサイトを読み、地域おこし協力隊の制度を知りました。数年前より、後継者不足などの役に立てないかを自分の中で考えるようになり、応募を検討しました。韮崎市の募集は、キャンプ場建設の募集内容であったため、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

韮崎市の豊富な自然、特に山岳資源を活用したアウトドア施設の充実化を実現してまいりたいと考えております。まずは、22年春 甘利山グリーンロッジ前のキャンプ場の開設、その後はその他の市民公園の有効活用（キャンプ場・ドッグラン等）を検討してまいります。ロッジの季節閉鎖中は、キッチンカーなどで生計を立てることを検討しております。

### 活動内容

#### ●甘利山グリーンロッジ、雲の上のキャンプ場の運営

4月末～11月中旬の期間においては、ロッジ・キャンプ場の宿泊者や来館者への対応業務が主となります。各種イベントの企画や運営、実施を行っております。本年度はロッジ・キャンプ場の大規模工事のため、8月20日でクローズ。来年の5月1日オープンに向けて現在も準備中です。



#### ●物販活動

2022年5月に新設された「雲の上のキャンプ場」のオープンに合わせ、薪や炭などの販売業務を個人事業主としてスタートさせました。7月からは、酒類小売業免許を取得し、地元韮崎の4ワイナリーのワインの販売を中心にスタート。7月末には韮崎ワインのプロモーションイベントを実施しました。



#### ●南アルプスユネスコエコパークの保全活動

南アルプスユネスコエコパーク内にある甘利山、鳳凰三山の高山植物の保全活動を協力しております。特に緩衝地域である甘利山での情報発信は大切なものにとらえ、ロッジ内にユネスコエコパークの周知コーナーを新設を進めております。そのため、県立大学などの社会人講座を受講なども行っております。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebookページ、Instagramアカウント：amariyama  
Twitter @YN74xVqWyTXenbn  
YouTube toshyチャンネル



AMARIYAMA

### 基本情報



【年 齢】  
39歳  
【出身地】  
千葉県流山市  
【転出元】  
千葉県流山市  
【前 職】  
革職人  
【活動時期】  
R2.7～

黒ツナギが浜野隊員



### 活動内容

#### 活動内容①

町内になる古民家を学生と共にリノベーションし、コワーキングスペースのオープンを目指しています。



#### 活動内容②

農業体験。夏野菜作り。学生と一緒に収穫。



#### 活動内容③

狩猟免許を取得し、地元猟友会の活動に参加。ジビエ料理に挑戦。[写真は猪肉の燻製ベーコン]



### 協力隊に応募したきっかけ

以前からアウトドアなどで山梨を訪れる事が多く、土地勘も多少あったので、いつか山梨に住みたいと思うようになり、仕事を探していた中で地域おこし協力隊という制度がある事を知り応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

11月にコワーキング施設をオープンさせ、より多くの方に知って頂くために情報配信を行っていく。そしてコワーキング施設を通して活動を広げていき、町ごと遊べる施設を作っていく。  
また、綿作りや週末農業の普及活動も推進していきたいです。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
facebook : 市川三郷町地域おこし協力隊  
facebook : MiRaI Twitter : MiRaI

### 基本情報



【年 齢】  
23 歳  
【出身地】  
東京都大田区  
【転出元】  
岐阜県下呂市  
【前 職】  
学生  
【活動時期】  
R 3年4月～  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

美・構造・機能を定義とするアーキテクチャの概念に興味があり、大学では環境デザインを専攻しました。学校代表で「地域づくりプロジェクト」に参加したことをきっかけに、自分の学んだ力を少しでも社会に還元できたらとの思いから、地域おこし協力隊の仕事を選びました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、下呂温泉に伝わる「芸妓・舞妓文化」の継承事業として、より多くの方に日本の伝統芸能を知っていただけるような活動を日々行っています。

任期後には、新たな『芸妓・舞妓ビジネス』として、既存概念にとらわれない新たなエンターテインメントの開発と提供を行っていければと考えています。

### 活動内容

#### ●舞妓としての活動

令和3年4月に着任してから約1年間修行に励み、令和4年3月28日に舞妓としてデビューしました。通常業務の傍らで日々稽古に励み、下呂温泉合掌村内にある演芸館「しらすぎ座」での公演や、イベント出演によるPR活動を行っています。



#### ●観光講座等による広報活動

地元の高校やロータリークラブからお声がけいただき、地域おこし協力隊としての活動内容や芸妓・舞妓文化について講演を行っています。

また、市役所の広報誌にもページをいただいたりと、幅広い年代に向けた広報活動を行っています。



#### ●大学生とのコラボプロジェクト

令和4年9月より、女子美術大学の学生との新プロジェクトが始動しました。私の母校としてご縁もあることからお声がけさせていただき、活動拠点地である「しらすぎ座」の新たな舞台デザイン制作に向けて工程を進めています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

MAIL : [kankou@city.gero.lg.jp](mailto:kankou@city.gero.lg.jp) TEL : 0576-24-2222 (下呂市役所)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

公式Instagram @gero\_maiko

まり華 !! 下呂温泉地域おこし協力隊



アカウント  
QRコード

### 基本情報



【年 齢】  
32歳  
【出身地】  
静岡県御殿場市  
【転出元】  
東京都北区田端  
【前 職】  
ヤクルト  
【活動時期】  
R3.10～R6.9  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京でサラリーマンをしておりましたが、このまま定年まで仕事をしてつまらない！と思い、せっかくの人生でするので本気で向き合える仕事がないか探しておりました。そこで、地域おこし協力隊という活動があることを知り、せっかくなら四季の移り変わりを感じながらできる仕事が良いと思い、下呂市のキャンプ場「まるかりの里久野川」を盛り上げる地域おこし協力隊に応募をしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

1年目にはキャンプ場の公式ホームページの開設やネット予約開始など、キャンプ場の利用促進を主に活動したため、2年目以降はイベントの企画等で地域の方を対象とした活動に注力していきます。

また、任期後は「まるかりの里久野川」の管理人を継続しながら、久野川という地域に根付いて、下呂市をもっと盛り上げていけたらと考えています。

### 活動内容

#### ●キャンプ場のPR

「まるかりの里久野川」というキャンプ場をより多くの人に知ってもらうため、公式HPの開設、ネット予約の開始、各SNSの情報発信、Youtuberによる動画撮影依頼、中日新聞へのドームハウスの掲載などを行いました。



#### ●地域の方との花植え活動

花植えや草取りのボランティアイベントを行いました。これは、下呂中学校の生徒に呼びかけ、まるかりの里を綺麗にする活動を手伝ってもらうもので、地域の方とお話ししながら作業を手伝っていただき、大変盛り上がりました。



#### ●ワーキングホリデーの受入れ

ワーキングホリデーで2名の学生を受け入れ、久野川に住みながらキャンプ場の仕事を手伝ってもらいました。2週間程度の滞在中に下呂温泉街の観光や農業の手伝い、地元の方との交流もあり、田舎の暮らしや人の暖かさを感じてもらえたと思います。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(instagram) @marukarinosato



MARUKARINOSATO

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
東京都目黒区  
【転出元】  
千葉県市川市  
【前職】  
喫茶店勤務  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

過去にも別地域で協力隊経験があったことがきっかけです。情報発信業務に興味があったこと、また以前の活動地域と比べて実家からも近く、気候も穏やかで暮らすイメージがしやすかったことから応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

この2年間、コロナ禍でも情報発信を続けたことにより、SNSのフォロワー増やHPのアクセス数増加など、年次を重ねるごとに数値としての結果が見えるようになりました。残り半年の任期で、この3年間で培った知識や経験を、この先も続く後任の方々に残したいと思います。また、副業で本とレコードのオンラインショップを運営していましたが、今秋に伊東市内で実店舗をオープンしました。専業でやっていくのは難しい業種なので、任期後は、伊東市近郊で仕事をしながらお店を続けていきたいです。

### 活動内容

#### ●HP「伊豆・伊東観光ガイド」での情報発信

観光情報サイト「伊豆・伊東観光ガイド」の編集・更新を担当しています。季節に合わせたテーマで特集記事を組み、記事構成の作成から取材、執筆、公開までの作業を毎月行っています。



#### ●市公式SNSでの情報発信

伊東市のSNS (Twitter, Instagram, Facebook) を使った情報発信に取り組んでいます。観光スポットや飲食店の紹介、イベントやお祭り開催の告知、花の開花状況などを発信しています。また、市内で撮影された番組や映画の告知にも力を入れています。



#### ●「本と音楽の店 つぐみ」起業

協力隊の起業補助金制度を活用し、活動3年目の秋に実店舗をプレオープンしました。現在は副業として運営しているため、週1日(土曜日)の営業ですが、市内の方ももちろん、県外のお客様にもお越しいただいています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram : [https://www.instagram.com/ito\\_\\_\\_74/](https://www.instagram.com/ito___74/)

本と音楽の店 つぐみ HP : <https://293bookmusic.com/>

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
茨城県水戸市  
【転出元】  
東京都町田市  
【前職】  
Webエンジニア  
【活動時期】  
R4.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

先輩協力隊員のInstagramで偶然伊東の事を知り、地方での仕事づくりや伊東の情報発信の仕事に興味が出たことがきっかけです。1年前までは伊東の事を全く知らなかったので、活動をつづけて伊東のことをもっと知っていかれたらと思います。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は自身のキャリアを活かした仕事を作りたいです。例えば、伊東でギャラリー活動とプログラミング教育をしたいと思っています。今後は自身の任期後のことも少しずつ見据えながら協力隊の活動や地域活動も頑張っていきたいです。

### 活動内容

#### ●伊豆・伊東観光ガイド特集記事作成

伊東市にあるさまざまな観光施設や体験施設、絶景スポットなどを特集記事にまとめて紹介しています。伊東市にはいろんな魅力がたくさんありますので、ぜひみなさんもいらしてみてください。他にもイベント告知やモデルコースの作成なども行っています。



#### ●SNS発信

Instagramを中心に伊東市内にあるカフェなどのお店やグルメ、イベント、ロケツーリズム情報など地域情報の発信をしています。日々の情報発信では、リラックスできる街を伝えられることや、できるだけ分かりやすく魅力を紹介できるような発信を心掛けています。



#### ●その他

伊東の紹介番組の手伝いやドラマ・映画のロケ地の斡旋、その他地域情報のキャッチアップなどに努めています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : @kyonoddwell  
伊東市公式Instagram : @itouji\_official

### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
東京都足立区  
【転出元】  
東京都国立市  
【前職】  
調理師  
【活動時期】  
R4.7～R5.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

旅行で伊豆高原に来た際に生まれて初めて海に潜り、その綺麗さに感動して世界が変わりました。都心からも近く、海と山がありどちらの魅力の詰まった場所は他にないと思い、その魅力を伝えたい、また自然豊かな場所を守る活動に関わっていききたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

自然の美しさや感動はもちろん、地元の方の優しさや温かさに触れる機会を通して大小様々な感動を積み重ねられる場所であることも伝えていきたいと思っています。その為にはまず自分が自然や観光について、自分事として「自分だったら何が出来るか」を考えて行動していきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●IZUワンプロジェクト

日本一ワンちゃんに優しい街を目指す伊豆高原のペットツーリズム推進事業として取り組んでいるIZUワンプロジェクト。10月に新パンフレットが完成し伊豆新聞で紹介されました。編集・施設情報管理・撮影を担当。今後はペット博出店やマルシェ開催予定。



#### ●満月鑑賞イベント

看板商品創出事業モニターツアーの一環として大室山観月祭の際に満月鑑賞イベントを開催。ピクセンの天体望遠鏡で土星と月を鑑賞しました。参加者からアンケートを募り、抽選で商品をプレゼント。大人も子供も目を輝かせて楽しんだイベントでした。



#### ●ワーケーション推進事業

空きスペースの有効活用方法や、モニターツアー開催に向けて打ち合わせ、宿泊施設への説明会などワーケーション推進事業に関わる会議に参加。参加者・受入施設と連携を深めている。また伊東市ワーケーションPR動画にも出演し対外的なPRにも参加している。



### 連絡先

- 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
- ・(Facebook)犬旅しずおかレポーターズクラブ
  - ・(Instagram)伊豆高原観光オフィス
  - ・(Instagram)IZUワン



犬旅しずおか



IZUIKO2019



IKO\_IZU.WAN

### 基本情報



【年齢】  
48歳  
【出身地】  
静岡県  
【転出元】  
東京都港区  
【前職】  
音楽家  
【活動時期】  
R3.10～R6.9  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

これまでクライアントから依頼を受け、音楽を制作してきました。様々な企業の広告やスタートアップ、モーターショーなどのイベント、日本全国の地方創生に音楽家として関わるようになるなかで、東京に拘らず、自分らしい生活や提案をし続けたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

<音楽の定着化>

音楽活動の経験を活かし、音楽溢れる空間と人との交流の場を創出します。

<ストックを活かした賑わい創出>

道の駅玉露の里や市民の憩いの場である蓮華寺池公園など、ストックを活かしたイベント実施を行い賑わいを創出します。

### 活動内容

#### ●玉露の里お茶まつり

「玉露の里 お茶まつり」において、茶室を利用した朝ヨガ、朝比奈城跡ハイキングを実施。藤枝市出身のシンガーソングライターを招き、コンサートも開催しました。様々な年齢層の方にお楽しみいただきました。



#### ●「草の上のピアノ」イベント

蓮華寺池公園の景観と集客力を活かし、芝生の上にランダムにトイピアノを設置。自由に触って弾いていただきました。偶発的な音楽空間が生まれ、音楽を通じて人との交流を創出しました。



#### ●ストリートピアノ

蓮華寺池公園のイベント広場にストリートピアノを設置。色んな方に弾いていただき、賑やかな空間が生まれました。定期的にピアノを設置することで、「蓮華寺池公園に音楽があることが当たり前」の空間を創っていきます。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【転出元】  
東京都中央区  
【前職】  
自営業  
【活動時期】  
R3.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

元々祖父母が商店街エリアで商店を営んでいることもあり、商店街には小さな頃から親近感を持っていました。しかしながら、過疎化や店主の高齢化、後継者の不在によりお店を閉めてしまう店舗もあり、慣れ親しんだ商店街が寂れていく様子を見て、どうにか以前のような賑わいを戻し、次の世代にもつなげることができないものかと思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

栄養士やヨガインストラクターの資格を活かし、商店街と地元の高校生とのコラボ商品の開発や商店街エリアの回遊促進のため、寺ヨガ等のイベントを実施したいです。藤枝市の商店街は歴史も長く、周りには観光できる場所も備わっているため、SNS等で発信することにより、市内のみならず市外・県外の方にも商店街の魅力を伝え、商店街を身近に感じてもらえるように、これから活動をしていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●長楽寺花回廊

藤岡幼稚園の園児が描いたプランターに藤枝北高等学校の生徒が育てた花の苗（パンジー、ピオラ）を植栽した。植栽にあたっては、地域おこし協力隊及び同園児とその保護者、長楽寺商工振興会の店主らが共働して実施。



#### ●地域の魅力発見！豪華食事付きバスツアー 抽選キャンペーン

藤枝北口商店有志連合が主催する「地域の魅力発見！豪華食事付きバスツアー抽選キャンペーン」に参加すると抽選で当たる「藤枝満喫！バスツアー」の企画・運営を担当。



#### ●プロキング静岡

「ごみを拾いながらジョギングする」SDGsスポーツを藤枝市で主催。商店街エリア中心を対象エリアとし、地域住民に交流の場を提供するとともに、参加者の健康増進と環境問題への意識改革を進める。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（インスタグラム）藤枝市地域おこし協力隊



### 基本情報



【年 齢】  
34歳  
【出身地】  
静岡県下田市  
【転出元】  
埼玉県朝霞市  
【前 職】  
Web制作  
営業兼ディレクター  
【活動時期】  
R2.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

歳を重ねるにつれて、故郷である伊豆の魅力を感じることが多くなったのですが、その一方でなじみの店舗や観光施設がなくなっていく姿も目のあたりにし、課題感を感じていました。

そのような中で、地域おこし協力隊の制度を知り、地域の課題に柔軟な関わり方が出来ると考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

営業や販売、プロジェクト進行といった経歴や地域おこし協力隊の活動で培ってきた地域内の人脈を生かして、地域課題の解決を目指す地域商社を運営していきたいと思っています。民間企業だからこそ出来るアプローチの仕方を行うことで、行政や半民半官の団体では身動きが取れない部分を補うことができ、経済活動を行いながら地域をPRできると確信しています。

### 活動内容

#### ● サイクルツーリズム商品の開発

伊豆の国市は伊豆の中心地に位置しており、他市町へのアクセスの良さや市内を流れる狩野川沿いの堤防などサイクリストにとって走りやすく魅力的な環境が揃っています。その強みを生かし、旅行会社のHIS、自転車メーカーのMERIDAとサイクリングの旅行商品開発・販売を実施しました。



#### ● 自転車振興を活用したシティプロモーション

伊豆の国市と地方銀行であるスルガ銀行のシティプロモーション企画のディレクション・進行を担当しています。首都圏から移住してきた視点を生かして、テーマに沿ったコースや立ち寄りどころを設定し、市の魅力を発信しています。



#### ● 大河ドラマに向けた情報整備

伊豆の国市は2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となり、観光客の増加が予想されてましたが、Webサイトなどのタビマエ、タビナカで参考にするような情報源が不足していました。そこで、市内の関係施設や歴史的な背景のある神社仏閣、文化財をまとめたWebサイトを整備しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/izunokuni\\_okosi](https://twitter.com/izunokuni_okosi) (共通アカウント)

### 基本情報



【年齢】  
38歳  
【出身地】  
神奈川県 平塚市  
【転出元】  
神奈川県 小田原市  
【前職】  
神奈川県庁  
【活動時期】  
R4.5～ R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

家族介護に長年携わった経験から、その大変さや辛さを知った当事者の自分だからこそできることが、協力隊の活動にあると考えたためです。

また、地域や民間事業者・市との連携は、官民どちらの経験もあり、人のニーズを汲みとれるヒアリング能力や調整力がある自分なら実現できると考えたからです。これまでの経験や自分自身の強みを生かして、より直接的に人の力になれる地域の担い手になりたいと考え応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の人たちと積極的に交流して伊豆の国市への理解を深め、これまでの民間・行政の経験を生かし、地域のまちづくりに精一杯取り組んでいきたいと思えます。地域をより活性化させるためには、地域住民の声を拾い上げ、地域の魅力を発信して外部の人や関係者にアピールし、市という強力な行政の力とそれを生かせる関係団体をつなぐ人の存在が必要です。私自身がそういった存在になって、任期満了後に地域活性化の中心人物になれるように頑張りたいと思えます。

### 活動内容

#### ●お散歩市（マルシェ）を毎月開催

地域の商店街の人にも協力をいただいて、地域の出店者を集めたお散歩市（マルシェ）を第2日曜日に毎月実施しています。車両通行止めによる歩行者天国を実施し、地域の人との交流の場をつくり出しています。近隣の高校生や都心の大学生などの協力を得て、運営を行っています。



#### ●地域の交通拠点「温泉駅」を改修してまちを活性化

地域の公共交通機関と連携して、地域の交通拠点であるバス停留所「温泉駅」の一部を改修し、地域の賑わいづくりを行っています。野菜を売ったり、人と本とをつなぐ「旅する古本」のサービスを始めたりして、地域の交流の場や観光拠点づくりを進めています。



#### ●廃旅館を再整備して観光誘客・地域交流拠点へ

温泉場の中心地にある休業中のさかなや旅館の工事を行い、観光誘客・地域交流拠点及び分散周遊型観光地における拠点として再整備を行っています。新コンセプト型の宿泊施設・物販飲食施設・駐車場などを整備し、宿泊者が車を置いて、シェアサイクルやバスなどで市内を周遊できるよう進めています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/izunokuni\\_okosi](https://twitter.com/izunokuni_okosi) (共通アカウント)

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
静岡県 磐田市  
【転出元】  
静岡県 掛川市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

川根本町にお住まいの方に紹介して頂いたことをきっかけに、川根本町に興味を持ち何度も通うようになりました。協力隊を募集されている担当課の方や、就任してから関わる方々と直接お会いして、隊員に求めていることを聞いた中で、自分がやりたいことと合致したため応募を決意しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

川根本町の観光を盛り上げることを目標に活動しています。既存のコンテンツの満足度を上げることを考えたり、自らコンテンツを考え、企画して実行したりしています。任期終了後には、同じ観光を盛り上げられる仕事をして生活できるように日々考えています。

### 活動内容

#### ●プロギング

地域の方々に名前と顔を覚えてもらうことと、南アルプスユネスコエコパークの普及啓発を目標に、ゴミ拾い+ジョギングをイベント化した「プロギング」を毎月行っています。活動の一番のキモは後世にゴミを残さない。拾っている姿をアピールして捨てさせない。段々活動に参加してくれる人が増え、今では地域の1つのコミュニティになりつつあります。



#### ●ネイチャーガイド

川根本町の自然・歴史・文化等の既にある資源を活かして、楽しく伝えるガイドをしています。ダム散策、カヤック体験、トレッキングガイドなど、アクティビティを含めてコンテンツは様々です。ネイチャーガイドは、既にあるコンテンツの満足度を高めるための手段です。ぜひ一度体験して頂ければと思います。



#### ●観光コンテンツの企画

もっと川根本町の観光が盛り上がるにはどうしたらいいだろうか？盛り上がるってどういうこと？を考えて、新たな企画を提案したり実行したりしています。これまでマルシェの企画・運営や観光ツアーの企画・運営等を行っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(協力隊 instagram) <https://www.instagram.com/kawane1089/>

### 基本情報



【年齢】  
22歳  
【出身地】  
静岡県 牧之原市  
【転出元】  
静岡県 牧之原市  
【前職】  
静岡文化芸術大学 学生  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

大学生3年生のときにゼミの関係で川根本町と関わりました。住民の人柄や、若者がやりたいことを応援してくれる姿勢をみて、この町で自分の好きなことを仕事にしたいと思うようになりました。

もともと田舎が好きだったこと、同ゼミの学生2人も川根本町へ引っ越すことから移住を決断しました。大学時代はデザインや地域創生について勉強していたためそのスキルを活かせる協力隊の仕事を紹介してもらい、大学4年生の6月から活動を開始しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

私の主な活動は観光の情報発信・PRですが、長期的にこの町を維持するには移住者や若い世代の流入が必須です。観光は町を知り、深く関わる良いきっかけになります。1度で終わらない観光から、関係人口を築いていき、この町の最大の魅力である「田舎ならではの人の良さ」を伝えていきたいと思っています。協力隊終了後は、趣味である「わな猟」をキーワードに狩猟ツアーや学生受け入れを行い、狩猟から町を盛り上げていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●狩猟ツアー

川根本町では獣害や狩猟者の高齢化が問題となっています。一方で若い女性を中心に「わな猟」の免許取得者が増えています。自然や昔ながらの生活スタイルに興味のある方へ向けて、手軽に始められる猟体験を整備しています。動物捕獲後はジビエ肉として地域飲食店へ卸します。



#### ●自然ガイド

エコツーリズムを推進する「エコティかわね」にて地域ガイドをしています。活動内容はSNSを通じて町内外の人に発信します。お客さんが楽しむことはもちろん、町民がその様子を見て町の魅力を再認識してもらえたらと思います。



#### ●情報発信

【Googleマップ】  
町の周遊性を上げるため、手軽にネット掲載できるGoogleマップを活用して情報発信

【デザイン】  
地域イベントのチラシ、特産品のパッケージを作成



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
協力隊インスタ → <https://www.instagram.com/kawane1089/>  
わな猟インスタ → <https://www.instagram.com/gibier.k.m2022/>

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
愛知県稲沢市  
【転出元】  
愛知県一宮市  
【前職】  
民間企業の人事担当  
【活動時期】  
R3.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で社会の変化や働き方、人生観について考えていた時に、自然環境・文化・産業が持続的に循環する地域づくりを真剣に熱く考える岡崎・額田地域の人たちと出会い、里山の可能性に魅了されました。

美しい自然や文化に育まれた岡崎・額田地域で、日常や地域のつながりの中に、豊かさや生きがいを感じられる暮らしを地域内外に発信したい、自分自身が地域づくりの一助となりライフワークにしたいという思いから、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

魅力ある地域づくりにおいて、岡崎の誇りを再認識し住民自身が地域のファンであること、住民×住民、市×住民の多様なつながりを深めることの促進に取り組みたいです。そのために、住民、地元企業、活動団体等の皆さんの思いを伺い、「当たり前」の中にある岡崎らしさに関心を向けてもらえるよう、民間企業における人事経験を活かしたヒアリングや関係構築を図りながら、住民創出型の地域づくりに挑戦していきたいです。

### 活動内容

#### ●額田地域の魅力発掘！

里山の交流場“茶端会議”を開催。  
茶づくりが昔から受け継がれる額田地域で井戸端ならぬ茶畑で、住民とマチ中の女性達とおしゃべりしながら、里山の暮らし、遊び方など、地域の当たり前の中にある魅力を発掘しています。活動状況は地域の瓦版で発信し輪を広げています。



#### ●額田地域の魅力を磨く！

額田の達人と歴史を楽しむコンテンツづくりとして地域で語り継がれる歴史や伝承を住民のみなさんからヒアリングし、地域独特の暮らしや文化を残していく活動をしています。戦国時代の城址、猪垣、旧道・古道など、額田の歴史を辿りながら里山の生きる知恵を体験できる企画をしています。



#### ●額田地域の魅力を発信！

里山の暮らし体験/楽しみ方体験をするイベントや地元小学生との額田の魅力発信する企画、地域のおさんぽパンフレット作成、Instagramなど、地域外の方に額田を知っていただく活動と、住民のみなさんがふるさとの価値を再発見していただくきっかけとなるように情報発信を行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) chusankan@city.okazaki.lg.jp  
(電話番号) 0564-23-6206

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instaguramで地域情報を発信中！  
皆さんフォローをお願いします！！



NUKATA.OKOSHI

### 基本情報



【年 齢】  
48歳  
【出身地】  
愛知県大府市  
【転出元】  
愛知県大府市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

和太鼓志多らが地域貢献を目的に活動しているNPO法人てほへのリクルートに応募するにあたり、前職で身につけた旅行業のスキルを活かし東栄町、奥三河の観光資源を活かして地域おこしに貢献したいという思いから地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

#### 【抱負】

地域観光資源の活用と新たに発掘して東栄町、奥三河の情報発信をしていきたい。

のき山学校を単なる廃校利用ではなく東栄町、奥三河の文化交流、観光の中心となる施設になる様に活性化していきたい。

#### 【任期後の目標】

観光資源を活かし、世界中に情報発信をし、沢山の人の東栄町、奥三河に訪れるていただきたい、そして奥三河・東栄町のファンの輪を作りたい。

東栄町、奥三河の活性化が私の目標です。

- ・着地型旅行商品の造成。
- ・東栄町に地域限定旅行業登録の法人設立

### 活動内容

#### ●NPO法人てほへにて特に『東栄町体験交流館のき山学校』の管理運営を行っています

この半年間は、東栄町をはじめ奥三河の現状と可能性を知ることを行なってきました。知れた事はまだまだ一部分だとは思いますが、様々な問題を抱えながらも東栄町、奥三河に住む人や、関わる人が元気に頑張っているという感想です。

そして、文化、ひと、自然、農、工など各界に良い素材が沢山あるが外に知られていないだけで情報発信をする事でおおいに発展する伸びしろが沢山あることも分かりました。

これから、情報発信や地域観光資源の発掘など地域おこし協力隊として自身のやれることを実行していきたいと思えます。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

E-mail:tomita@tehohe.com

てほへ本部:0536-79-3970

のき山学校:0536-76-1722

### 基本情報



【年齢】

42歳

【出身地】

神奈川県藤沢市生まれ  
奈良県奈良市育ち

【転出元】

大阪府大阪市

【前職】

旅行事務→住宅設計&インテリアデザイン

【活動時期】

R4.7~

### 活動内容

#### ● 「暮らしを楽しむ観光」

近江八幡の暮らしや文化を体験してもらおう観光の仕組みづくりや、SNSやZINE（小冊子）を用いた情報発信を予定しています。

町をじっくりのんびり歩いて楽しんでいただける方々が増えるような活動、町の人と観光客の交流を促すことができる活動をしていきたいと考えています。



### 協力隊に応募したきっかけ

- ・コロナ禍で、働き方や暮らし方に変化を持たせたいと考えていたため。
- ・旅行の仕事、建築の仕事の両方の経験が活かせる仕事をしたいと考えていたため。
- ・仕事柄、旅行や建築に興味があり、近江八幡には度々訪れており、魅力を感じていたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・SNSで情報発信
- ・ZINEの発行
- ・場づくり（シェア型書店orブックカフェなど）
- ・観光の仕事と建築の仕事の掛け合せ（インテリアデザイナーが運営するお土産ショップなど）

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
instagram → kurashi\_oumihachiman

### 基本情報



【年齢】  
43歳  
【出身地】  
青森県八戸市  
【転出元】  
東京都福生市  
【前職】  
フリーランス  
【活動時期】  
R2.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

以前勤めていた会社を退職してフリーランスになったのをきっかけに、東京から地方への移住を検討していました。趣味のトライアスロンで快適に練習できそうな、自然豊かで水辺が近い環境を探していました。何度か観光で訪れたことのある近江八幡市で、協力隊の募集が出ていることを知りました。募集内容は観光分野だったため、前職での経験を活かせるのではないかと思い、応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

長引くコロナ禍で観光業界は厳しい状況が続いています。また旅行者のニーズが多様化し、観光関連の産業構造も変わってきています。社会情勢の変化をチャンスととらえ、アフターコロナの需要回復に向けて、IT技術を活用した新しいプロモーションを仕掛けてみたいと考えています。任期後は協力隊でつちかった経験や人脈を活かし、観光関連のVR分野で起業することが目標です。

### 活動内容

#### ● 建築観光案内VR制作

市内に残る町家やヴォーリス建築など、文化財建造物をデジタル化してウェブで公開しています。パソコンやスマホの画面上で、自由に内部を見学いただくことができます。一般公開されている作品については、見学情報も併せて記載しています。

(ウェブサイト) <https://omivr.net/>



#### ● 着地型旅行業

近江八幡の観光資源を活用した旅行商品の造成に取り組んでいます。琵琶湖で唯一の有人島、沖島のモニターツアーなどを開催しました。滋賀県のインバウンド向け観光プロモーションにも協力しています。



#### ● 観光情報発信

SNSで地域の観光情報を発信しています。移住者目線で地元の名店や見どころを発掘するのが楽しみです。ピワイチ関連のサイクリングコースを紹介する動画も作成しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(ウェブサイト) <https://wabiko.net/>

(Instagram) <https://www.instagram.com/wabikonet/>

(Twitter) <https://twitter.com/wabikonet>

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
千葉県松戸市  
【転出元】  
東京都北区  
【前職】  
ヤフー(株)  
日本忍者協議会  
【活動時期】  
R3.4～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

忍者が好きで忍者の聖地に住みたかったのですが、伊賀よりも甲賀で「打倒伊賀」を目指した方が忍者界全体が盛り上がりと考え、甲賀忍者の末裔の方の家をお借りできるというタイミングも重なり、甲賀への移住を決意しました。また、忍者の学術研究を行うにあたっては、甲賀に移住したほうが進めやすいという理由もありました。甲賀で忍者による町おこし・学術研究をするにあたっては、協力隊の制度を活用し、半分公的な立場であった方がやりたいことを進めやすいと思い、応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

最終的にはリアルな忍術を体験できるアクティビティを、甲賀市の至るところで開発していき、「甲賀市に行けばあらゆる側面から忍者になることができる」状況を作りたいと思っています。そのために、忍術実践・情報発信とアクティビティ開発や、史跡等の活用イベント開発、古民家空き家の忍者屋敷化などを進めていきたいです。任期満了後は、それらの忍者アクティビティの運営・提供や忍者イベントなどを運営する会社を起こして起業する予定です。

### 活動内容

#### ●滋賀大ビジコン優勝・忍術健康修行ツアー開発

滋賀大学「ウェルネスツーリズムプロデューサー講座」のビジネスプランコンテストにて、甲賀の三霊山を活用した忍者修行×健康増進プランを提案し、最優秀賞をいただきました。その後モニターツアーを行い、多くの方から高評価をいただきましたので、一般向け商品化を目指し準備しています。



#### ●幻の忍術書「間林清陽」発見

江戸時代の忍術書「間林清陽」の写本を甲賀市内から発見し、R4年6月に記者発表を行いました。数多くの全国メディアにも取り上げられました。内容の翻刻・現代語訳も行い、観光施設への展示を行っています。また、R5年2月に向けて書籍の出版や忍術書に書かれた忍具の復元なども進めています。



#### ●観光庁補助事業「城郭活用サバゲー」企画・運営

甲賀市の城郭跡を活用した「合戦サバゲー」を考案し、観光庁「地域の稼げる看板商品創出事業」に採択されました。R4年10月に水口岡山城跡にて夜の合戦を再現する「忍夜討2022」を実施し、100人ほどの参加者が集まりました。その他小規模な中世城郭を活用した定常コンテンツも開発・実施しています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [t-fukushima@koka-kanko.org](mailto:t-fukushima@koka-kanko.org)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
YouTube : <https://www.youtube.com/c/NinTube>  
Twitter : <https://twitter.com/shinobi803>  
note : <https://note.com/shinobi803/>

### 基本情報



【年 齢】  
43歳  
【出身地】  
岩手県大船渡市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前 職】  
飲食店(手打ち蕎麦と会席料理)  
【活動時期】  
R4.3～ R7.2  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

海の綺麗な田舎で手打ち蕎麦屋を営みたいという思いがあり久美浜町への移住を決めました。

久美浜町のシンボルであるかぶと山。その中にあるキャンプ場から地域を盛り上げたいとの思いから地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

基本的にキャンプ場に常駐して管理の仕事も兼任しています。キャンプ場を盛り上げ集客を増やすことで、久美浜周辺の観光活性に繋がっていきたいです。

任期後は久美浜町で石臼引きの手打ち蕎麦屋を開業したいです。

### 活動内容

#### ●蕎麦打ち体験教室

キャンプ場の管理施設 虹の家 多目的ホールを使いキャンプ場利用者様むけの蕎麦打ちの体験教室をはじめました。



#### ●キャンプ場業務

キャンプ場受付 電話対応 清掃 場内の整備等 管理人助手としてキャンプ場内の通常業務を兼任しています。



#### ●かぶと山公園及び登山道の環境整備

- ・公園の草刈りや清掃
- ・かぶと山の登山道の整備・清掃・点検



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kabutoyama@chorus.ocn.ne.jp](mailto:kabutoyama@chorus.ocn.ne.jp)  
(電話番号) 0772-83-1457  
かぶと山公園キャンプ場  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/kumihamakabuto>

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
和歌山県 橋本市  
【転出元】  
大阪府 大阪市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.3～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代、大学を休学し、コピーライターとして大阪の出版会社で勤めておりました。1日の多くの時間をPCの前で過ごし、自然が身近にない生活に違和感を感じていました。鹿児島県にある屋久島へ一人旅へ行き、田舎暮らしの豊かさに感化され、田舎の人の温もりや自然の豊かさを感じながら〈生きる選択肢〉を探していました。そんなタイミングで、宇治田原町と出会い、まちの人や自然に魅力を感じて協力隊に応募するに至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

憧れの生活とはいえ、食べていけなければ活動は続けていくことができません。任期後、生計を立てられる事業を築いていきたいです。また、地域の方々に返せないほどの恩恵をいただいております。なんらかの形で返ししたいので、自分が生計を立てられるだけでなく、地域の方々に少しでもお返しできる事業を築いていきたいと思っております。また、大阪で仕事をしていた時、生きる気力を失っていた時期がありました。いつか、そんな人たちを温かく迎え入れる環境を作ることができたらと思っております。

### 活動内容

#### ●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・会計・渉外・在庫管理等を担っています。イベント運営のサポートも任されており、2022年10月に開催された「やんたんマルシェ」では、企画・準備・出展者の呼びかけ等を行いました。



#### ●地域の自然を利用したイベント・講座等の開催

前年度に引き続き、地域にある豊かな自然を活かしたイベントとして、専門人材を講師に招いた「土壁アート」イベントを開催。子どもたちを中心に12名の参加がありました。今後も定期的に地域の自然・文化に触れることのできるイベント等を開催する予定。



#### ●地域の特色を活かした商品開発と情報発信

「協力隊通信」として、地域の観光施設等をインスタやF Bで発信中。また、今年度からの取り組みとして、耕作放棄茶園を整備し茶の実を収穫して〈美容オイル〉作りを進めています。収穫や皮むき等の作業は地域の方々にもお手伝いいただいております。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

【メールアドレス】shoukou@town.ujitawara.lg.jp (宇治田原町産業観光課)

【電話番号】0774-88-6638 (宇治田原町産業観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(協力隊通信)

[https://www.instagram.com/ujitawara\\_kyoto/?hl=ja](https://www.instagram.com/ujitawara_kyoto/?hl=ja)

<https://m.facebook.com/宇治田原町観光情報-150800842112695/>

### 基本情報



【年齢】  
24歳  
【出身地】  
大阪府 高槻市  
【転出元】  
大阪府 高槻市  
【前職】  
介護職員  
【活動時期】  
R4.2～ R7.2  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職の介護職では、自分自身と向き合う機会が多くあり様々な気付きもありました。人を笑顔にすることが好きだということや、もっと自由に動ける環境で自分の能力や可能性を試したいということ。また、自身の強みである考える力を自分らしくのびのびとした宇治田原町の環境の中で最大限に活かし、人々の笑顔や楽しいに貢献したいという思いから、協力隊への応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、考えている活動目標は、町内のつながりとまちへの愛着を深くし、地域一体となって魅力を発信していくことで、宇治田原町を『人に会いに行きたくなる、帰りたくなる町』にしていくことです。具体的には、地域の人たちが生き生きと楽しめる場をつくること。そして、そのような場をとおして、人と人とのつながりを強くし、人と自然、産業の魅力を大きく発信していきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・情報発信等を担っています。今後、コロナ後の観光需要の回復によるインバウンド向けに、語学力を活かした接客を進めていきたい。



#### ●地域の特色を活用したイベント・講座等の開催

「日本緑茶発祥の地」である本町の歴史・文化を活かしたイベントとして、自身が講師となり地域の方々のお手伝いをいただき「親子でお茶でCOOKING!」講座を開催。2家族5名の参加がありました。今後も定期的にイベント・講座等を開催する予定。



#### ●地域の特色・魅力の情報発信

「協力隊通信」として、地域の観光施設等をインスタやFBで発信。また、「宗円交遊庵やんたん」のランチメニューである「茶汁」が文化庁100年フードの認定を受けたため、伝統食を広く知っていただくための広報活動にも取り組んでいる。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

【メールアドレス】shoukou@town.ujitawara.lg.jp (宇治田原町産業観光課)

【電話番号】0774-88-6638 (宇治田原町産業観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(協力隊通信)

[https://www.instagram.com/ujitawara\\_kyoto/?hl=ja](https://www.instagram.com/ujitawara_kyoto/?hl=ja)

<https://m.facebook.com/宇治田原町観光情報-150800842112695/>

### 基本情報



【年齢】  
49歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
奈良県斑鳩町  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

笠置町の観光資源や伝統行事等、町の魅力を映像コンテンツを活用して発信することで、観光誘客・交流人口の拡大に繋がり、将来、自信の活動に活用していけたらと考えたのがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

毎月テーマを考えて活動しています。その月毎に動画を完成させて放映を進めています。任期も半年を残すところまで来たので月々の活動で、纏まった形に出来たらいいと思います。笠置町と今後も関わって行きたいです。

### 活動内容

#### ● 駅前改札モニターで動画放映

JR笠置駅改札にモニターが設置されているので、町内で営業している店舗への誘客、観光資源のPRをする目的で動画を制作しました。モニターを管理しているまちづくり株式会社のご協力により、放映することが実現しました。



#### ● 竹細工制作店舗の紹介動画作成

笠置町内の木津川流域、ロケーションの良い場所で制作・販売している柿渋を使った竹細工店舗の紹介動画制作を行いました。潜没橋や土木学会選奨土木遺産の認定を受けている、関西本線木津川橋梁などお店を訪れて直ぐ近くに楽しめる場所があることを紹介しました。



#### ● 明治時代に作られた鉄道橋梁を紹介

笠置町には、明治時代に私鉄5大鉄道に数えられた関西鉄道が開設した路線を、現在もJR西日本が営業に使用していて当時の鉄道橋梁も現存しています。石材や煉瓦を使用した橋脚やトレスル構造の橋など案内をすることで、観光客に興味を持って貰える期待をこめて制作しました。



### 連絡先

(メールアドレス) [chiikiokoshi.kasagi.town@gmail.com](mailto:chiikiokoshi.kasagi.town@gmail.com)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(笠置町地域おこし協力隊Facebook)  
<https://www.facebook.com/kyotokasagiokoshi>  
(笠置町地域おこし協力隊YouTube)  
<https://www.youtube.com/channel/UCDotdfbA01QmWJyB1paAZtQ>

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
京都府 宇治市  
【転出元】  
京都府 宇治市  
【前 職】  
サービス業  
【活動時期】  
R3.4～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

これまでに茶摘み体験などお茶に関わる機会が多く、自分の経験も踏まえて多くの人にお茶を知ってもらいたいという思いからお茶で有名な和束町に応募した。また、自分で企画したイベントなどでたくさんの人を笑顔にできる町おこしがしたいと思った。

### 今後の抱負・任期後の目標

引き続き、観光案内所でお客様に喜んでもらえるような案内を心がけます。観光案内所が観光に来られた方に立ち寄ってもらえるような場所になることを目指したいです。

任期後も和束町に携われるような活動をしていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●和束町観光案内所

和束町観光案内所にて、町内の観光名所の案内や道案内等観光業務に携わっている。



#### ●オリジナル一筆箋作製

和束町にある正法寺をモチーフにした、オリジナル一筆箋を作製。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiikiriyoku@town.wazuka.lg.jp](mailto:chiikiriyoku@town.wazuka.lg.jp)  
(電話番号) 0774-78-3002

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

【Twitter】

[https://twitter.com/wazuka\\_tourist/status/1458312773705039872?s=46&t=CmYiQtAsmvvZykgLhvJU8g](https://twitter.com/wazuka_tourist/status/1458312773705039872?s=46&t=CmYiQtAsmvvZykgLhvJU8g)

### 基本情報



【年齢】  
43歳  
【出身地】  
東京都小平市  
【転出元】  
東京都江東区  
【前職】  
フリーランス  
【活動時期】  
R2.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

協力隊の応募前に多可町をご案内いただいた際、地元の方のお人柄と多可町の風土に惹かれ、この土地で取材や体験、情報発信に携わりたいと思いました。

多可町に移住した方々のインタビューを読み、皆さんが楽しんで暮らす様子が伝わってきて、私もこの町に根を下ろしたいと感じたことも追い風でした。

### 今後の抱負・任期後の目標

町内の事業者さん、職人さん、先輩方を取材させてもらい、情報発信を充実させたいと思っています。景観やイベントの記録なども、回数を増やします。

任期後は、町内で法人を立て、コンサルティング&クリエイティブの事業を行う予定です。

### 活動内容

#### ●多可町ラッピングバスプロジェクト 2021年5月

移住施策の一つとして、多可町の移住者をテーマにラッピングバスをデザインしました。また、移住者へのインタビュー記事やSNSと連動させ、デザインだけに留まらない工夫を施しました。バスは神戸～USJなど、神姫バスの路線を運行中です。



#### ●写真展「多可町の森の人」2021年12月

多可町内で活動・事業を行うモデル21組・写真100点を展示しました。写真フレームに町内産の檜を使い、各モデルの取材記事とSNS/HPも連動。写真展の枠組みを広げ、より多可町に根ざした広い情報発信を試みました。



#### ●多可町ファンクラブ 2022年4月（サイト公開）

多可町の情報を町内外に、より深く伝えられるようにローカルメディアを立ち上げました。「多可町のファンになる」ボタンから、ファンクラブに登録できる仕組みで、関係人口の増加も目指します。運営・取材・記事作成などを担当しています。  
<https://raku-taka.com/fanclub/>

TAKA FANCLUB  
兵庫県多可町の賑わいを発信するWebサイト



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
多可町ファンクラブ <https://raku-taka.com/fanclub/>  
Instagram [https://www.instagram.com/naoki\\_kurokawa/](https://www.instagram.com/naoki_kurokawa/)  
Twitter [https://twitter.com/kuroko\\_mode](https://twitter.com/kuroko_mode)

### 基本情報



【年 齢】  
44歳  
【出身地】  
兵庫県 加古川市  
【転出元】  
兵庫県 加古川市  
【前 職】  
三重県大台町役場会計年度職員  
【活動時期】  
R4. 6～

### 協力隊に応募したきっかけ

三重県大台町で地域おこし協力隊として3年間の任期満了後、会計年度職員として4年間勤めていましたが、地元兵庫県に戻ることになりました。

新しい仕事を探していた時に、兵庫県市川町でゴルフのアイアンをPRするという地域おこし協力隊の募集があり、過去の経験などを活かしたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずはゴルフクラブの知識を深めることはもちろんゴルフの技術も上達しなければ良さを伝えられないと実感しているところです。

情報発信としてゴルフシミュレーション施設のIchikawa golf studioがあるので多くの人に利用してもらえるようPRしていきたいです。

任期満了後はゴルフに関わる仕事ができればと考えています。

### 活動内容

#### ●Ichikawa golf studio

ゴルフシミュレーション施設であるIchikawa golf studioの運営管理。

来場者に市川町ふるさと納税返礼品であるアイアンクラブを説明。

シミュレーション施設利用者には機械の使用方法、練習モードとコースモードの違いを説明。希望者にはスイングフォームの画像解析も行う。



#### ●市川町のPR

ゴルフの大会や様々なイベントに市川町のブースを出店して、国産ゴルフアイアン発祥の地のPRを実施。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook : <https://www.facebook.com/profile.php?id=100082121166649>  
Twitter : <https://twitter.com/Uvz4I7ImtounVLR>  
Instagram : <https://www.instagram.com/ka.ko115201>

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
沖縄県沖縄市  
【転出元】  
大阪府岸和田市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.7.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

御所市在住の方に教えてもらい、募集を知った。  
個人的にも御所市内のカフェでお手伝いをしていたこともあり、御所のことをもっと知れるチャンスだと思い応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、1年目に築いた地域の方々との関係をさらに広げ、交流を増やし、個人経営のお店などに関わりを持ちたい。  
任期後は現在手伝っているカフェで営業するか、グループとして他のサービスを展開出来たらいいと思う。  
現在、上記カフェで焙煎機を借りて練習中。  
起業してからだと時間も原価代も大きなロスになりかねない為、今のうちで練習させてもらえる時間を大切にしている。

### 活動内容

#### ●御所市内外のマルシェ等のイベントに参加

地域おこし協力隊卒業後に自らの焙煎所・カフェを開く為に現在お手伝いしているカフェに協力してもらい、マルシェイベントに参加し、御所市の魅力を発信。  
実際にイベントに参加することで、事前の準備や流れを学ぶことができ、同じイベント内の出店者の方々との繋がり、イベント後も情報の交換や、相談にも乗ってもらうことが出来るため、今後もイベント出店の機会を大事にして積極的に出ていきたい。



#### ●御所市観光協会事務を通して地域で活動する方々との交流

事務作業を行っていく中で御所市の観光ボランティアガイドの会の方や各協議会の方々に関われる事が多くあり、今後の人脈づくりに大きな助けになっている。  
その中でも今年は2年ぶりに開催された、大阪～奈良の観光ボランティアガイドが主催となり多くの方々へ各地を歩いたというリレーウォークイベントに携わらせてもらうことが出来た。御所市には100名を超える申し込みがあり、調整業務の難しさを実感しつつ、無事開催することが出来た。  
初めて主催側の立場に立ち、参加者側から見えない苦勞が分かり良い経験ができた。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
メールアドレス) kankou@city.gose.nara.jp  
(電話番号) 0745-44-3169

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム)  
[https://instagram.com/kyouryokutai.gose?utm\\_medium=copy\\_link](https://instagram.com/kyouryokutai.gose?utm_medium=copy_link)

### 基本情報

【年齢】  
23歳  
【出身地】  
奈良県河合町  
【転出元】  
奈良県河合町  
【前職】  
無職  
【活動時期】  
R3.5～R.6.4(予定)  
(2年目)



### 協力隊に応募したきっかけ

奈良県河合町から山添村に移住。小さな頃から動物とふれあうことが好きで、高校や専門学校でも動物の勉強をしながら実際に飼育を経験し、本村の募集情報を見て応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

今年度からひつじの調教を行い、11月に行われるひつじフェスではひつじのショーを実施予定。その他にも今年度からの新しい試みとして、ハロウィンイベントなども企画している。

任期終了後も牧場での勤務の継続を希望しており、地域での活躍が期待されている。

### 活動内容

山添村フォレストパーク神野山にある本村の代表的な観光施設「めえめえ牧場」において、羊の飼育・観光客の案内・体験施設併設羊舎「ひつじの学校」の運営・各種イベントや体験の企画及び運営等に従事。

フォレストパーク神野山全体の管理を村から指定管理者として請け負う「神野山観光協会」と連携しながら牧場の運営や魅力づくり、発信に努めている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
めえめえ牧場（奈良県山辺郡山添村大字北野）  
（メールアドレス）meemeemakiba@gmail.com（電話番号）0743-86-0131  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
めえめえ牧場Instagram  
[https://www.instagram.com/meemeemakiba\\_staff/?utm\\_medium=copy\\_link](https://www.instagram.com/meemeemakiba_staff/?utm_medium=copy_link)

### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
奈良県天川村  
【転出元】  
東京都渋谷区  
【前職】  
フリーター  
【活動時期】  
R2.7～ R5.7  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

幼少期を過ごした天川村のことが大好きで、いったん両親の都合で離れることになりましたが、いずれは帰ってこようと思っていました。  
これまでの飲食経験を活かしながらこの村の魅力を伝えたいと思い、カフェ担当に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

繁忙期(夏期)には多くの観光客による利用が見込まれるなか、繁忙閑散期(冬期)との差が顕著であるため、移住定住希望者を応援できるような施設として閑散期の利用促進を図りたい。

また、将来は自然保全に関わる事を目指しており、地域の植樹へのボランティア参加や村内でアロマアドバイザー講座の受講をしている。

### 活動内容

#### ●カフェ・シェアオフィス営業

季節的な繁忙期には、ファミリーをはじめ幅広い観光客への飲食提供とともに、これまで洞川温泉の常連である山参り団体客の受け皿ともなっている。

また、移住定住の玄関口であり、将来的な地域活性化につながる人が集うスペースとして、コワーキングスペースの対応を行う。リモートワーカー、研修場所利用、会議打ち合わせなどにリピート利用もされており、関係人口創出に寄与している。



#### ●ネイチャーガイド

将来観光ガイドを行うことを目指し、村のネイチャーガイド養成講座にも参加している。



#### ●メニュー開発

村の特産品である夏いちごを使った商品はじめ、移住された方による開発商品を使い、カフェメニューを提供する事で多くの観光客への村内の魅力発信PRとともに、新規事業の定着を応援している。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp](mailto:chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp)  
(電話番号) 0747-63-0321

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム) [nishitomo\\_so](#)

### 基本情報



【年 齢】  
50歳  
【出身地】  
滋賀県高島市  
【転出元】  
大阪府和泉市  
【前 職】  
会社員（海外営業）  
【活動時期】  
R4.2～

### 協力隊に応募したきっかけ

R3年11月に参加した、農業体験をきっかけに由良町を知り、この町で出来ることはないかと由良町役場に相談したところ、地域おこし協力隊を紹介され、R3年12月末で20年間在籍した会社を退職し、R4年2月より着任。

### 今後の抱負・任期後の目標

由良町の観光促進と、就農希望者を集めること。

今後は特にインバウンドの受入及び、製品の海外輸出も視野に行動していきたい。

任期後の目標は、上記で培った人脈、知識をいかし地元で貢献できるような事業を起こすか、それらを実践できる企業への就職。

### 活動内容

#### ●教育旅行受入

・旅行会社及び、地元旅館、体験事業者との折衝及び、訪問時のアテンド全般。



#### ●教育旅行誘致キャラバン（愛知県、広島県）

・和歌山県主催のスクールキャラバンに参加、中学校、高校への営業活動。



#### ●ムラ暮らしインターン事業 受入業務

・昨年参加した、農水省事業の受入業務、参加者の選考から、地元農家、宿泊先との折衝及び、訪問時のアテンド業務全般。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
インスタグラム アカウント名 :temu908

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
北海道恵庭市  
【転出元】  
東京都三鷹市  
【前職】  
JAの農畜産物直売所  
【活動時期】  
R4.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

観光で琴浦町へ訪れた際に自然豊かな環境に憧れを抱き、琴浦町への移住を決意しました。東京都有楽町で開催されていた鳥取移住フェアに参加をしたところ、当時の琴浦町地域おこし協力隊の隊員にお仕事の紹介を受け、地域おこし協力隊の活動を知りました。前職の農畜産物直売所ではSNSを使用し、特産品やイベントの情報発信を行っていたので、これまでの経験が活かせる「情報発信専門員」に応募をしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

これまでの経験を活かし、町内のイベントや行事・伝統など、町民に親しみのある情報をSNSで発信していきます。趣味でパン作りも行っていますので、パン作りに適した食材や乳製品が豊富に揃う琴浦町で、趣味のパン作りを向上させていきたいです。任期後の目標はまだ移住・着任して間もないので、情報発信の力を身につけながら今後の3年間の中で見つけていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●フェイスブックの更新

町民に行き届いていない行政の情報や地域のイベント情報などを、琴浦町のフェイスブックで発信しています。イベントについては、事前の告知と終了後に報告を行うことで、より参加してみたいと思ってもらえる情報発信に努めています。



#### ●地域に向けた活動内容の発表

琴浦町内で行われた熱中小学校において、地域おこし協力隊としての今後の取り組みを発表し、地域の人々と交流をしました。  
※熱中小学校とは、廃校・空き施設を利用した「大人の学び塾」です。10月22日に琴浦町地域おこし協力隊が講師として登壇しました。(その際の資料→)



#### ●農業体験

有機野菜を育てる元地域おこし協力隊の農家に出向き、にんじんの間引きの農業体験をしながら「農業の魅力」や「この土地の良いところ、もっと発展してほしいところ」などを話し合い、地域の農業者と交流をしました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) yashiki@town.kotoura.tottori.jp  
(電話番号) 0858-52-1708

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(琴浦町フェイスブック)<https://www.facebook.com/kotouracyou>  
(地域おこし協力隊フェイスブック)<https://www.facebook.com/kotourachioko>

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
福井県 あわら市  
【転出元】  
福井県 あわら市  
【前職】  
企業の採用広報  
【活動時期】  
R3.9～ R.6.9  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

結婚後の暮らしの拠点を探していた際、サウナ観光で琴浦町にある一向平(いっこうがなる)キャンプ場Nature Saunaへ訪れました。質の良いサウナや海と山が近い自然に恵まれた環境に惹かれていたところ、地域おこし協力隊の募集があることを知りました。協力隊の活動内容が、自分の能力と合致していた事、また旦那も良い職(一向平キャンプ場)と出会えたことをきっかけに、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負自分たちに合う暮らしを求め、移住しました。暮らしを安定させてゆくためにも、任期中に町内で「わたしのイラスト・デザイン」分野の根をつくっていく必要があります。ただ、役場内の仕事だけではそれを根付かせて行くことは難しいため、町民の方との関わりを探しています。(参照：右「●まちとの関わり」「●イベント参画」)

### 活動内容

#### ●観光情報発信業務

- 町の公式SNS(Instagram)での情報発信
  - イラストを活用したデザイン業務(チラシ、看板)
  - 冊子の作成(右の写真)
    - ・琴浦サウナ飯：町内の飲食店を取材一作成
  - 町にまつわる漫画の作成
- ※詳しくは右下の二次元コードをご覧ください。

町公式Instagram



#### ●まちとの関わり

- 町内の自家焙煎珈琲屋
    - ・ドリップ珈琲パッケージイラスト
  - 町内のモビリティグループ
    - ・車屋のスタッフ紹介をするチラシ作成(2ヶ月に1)
- ※詳しくは右下の二次元コードをご覧ください。



#### ●イベント参画

町の公民館での「テント型サウナ体験」イベント  
似顔絵屋の出店、  
イベントチラシの作成



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) tabata@town.kotoura.tottori.jp  
(電話番号) 0858-52-1713 / 琴浦町役場商工観光課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
神奈川県川崎市  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前職】  
自営業(アウフグーサー)  
【活動時期】  
R3.5～ R.6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

関東で空前のサウナブームが起こっている中で、中国四国地方のサウナ・アウフグースを盛り上げるための拠点探しをしていた。また、自然の中でのサウナ体験ができる場所を探していた。そんな中、琴浦町に知人がプロデュースした「Nature Sauna」があることを知り、琴浦町に興味を持ち、地域おこし協力隊に応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

鳥取の自然がより深く体験できるものがサウナであり、手軽な気分転換の方法として、1人でも多く県内の温浴施設に行ってもらえるようになってもらえたら嬉しく思います。そのためにサウナやアウフグース(サウナの中で風を送ること)を知ってもらう活動をしているので、可能な限り継続していきたい。また、アウフグース世界大会で1位を獲れるように技術も知識も身に付けて体験価値を上げられるようにしていきたい。

### 活動内容

#### ● Nature Saunaを通じた関係人口創出

Nature Saunaで季節ごとにフェスを開催し、サウナ愛好家が県内外から集まるイベントを行った。イベントのお手伝いとしておてつたびを導入し、サウナや地方創生等に興味のある方々と運営を一緒に行いながら関わりの深い繋がり作りを行っている。



#### ● 町内向けのサウナイベントの実施

Nature Saunaが町の観光資源となりはじめていることに伴い、町内の方に向けて公民館や町内の海辺などにテント型サウナを設置し、サウナ入浴の啓蒙活動を行い、健康増進やコミュニティ形成などに役立ててもらえる仕組み作りを行う。



#### ● 鳥取県「ととのうっとりサウナプロジェクト」への参画

鳥取県が推進するプロジェクトのリーダー(とっとりサウナCEA)に任命され、県内の事業者様とともにサウナや温泉地を軸とした観光PRを行っている。来年度に向けて更に体験できることを増やしていくために官民合同のサウナプロジェクト会議を行っている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0858-52-1708 (琴浦町役場 企画政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
五塔熱子(twitter : @2525netsuko / instagram : @Netsuko\_aufguss37)

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
埼玉県 新座市  
【転出元】  
埼玉県 新座市  
【前職】  
大学生  
【活動時期】  
R3.5～ R.6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

都会と地方では生活が違うことが興味深く、地方で暮らす体験をしてみたいと思ったから。  
JoinとSMOUTで募集を探し、興味を持った募集先の担当職員さんや先輩協力隊に話を聞き、情報を収集した。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として活動していく中で、地方には都会にはないコミュニティの魅力や、暮らしがあると感じた。今後は、協力隊期間に身につけたスキルを活かし、ライター・コミュニティマネージャーとして任期後は活動していきたい。

### 活動内容

#### ●関係人口情報発信業務

■地域おこし協力隊町の公式SNS(Facebook)、個人のSNSでの情報発信。琴浦町・関係人口創出活動に興味を持つ人を増やす。  
■中国五県研修にて鳥取県代表で事例発表、鳥取インターンシップ・移住セミナーなどイベント登壇4件



#### ●オンラインイベント企画運営

■コトトーク!という、琴浦町と町外在住者をつなぐオンラインイベントを企画運営  
参加者にはただイベントに参加してもらうだけでなく、コトトーク!参加リピーターや、琴浦町でのまちづくりに関心ある人に、イベントスタッフもしてもらうことにより、上位の関係人口を創出



#### ●サードプレイスづくり

関係人口創出のためには、町外向けの情報発信だけでなく、町内向けの町の魅力PRも必要であると考えようになった。そこで、町内の学生向け居場所作りを今後行う予定。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) shouda@town.kotoura.tottori.jp  
(電話番号) 0858-52-1708 / 琴浦町役場企画政策課

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。



### 基本情報



【年 齢】  
29歳  
【出身地】  
愛知県半田市  
【転出元】  
鳥取県米子市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.5～ R7.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

鳥取で就職した際に仕事で日野郡へ訪問する機会が多く、人口や働き手の減少など、過疎地域ならではの問題に直面していると感じました。同時に深刻化しており、少子化が叫ばれる日本の未来には、このような地域が増えていくのだと生まれて初めて肌で感じました。働く場所などを探している際、江府町で協力隊の募集が行われていることを知り、自分でも何か貢献できることがあればと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは町を活気づける手伝いを行いながら、自主的にも広報的な活動ができればと考えています。現在、奥大山Youtuberとして活動していますが任期が3年と決まっているため、自分がやっている活動に興味がある人がいれば年齢等関係なく巻き込むことで、Youtubeによる発信が盛んな町にできればいいなと思っています。また、協力隊卒業後には独立も視野に活動しているため、準備期間として仕事につながるスキルを身に付けていければと考えています。

### 活動内容

#### ●江府町NEWSの制作

先輩からの引継ぎとして、江府町NEWSの制作を行っています。ケーブルテレビがない江府町では映像で楽しめるコンテンツがないため、Youtubeの公式チャンネルで配信を行っています。1か月の出来事を振り返る江府町NEWSでは町内の方々が活躍する様子を見ることができます。



江府町NEWSのリスト

#### ●撮影取材活動

江府町NEWSに必要な仕事の一部ですが、取材活動で動画撮影をしています。その際に町民の方々と交流したりできるため、町にとけ込みやすい活動だと感じます。5月から9月の間に月平均12回取材を行っています。そのほかにも映像制作に必要な素材の撮影も行っています。



取材中の様子

#### ●新規YouTubeチャンネルの開設

江府町役場にある「ブカツ」制度を活用して、江府町奥大山ゆーちゅー部を立ち上げました。立ち上げたばかりなことに加えて、仕事の合間を縫っての活動のため動画数はほとんどありませんが、任期終了までに誰でも参加できる仕組みづくりをすることで気軽にYoutubeで発信ができるまちにしたいです。



紹介動画作ってます

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) k\_soumu@town-kofu.jp  
(電話番号) 0859-75-2211 (江府町役場総務課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(江府町公式Youtubeチャンネル)  
[https://www.youtube.com/channel/UCCWnbP2\\_g9PPsnDjftKgeUQ](https://www.youtube.com/channel/UCCWnbP2_g9PPsnDjftKgeUQ)



### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
大阪府寝屋川市  
【転出元】  
大阪府寝屋川市  
【前職】  
介護施設の立ち上げ運営管理  
【活動時期】  
R4.4~

### 協力隊に応募したきっかけ

市役所職員の方から、前職の知識・経験を活かした地域おこし協力隊をしてみませんか？とお誘い頂いた為。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、現在赴任している安来市比田地区の活性化を行いたい。  
又、比田地区から安来市全域→島根県へと活性化の波を起こしたい。

任期後は、現在している活動を活かした事業を行いたいと思ってる。

### 活動内容

●**比田地域（農村）の温泉施設等の素材を活用したサービスの開発支援など**  
比田地域にある温泉施設（湯田山荘）のリニューアルオープンに向けた、誘客の為の新サービスの企画・開発・提案を検討、実行中。

●**安来市の観光振興事業**  
安来市観光協会にて、ホームページのリニューアルや、観光客が利用する市コミュニティバスの課題抽出、観光マップのリニューアル等を協会内メンバーと実行中。  
又、観光協会が主催で行っているサイクルナビゲーター講習に参加し、自転車による観光ガイドが行えるように勉強している。



●**安来市特産のどじょう料理促進の為のパンフレットの作成**  
安来市の特産品である、どじょう料理の促進の為のパンフレット作成を行った。  
どじょう料理を出している店の紹介だけでなく、どじょうを食べた事がある方、ない方全ての方に見てもらえるよう、yes・noチャートを入れたどじょう料理紹介のパンフレットにした。



### 連絡先

### 基本情報



【年 齢】  
23歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前 職】  
大学生  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

祖母の家が飯南町にあったこともあり、小さいころから飯南町を知っていました。大人になって、改めて飯南町を訪れた際、美しい星空や季節の移り変わり、美味しい水に感動しました。しかし、町民はその魅力に気づいていないことを知り、魅力発信ができることをしたいと考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は町の魅力発信サイトの閲覧者を増やすことを目標に、町の人と「飯南町の魅力とはなにか」を一緒に考え、発見し、共有していきたいと思っています。また、任期後の目標は、任期間で学んだことをどのように活かしていけるかを考え、飯南町だけでなく広い視野で次に繋げられることをしていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●国号54号の活性化

国道54号の持続的な活用方策の実践のため、町民主導による活動計画「飯南町国道54号活性化アクションプラン（以下、アクションプラン）」があります。その実践組織「国道54号活性化アクションプラン推進協議会」があり、会員のサポートや、企画立案・実践を行っています。以下の2つはその一部です。



#### ●町の魅力発信サイト

町の中でも、地区ごとに少々距離がある飯南町。隣の地区でこんなイベントがあったと後から知ることよくあります。そのため、町内はもちろん、町外の人に飯南町でどんなイベントが行われているかをまとめて確認できるサイトの運営を行っています。



#### ●歴史本作成

町の人と一緒に語られずに消えてしまう歴史は勿体ないと考え、飯南町の「ちょっと昔」についての歴史本を作成しています。そのために「ちょっと昔」の飯南町に詳しい住民さんの子供の頃のお話取材し、一緒に本を作るため執筆しています。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
福井県小浜市  
【転出元】  
鳥取県米子市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

島根県住みます芸人として活動する中で、地域おこしで重要なことはそこに住む人が地域に愛着を持ち幸福を感じることではないかと考えていたところ、食で町おこしに取り組む邑南町のことを知った。さらに全国へ発信することが求められていることを知り自分の経験やスキルが生かせるのではと考え応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

吉本興業の求める地方創生に取り組む芸人の先駆けとして、町内事業者との連携による商品開発や人員不足に悩まされる事業者の商品を都市部のイベントスペースを利用したポップアップストアの取組みなど、隊員卒業後の邑南町内での起業に向け、金融機関などとも連携しながら準備を進めている。

### 活動内容

#### ●産業体験

町内の農家や事業者を回り、生産・加工現場について知見を深めると共に関係を構築し、情報発信等の基礎固めを行った。また農畜産園芸の学科をもつ地元県立高校とタイアップした授業の開催などにも取り組んだ。



#### ●商品開発

町内の老店醤油店と共同で商品開発に取り組み、町内の食材をふんだんに使った「おおなんの宝」を完成させたほか、町内事業者を集めた商品開発勉強会「邑南塾」を定期的に主催し、新たな商品の開発に取り組んでいる。



#### ●情報発信

金融機関や協力団体との連携により、町外のイベントスペースを活用して邑南町をPRするポップアップストアの取組みを展開するほか、BSよしもとの番組内で邑南町を中心とした地方の魅力を発信している。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[奥村隼也 \(@kyubinsentar\) さん / Twitter](#)

[奥村隼也 プロフィール | 吉本興業株式会社 \(yoshimoto.co.jp\)](#)

### 基本情報



【年齢】  
22歳  
【出身地】  
兵庫県 川西市  
【転出元】  
兵庫県 川西市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

Instagramで、たまたま西ノ島の広告が流れてきました。気になってリンク先の記事を読んだところ、自分のスキルを活かせそうな職業だったので応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

未定

### 活動内容

#### ●郷土料理レシピ本制作

料理の再現は、食生活改善推進協議会員の方に協力して頂きました。写真撮影と郷土料理レシピ本の制作を、前任の地域おこし協力隊の方から引き継いで取り組みました。



#### ●協力隊Instagramの運営

前任の地域おこし協力隊の方からアカウントを引き継いで運営をしています。移住者として気になったことなどを、インスタマガジンとして投稿したところ、フォロワーが徐々に増えていきました。



#### ●動画・ポスター制作

町内放送の番組OPや、イベントのポスター・チラシ、写真のリタッチなどの制作作業をしています。

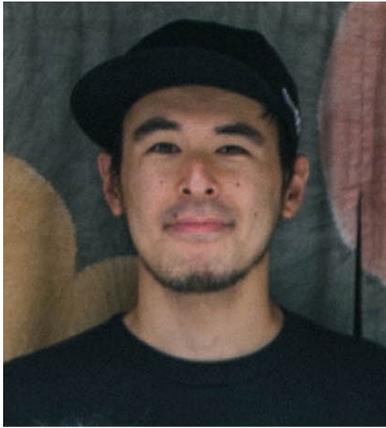


### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [sangyou-shinkou@town.nishinoshima.shimane.jp](mailto:sangyou-shinkou@town.nishinoshima.shimane.jp)  
(電話番号) 08514-6-1220

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/nishinoshima\\_chiikiokoshi/](https://www.instagram.com/nishinoshima_chiikiokoshi/)

### 基本情報



【年齢】  
38歳  
【出身地】  
東京都世田谷区  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

プロモーションや地方創生の仕事を経験し、「クライアントの魅力をどのように掘り起こすか」という視点を学びました。また、縁あって岡山県に移住する理由があり、相談会で真庭市の先輩地域おこし協力隊の方と話をし、「人」への魅力を感じたことが決断のきっかけとなりました。「何をするかより、誰とするか」という視点で仕事選びをしたいと考えていた中で、真庭市であれば「面白い人」に沢山出会えるのでは、と思ったからです。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在は、真庭市の「人」や「地域」の魅力を掘り起こし、ウェブ媒体を中心に情報発信を行っています。また、企画者としても、行政を中心に地域活動に伴走し、運営や進行面でのお手伝いをしています。自分事として当事者意識を持ち、同じ目線で考え、膝を突き合わせて一緒に行動していくスタンスが大事だと考えており、任期後も、真庭市のひとりの生活者としての意識を持って課題に向き合うライター・企画者として活動するつもりです。

### 活動内容

#### ●真庭市の魅力発信プロジェクト

ライターとして、真庭市の魅力を掘り起こし、市内、県内、県外問わず「こんなに素敵な魅力があるんだ」という情報を発信しています。真庭市交流定住センターが運営するオウンドメディアで記事を執筆したり、都心部が読者層である地域特化型メディアに記事を掲載するなど、様々な媒体を通じて真庭市の魅力を届ける（触れてもらう）よう活動しています。



地元の日常的な暮らしや、人との会話や交流を、観光資源として届けたい。人の魅力にフォーカスした観光パンフレットとは

#### ●地域図書館と連携した地域資源の掘り起こし

真庭市立図書館（中央図書館）の“図書館みらい計画「地域資源の再評価と新たな価値の創出」事業”として、真庭市の小学校・中学校を中心とした「校歌」を採集するプロジェクトの事務局運営に携わっています。まだ、立ち上げて間もないですが、今後は市内に住む人を中心に校歌の情報を集めることで、世代を超えた話題作りをしたいと考え活動しています。



#### ●観光文化発信拠点施設のSNS運用アドバイザー

真庭市の新たなシンボルとして期待される観光文化発信拠点施設の「GREENable HIRUZEN」のSNS運用アドバイザーとして、ライターの知識（文章の作り方、表現の仕方）などを施設のスタッフの方に伝える講座を実施しました。SNS運用全般、写真撮影といったスキルに特化した他のアドバイザーとともにチームで連携し継続的に支援する活動をしています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://www.facebook.com/u.sakai.shoei/>

### 基本情報



【年 齢】  
34歳  
【出身地】  
広島県竹原市  
【転出元】  
東京都板橋区  
【前 職】  
会社員（企業広報担当）  
【活動時期】  
R2.9.1～R5.8.31

### 協力隊に応募したきっかけ

地域に根付いた「ものづくり」をしたいと思ったからです。元々広島県出身で、地域情報誌の制作に携わっていました。各地を訪ねて取材を重ねる中での人との出会いから、地域密着で活動をする人への憧れをいただき、いつか自身も地域をじっくりと掘り下げる形で仕事に取り組みたいと思うようになりました。経験を積むために上京し、改めて地元でUターンと考えた際に協力隊制度を知り、Jターンという形で安芸津との縁をいただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

「安芸津」という町の認知拡大に貢献することで、結果として自身が生まれ育った瀬戸内海の港町全域に注目していただくきっかけづくりをしたいと考えます。今はどこでも情報を拾える状況にありますが、体感することなく知っている気持ちになることへの気持ち悪さも同時に感じます。それぞれの視点にこそ、地域の面白みが詰まっていて、その一つ一つの体験や経験を、私なりに伝えることで、町の記憶と記録に残る「ものづくり」をしていきたいです。

### 活動内容

#### ●町の情報発信

「あきつで暮らす」をテーマにしたものづくり。  
①安芸津の町歩き案内「安芸津散策探訪MAP」  
②安芸津産の商品をまとめた「安芸津お土産手帖」  
③安芸津の牡蠣直売所案内「牡蠣直売所MAP」  
④安芸津の飲食店をまとめた「安芸津でご飯」  
⑤安芸津のテイクアウト食品をまとめた「安芸津でTAKEOUT」



#### ●イベント運営

町案内を軸にした「町歩きワークショップ」、制作物を展開させた「お土産手帖展」などのほか、地域の祭り、マーケット運営のサポートをしています。



#### ●場所づくり

安芸津案内の拠点となる「場所づくり」に取り組み始めました。地域を巡る際の、最初の立ち寄りポイントとして活用いただくことで、満足度の高い町歩きをしていただきたいと思います。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://www.instagram.com/akitsu\\_kurasu/](https://www.instagram.com/akitsu_kurasu/)

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
茨城県つくば市  
【転出元】  
山口県玖珂郡和木町  
【前職】  
スポーツ応援グッズ  
制作会社  
【活動時期】  
R2.8～ R5.7  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職でイベントを企画した経験があり、この経験を活かしながら地域貢献したいと漠然と考えていました。

ネット検索で偶然「地域おこし協力隊」制度を知り、和木町が「イベント企画・運営」というミッションで協力隊の募集を行っていたので思い切って応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

和木町に定住できるよう、残り1年で任期後の起業への準備を進めていければと思っています。  
スキルを磨くことはもちろんのこと、地域内外の人脈作りについても任期後とても大切になるので幅広い活動を最終年度も行う予定です。

卒業前には和木町の皆さんと一緒に  
集大成となるイベントを企画します！！

### 活動内容

#### ●イベント企画

蜂ヶ峯総合公園を中心に和木町内でのイベントを企画・運営しています。

「Waki-Hachi Marche」は蜂ヶ峯総合公園の定番イベントとして定着し始め、回を重ねるごとに規模を拡大中！！



#### ●町の魅力のPR

地元ローカルチャンネル「わきちゃんねる」へ出演し、和木町内外へ和木町の魅力をPRしています。

大人気番組「わきさんぽ」は毎回録画して楽しみに観ている町民が多数・・・という噂・・・。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0827-28-4666 \*職場：和木町地域振興協会

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram「和木町の景色」  
[https://www.instagram.com/wakichou\\_no\\_keshiki/](https://www.instagram.com/wakichou_no_keshiki/)

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
ロシア  
【転出元】  
徳島県徳島市  
【前職】  
会社員（インターナショナル保育園）  
【活動時期】  
R2.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

徳島市内に住んでいた時、趣味のサーフィンやハイキングなどを楽しむために県南エリアに何回も通っていて、アウトドアフィールドや自然環境の魅力に深く感動し、いつかは「県南エリアに住んでみたい」と思っていました。

もっと多くの徳島の自然文化などを体験し、世界中の人に徳島の魅力を知ってもらいたいと思い、外国人地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

徳島の魅力発信など観光に関する仕事に興味を持っています。また、教育にも興味があり、任期後はどちらかの仕事に携わりたいと思っています。

### 活動内容

#### ●徳島県公式英語版SNSによる情報発信

徳島県公式の英語版SNS（Facebook・Instagram）「Deep South Tokushima」を活用し、徳島県南部の観光スポットやアクティビティなどを実際に体験し、外国人ならではの目線で県南部の魅力を発信している。



#### ●徳島県公式YouTubeチャンネルによる情報発信

徳島県公式のYouTubeチャンネル「みぎアゲTV」にユーチューバーとして出演し、外国人の関心を高める内容の企画提案や動画製作等により、体当たりで「四国の右下」の魅力発信に取り組んでいる。



#### ●海外旅行者向けファムツアーなどの企画提案やアテンド

通訳ガイドやツアーオペレータの経験を活かし、外国が魅力的に感じるツアー企画の提案や実際にツアーに同行し、現地ではアテンドとして、参加することで、地元事業者と参加者（海外観光客）との交流の架け橋となる役割を担い、ツアー参加者の満足度向上につながる取組を進めている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス）nanbu\_c\_m@pref.tokushima.jp  
（電話番号）0884-74-7354  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
カナダ レッドディア市  
【転出元】  
徳島県佐那河内村  
【前職】  
ALT（佐那河内村教育委員会）  
【活動時期】  
R3.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

徳島県に来て4年間生活をした佐那河内村では、地域やそこに暮らす人々に魅力を感じました。そこで、この魅力を海外に向けて発信したいと思い、ビデオプロジェクトを企画しました。  
このような活動を「にし阿波」でも継続したいと考え応募しました。「にし阿波」の観光スポットを紹介するため、写真撮影やPR動画の制作、SNS投稿などの活動で、情報発信を行っていきます。

### 今後の抱負・任期後の目標

「にし阿波」での情報発信を通じて、メディアづくりや翻訳のスキルを高めていきたいと思っています。また、地域の皆さんと交流しながら、いろいろなことに協力しながらチャレンジしていきたいと考えています。  
任期終了後もここでの経験を大切にし、日本の情報を発信をする仕事を続けたい。

### 活動内容

#### ●SNS情報発信

徳島県西部圏域「にし阿波」は、大歩危・祖谷などの景勝地や脇町うだつの町並みなどの歴史的な景観など魅力的な観光地が多くある地域です。国内外からの観光誘客を進めるため、この素晴らしい自然や歴史・文化をSNSで世界に発信しています。



#### ●商談会で通訳業務

コロナ禍前は「にし阿波」の自然や歴史・文化に魅了されて多くの外国人が観光に訪れていました。アフターコロナに向けて、もう一度たくさん海外から観光客に訪れてもらえるよう、オンラインやリアルでの商談会を通じて旅行会社やメディアに「にし阿波」の観光情報を伝えています。



#### ●ファミツアーのアテンド

「にし阿波」を訪れるファミツアーのアテンドを行っています。「にし阿波」の素晴らしい観光地を直接、旅行会社の皆さまに見てもらって旅行商品の造成、販売につながるよう取り組んでいます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) seibu\_c\_my@pref.tokushima.jp  
(電話番号) 0883-76-0374  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/hidden\\_tokushima/](https://www.instagram.com/hidden_tokushima/)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/hiddentokushima>

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
石川県 白山市  
【転出元】  
石川県 白山市  
【前職】  
建築設計  
【活動時期】  
R2.2～ R5.1  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

たまたま訪れた美波町の山・川・海が織りなす幻想的な風景、その風景と調和した漁業や林業の営みに見せられて移住を決断しました。受け入れ団体の「日和佐 発心の会」は四国霊場23番札所 薬王寺の門前町の歴史・文化を次世代に継承していくことを目指して、地元有志で2015年に立ち上げたベンチャースピリット溢れる団体です。空気に流されずに知識と合理性を重んじたハイレベルな議論や実践にはまだなかなかついていけません、毎日とても充実した日々です。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、模索中です。

### 活動内容

#### ●ウミガメマスク

「日和佐発心の会」と門前町にある縫製工場が協力をし、商品開発を行いました。美波町出身の画家・橋本シャーンさんが描いたウミガメのイラストを使用し、マスクを製作しました。「道の駅日和佐」や「うみがめ博物館カレッタ」で大好評販売中。



#### ●電動バイクレンタル事業

ウィズコロナ・アフターコロナ社会での美波町での新しい観光のあり方を実践するべく電動バイク「BLAZE SMART EV」のレンタル事業を開始しました。



#### ●Art Tourism Museum 373

「日和佐発心の会」のメンバーで、薬王寺温泉前に位置する元JAバンクATMの建物を改修して、桜町通りに人を誘い込むギャラリーとして2021年2月にオープンしました。ちなみにお金はおろせませんのご注意ください。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<https://sites.google.com/view/hossin-no-kai/>

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
兵庫県神戸市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
空調設備会社  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

徳島県で藍の製造から染めに至るまでの技術を学びたかったので応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

藍の製造、染料の管理など技術を深めて、任期後の独立を目指したいです。

### 活動内容

#### ●佐藤阿波藍製造所での研修

徳島県で伝統的な藍の染料づくりを行う佐藤阿波藍製造所で一年間研修を受けています。藍の栽培から染料である「すくも」の製造に至るまで一連の工程を学んでいます。



#### ●藍の染料「すくも」づくり

協力隊のメンバーで藍の栽培から染めまでを一貫して実践しています。4月に植えた藍の苗を7月に収穫して、9月から寝床と呼ばれる土間で染料となる「すくも」の製造をしています。



#### ●藍染めの体験サポート

藍住町内の幼稚園で藍の生葉染め体験をサポートしました。自分たちが育てている藍を園児と一緒に収穫して、トートバックに葉っぱの模様を付けました。園児たちは楽しく真剣に取り組んでくれました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp  
(電話番号) 088-661-4484

### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
滋賀県栗東市  
【転出元】  
東京都港区  
【前 職】  
WEBマーケティング  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

大学時代に古着屋で藍染の作品を見たことから、将来藍染をしたいと思うようになった。商品を作る技術力と、商品の魅力を正しく届けるマーケティング力の両方が必要になると考え、大学卒業後はWEBマーケティングを仕事に活動していた。藍住町の地域おこし協力隊の募集ページを見て、応募をした。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は独立し、畑での藍の栽培から、藍染作品の制作・販売までを一貫して行う予定している。協力隊の任期内に染めの方では、自分の核となる表現方法を身に着けたい。畑の方では、少ない人数での効率的な栽培の仕方や、農業全般の知識を身に着けたい。

### 活動内容

#### ● 藍の栽培・染の製造

3月に藍の種を撒き、7月頃に刈り取りを行っている。その後は、藍粉しという作業をおこない、藍を葉と茎に分け、葉の部分だけを乾燥させる。9月から11月には乾燥させた葉に水を与え、空気に触れさすようにかき混ぜることで発酵を促し、藍染の染料としての染を作る。

#### ● 藍染め

自分たちで作った染を用いて、藍の染液を作り、2日に1回のペースで染作業を行っている。染めた物は藍住町の成人式祝いや、新生児祝いなど、町内の住人に還元している。その他、町内での展示なども行っている。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp  
(電話番号) 088-661-4484

### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
東京都青梅市  
【転出元】  
東京都青梅市  
【前 職】  
アウトドアアパレル  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

「藍染めの原料である藍の栽培、藍染めの染料である染（すくも）づくり、藍染め」までを一貫して習得することが出来る環境を探していたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期中は、藍の栽培、染づくり、藍染めを習得することを目標とする。  
任期後は起業をし、任期中に学んだ一連の工程を行いながら、藍染め製品の制作および販売を行うことを目標としている。

### 活動内容

#### ● 藍染めの原料である藍の栽培、収穫、乾燥葉への加工

藍染めの原料は畑で育てられる藍の葉である。藍の栽培と収穫に加え、収穫した藍を葉と茎に選別し、葉の部分だけを乾燥させ保管する。葉と茎を選別する理由として、葉の部分のみに青色の色素が含まれているため。期間としては、春先から秋頃まで。

#### ● 藍染めの染料となる染づくり

乾燥させた藍の葉を寝床（ねどこ）と呼ばれる建物に集め、水打ちと切り返しを繰り返して堆肥状のものへと加工する。期間は秋から冬。約3カ月かけて行う。

#### ● 藍染め

約1年かけてつくった染を用いて藍染めの染め液を仕込み、糸や布、既成の服を染色する。  
なお、染めることが出来るのは天然の繊維から成るものに限られ、石油由来の化学繊維などは染めることができない。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス）aizumi-aikoubo@ma.pikara.ne.jp  
（電話番号）088-661-4484

### 基本情報

【年齢】  
25歳  
【出身地】  
香川県 高松市  
【転出元】  
兵庫県 宝塚市  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R2.12～



### 協力隊に応募したきっかけ

大手コーヒーチェーン店での勤務経験を活かせる募集内容であったため。

### 今後の抱負・任期後の目標

#### 【今後の抱負】

市と民間団体をつなぐ架け橋となり、官民連携の流れを作っていくこと

#### 【任期後の目標】

カフェを営業し、様々な人が交流できるような運営を考えています。

### 活動内容

#### ●【イベント関連】

- ・お接待企画  
地域おこし協力隊の存在の認知度を高め、市民とのつながり作りをするために実施。  
この企画をきっかけにして、コミュニケーションをとり活動の幅を広げることができた。



#### ●【情報発信関連】

- ・四国霊場七ヶ所まわりマップ（遊歩帳）  
若者が手に取りたいような七ヶ所まわりのマップを作成。  
この企画は、四国学院大の教授や学生、七ヶ寺の方々等多数の関係者が参加。  
作成後は、市広報、新聞、雑誌など複数のメディアが取り上げた。
- ・善通寺一高での講義  
探求の時間にて、講師の一人として参加。  
まちづくり、コミュニティスペースをテーマに講義予定



### 連絡先

#### 【【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) miyata@city.zentsuji.kagawa.jp  
(電話番号) 0877-63-6312 (職場)

### 基本情報

【年齢】  
37歳  
【出身地】  
大阪府岸和田市  
【転出元】  
大阪府大阪市  
【前職】  
会社員(建設機械関連)  
【活動時期】  
H31.4～



### 協力隊に応募したきっかけ

仕事中心の生活をしていましたが、子どもが生まれたことで、妻の地元である善通寺市で家族中心の生活をすると決心する。

せっかく移住するのであればお世話になった家族や地域の力になれるような仕事がしたいと思い、地域おこし協力隊になり、現在に至る。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在の業務で善通寺市の魅力を発掘、発信しながら、自分の活動において、何が地域おこしになるのかをもっと明確化していく。

任期後は人が憩える飲食店を開業したいと考えている。

### 活動内容

#### ● イベント企画、運営

- ・善通寺市の古墳とまちを巡るスタンプラリー「善通寺作戦」の企画・開催



#### ● メディア出演

- ・NHKミステリアス古墳  
TV出演にて市内の古墳を紹介



#### ● 情報発信関連

- ・讃岐もち麦ダイシモチを使用した飲食店等の特集したチラシ、ダイシモチめぐりを作成



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [nakagawayuuta@city.zentsuji.kagawa.jp](mailto:nakagawayuuta@city.zentsuji.kagawa.jp)

(電話番号) 0877-63-6315 (職場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(市観光協会インスタグラム) <https://www.instagram.com/kukainavi/>

### 基本情報



【年 齢】  
30歳  
【出身地】  
徳島県徳島市  
【転出元】  
千葉県八千代市  
【前 職】  
航空会社(グランドスタッフ)  
出版社(編集者)  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

善通寺市が来年1250年祭を迎えるにあたり、自分が経験してきた、ライターとしての技術などを活かせると感じたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

当面の目標は、空海御誕生1250年祭のPR関連ですが、その後も観光情報発信媒体での、業務に携わっていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●シティブロモーション

1250年祭にかかるシティブロモーション用ポスターとフライヤーを担当。タウン情報誌での編集経験を活かし、今まで善通寺市を目的地ととらえていなかった若い層にも注目されるようなデザインを調整中です。

#### ●記念切手

ご誕生1250年を記念して発行される切手の調整担当として活動。現在は第一弾の「真言宗十八本山」バージョンの発行に向けて、郵便局や十八本山各寺デザイン等の調整を行っている。

#### ●空海ナビリニューアル

1250周年を迎えるにあたり、アクセスが予想される空海ナビのリニューアルに関わる業務を担当。掲載店舗の充実やモデルコース等の提案に向け企画取材を実施予定。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [fukuoka@city.zentsuji.kagawa.jp](mailto:fukuoka@city.zentsuji.kagawa.jp)  
(電話番号) 0877-63-6315  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.kukainavi.com/> (市観光協会HP)

### 基本情報



【年齢】  
44歳  
【出身地】  
愛知県名古屋市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前職】  
飲食業  
【活動時期】  
R3.4～ R5.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

▶たくさんの人と繋がり、島の事を詳しく知る事ができる。開業に向けての大切な事を、地域おこし協力隊の活動を通じて得られるのではないかと思います応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

▶「今治」「大三島」「しまなみ海道」を全国の方に知ってもらえる様な活動をしていきたいと思っています。そこから興味を持ってもらい、来てもらい、ファンになってもらう。さらに移住に繋がれば最高です。  
趣味でロードバイクに乗っており、「世界のサイクリストが集まるしまなみ海道に住みたい!」と、移住を決意しました。趣味と経験を掛け合わせた仕事をしたいと思い、しまなみ海道でサイクリスト向けスタミナ飯を提供する店を持つという目標を持っています。

### 活動内容

#### ●イノシシの解体、狩猟

協力隊着任当初より、「しまなみイノシシ活用隊」にてイノシシの解体を学んでいます。焼いた時にほんのりミカンの香りがするという大三島のイノシシは、食べ比べコンテスト「日本猪祭り」でグランプリを獲得するほどの逸品。これをもっと全国に広めて島の産業に繋げていければと思います。また、狩猟免許を取得し令和4年度の猟期から狩猟を始めていきます。



#### ●ペット用イノシシ骨ジャーキー開発、販売

捕獲したイノシシを余すことなく有効に活用したいと思い、今まで廃棄されていたあばら骨を乾燥させて犬用ジャーキーを開発しました。今後は内臓部分を使っの製品開発にも取り組んでいきたいと考えています。



#### ●サイクリングの楽しさをしまなみ海道から発信

サイクリングってエコで健康的で楽しくてetc... そんなサイクリングの競技人口を増やすべく、SNS（インスタグラム）を使って、しまなみ海道を中心に思わず行きたくなる様な風景やサイクリストの写真をアップしています。今治が世界に誇るサイクリングロード「しまなみ海道」。ここを走ってもらえれば、必ずサイクリングにハマるはずです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) i22590@imabari-city.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://www.instagram.com/shimanami\\_memory/](https://www.instagram.com/shimanami_memory/)  
<https://www.instagram.com/masatsugu555/>

### 基本情報



【年 齢】  
30歳  
【出身地】  
大阪府 箕面市  
【転出元】  
東京都 中野区  
【前 職】  
観光,移住誘致とサポート  
【活動時期】  
R4年4月～R7年4月

### 協力隊に応募したきっかけ

祖父が大島で暮らしていたが、高齢のため生活が難しくなったことがきっかけで家族の家と土地を維持するために移住することを決めた。仕事は前職のスキルを活かして観光、移住に携わろうと決めていたため、現在の今治市の情報等を聞かせてもらうべく今治市役所に問い合わせをしたところ、地域おこし協力隊という制度を紹介して頂いた。

### 今後の抱負・任期後の目標

大島の宮窪町という地域の観光、移住促進。第一として観光で地域の魅力をUPできたらと考えている。まずはカレイ山展望公園で観光客を増やす施策をいくつか行い魅力UPに取り組む。20 - 40代の比較的若い人々にターゲットを置いている。今後若者が観光しやすい環境、移住したいと思う環境作りに取り組んでいきたい。

### 活動内容

#### ●能島の里 黒イチジク農園

農作業でなく、主に販路開拓や商品改札、メディア対応など裏方全般を担っている。最近注目を集めており、南海放送やテレビ愛媛等が度々取材をしにきている。現在約40本の黒イチジクであるが、11月には苗木を植え約80本になる予定である。皆で産地化を目指し頑張っていきたい。



#### ●カレイ山展望公園キャンプ場

キャンプ場の運営を担当しており、コロナ期間中にイノシシに荒らされたキャンプサイトの修繕、景観を良くするための木の伐採、ウェブの集客導線及びHP作成、家族層が来やすいキャンプ場にするため、魅力的なキャンプ場作り等、現状着手しなければならない部分がたくさんあり、猫の手も借りたい。



#### ●カレイ山テイクアウト型 飲食店

カレイ山はキャンプ客よりも観光客がメインの観光地であるが、最近は観光客も少ない印象である。観光客の平均滞在時間は10 - 20分と短く、まずはカレイ山観光の満足度を上げるためにコーヒーや軽食等を出せる店を作っている。元々あったしまとく市場を現在改装中である。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
60歳  
【出身地】  
広島県三原市  
【転出元】  
東京都大田区  
【前職】  
飲食店 経営  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

大島の不動産情報を集め 最高のフランス料理店を建築する為。

### 今後の抱負・任期後の目標

ヨーロッパの田舎町にあるような みんなが集えるレストランを造り 国内外からの観光客の方にも来店していただく。

### 活動内容

#### ●「食材」x「眺望」x「建材」 = テロワール

瀬戸内 大島の誇る食材や多島海などの地域資源 多種にわたる季節のフルーツ 島内の自然で育ったジビエ食材 素晴らしい魚介類を活用し しまなみのフランス料理を仕上げ マスコミや観光客の方に情報発信する。



#### ●狩猟採集の料理

地域の有害鳥獣駆除に携わり 大島のジビエ食材の素晴らしさも伝わるような 狩猟採集の料理 ストーリー性のあるお皿を完成させ レストランで提供する。



#### ●大島の東西を結ぶ「線」

隈研吾氏に店舗設計をお願いして 大島の隈デザインの亀老山展望台とレストランを 観光客の方が行き来して頂けるような新時代の commons の提示をしていく。



### 連絡先

### 基本情報



【年 齢】  
24歳  
【出身地】  
愛媛県松山市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前 職】  
大学生  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃からよく家族で祖父母の住む伊予市双海町に帰省していて、町が大好きでした。しかし、過疎化が進む町を目の当たりにし、大学生になったころには、双海町のために自分にできることはないか、と思うようになりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊任期終了後は双海町で飲食、宿泊、観光などを事業とする地域商社を設立して、生業にしていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●地域製品の販路拡大、加工品の開発

地域の生産者らを会員とした地域団体「ふたみファンクラブ」を立ち上げて、その団体の事務局長に就任。地域資源を生かした商品（柑橘や魚介類の加工品など）を開発し、「ふたみおうち便」として全国に向けて販売を行いました。



#### ●地域産品や生産者の魅力の発信

オンラインのモニターツアーの開催や地域の魅力を届ける冊子「ふたみ図鑑」の作成を通じて、生産者の地域への想いを届け、地域の食とそれに携わる人の魅力を発信しました。



#### ●地域産品のポップアップ販売

開発した商品はオンラインだけではなく、関東のセレクトショップなどへの販路を開拓し、地域内外のマルシェにも出店するなどして、積極的にPR・販売しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（ふたみ図鑑） <https://futamizukan.com/>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
愛知県名古屋市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前職】  
コンサルタント  
【活動時期】  
R3.2～ R6.1  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職ではインターネットやSNSを活用した販売促進や、自治体のブランド推進といったマーケティング支援会社で営業をしていました。新卒で勉強のため入社し、いずれは地域に根づいた産業や魅力を発信できるような仕事に従事したいと考えていました。また、大学時代より取り組んできたSNSやWebメディア運営などのノウハウも合わせて、協力隊活動を通じて地域に還元できるのではないかと思ったのがきっかけです。全国各地のプロジェクトの中でも、新宮地域のポテンシャルと今の自分にできることの相性がとても良いと感じたため、応募を決意しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

各事業者と連携しお茶×観光を紐づけ、新宮にしかなないようなコンテンツの開発に取り組みます。また、お茶の担い手不足解消も含めて、観光から移住へと段階的な脱限界集落にも着手したいです。任期後は、現在の個人事業を継続するとともに、自治体と協力しながらまちづくりをサポートできればと考えています。

### 活動内容

#### ●新宮茶PR映像の制作

毎年新茶の季節になると、一面に輝く茶畑の風景は多くの人を魅了します。その光景をいつでも見ていただけるように、新宮茶のお茶づくりの様子を短く映像にまとめました。動画はYoutube上で公開し、地域の事業者にもお茶会イベントや販売でタブレットを使い活用いただいております。(企画/撮影/編集)



#### ●新ブランドのプロデュース

お茶の担い手不足解消や新ブランドの立ち上げを目的としてスタートしたうま茶振興協議会。こちらに協力隊として参加させていただき、市内産地の茶葉をブレンドした新ブランドのプロデュースを担当させていただきました。

(デザインディレクション/撮影/商品企画/Web制作)



#### ●発信・販売チャネルの刷新

新宮茶の商品力は高く根強いファンも多いものの、顧客の高齢化が課題でした。SNSを新たに開設し、道の駅と連携した企画などにより#新宮茶の投稿件数が1年半で約3倍に増加。また、販売についても自社直販を立ち上げ、全国各地から通販経由でご購入いただけるようになりました。(※一部協力隊業務外)



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instaram)  
(YouTube)

### 基本情報



【年齢】  
43歳  
【出身地】  
東京都目黒区  
【転出元】  
東京都目黒区  
【前職】  
飲食店勤務  
【活動時期】  
R3.2～R5.1  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災のボランティアがきっかけで地方での暮らしに憧れるようになる。移住イベントで愛南町を知り、それから季節を変えて数回訪問した上で愛南町での就職先を探していた時に協力隊の募集を知りました。自然体で楽しみながら生活をしていきたい！という思いと、食を絡めたミッションに興味を持ち、人や地域を知りながら自分のやりたいことである町内での飲食店開業をする為の準備が地域おこし協力隊を通してできるのでないかと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は、愛南町内での飲食店開業を目指して活動している。それ以外にもやりたいことはたくさんあるので、愛南町の風土（フード）をコーディネートができるように多業での生計を目指しています。

- ・郷土料理や暮らしを伝える担い手
- ・特産品開発をして物品販売
- ・体験教室や料理教室

### 活動内容

#### 特産品開発 スパイスカレーと縄文土器クッキー

地元食材を使ったスパイスカレー開発、販売  
愛南町の魅力を発信する食プロジェクト第1弾として、町内食材を使ったカレーを町内のレストランやキッチンカー、イベントなどで販売。  
新しいお土産として、町内の貝塚から出土された平城式土器の型を使ったクッキーを開発中。



#### ●郷土料理を知る

愛南町の魅力を発信する食プロジェクト第2弾として、地元のお母さん達から町内で食べられている料理や味噌などの保存食を教えてもらっています。動画やレシピを作成し、次の世代に食や文化を繋げられるようにしていきたいです。



#### ●町内の魅力をPR

前任から引き継いだInstagram (SNS) のアカウントで移住者からみた町内の魅力を日々発信し愛南町のPRを行っています。  
イベントの告知を見てカレーを買いに来てくれたり、SNSを通じて取材申し込みがあったりと発信することで新しい繋がりがひろがっています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) sk-chiikiokoshi@town.ainan.ehime.jp  
(電話番号) 0895-72-7315

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @biyabiagram

### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
大阪府東大阪市  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
金融系企業の営業・営業事務、エステティシャン  
【活動時期】  
R4.1～R7.1  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

隣の町に知人が住んでいたこともあり、5年前から室戸市には毎年訪れていました。来るたびに、壮大な景色、おいしい食べ物、田舎のゆったりとした時間に癒されていました。移住への憧れがあったものの、決断には至りませんでした。当時1歳の子どもを初めて海に連れていった際、ひとりで遊ぶ姿を目にして、自然が身近にある場所で子育てをしたいと強く思いました。また、協力隊制度が移住へ向かう気持ちを後押ししてくれました。さまざまな感動体験を、より多くの方へ伝えたいと思い、観光課への応募を決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊として移住したことで、この1年は多くの事業者の方や地元の方々に関わる機会に恵まれ、公私共に助けてもらう場面が多々ありました。これまでの経験を活かし、室戸市の観光振興に役立てるよう活動していきたいです。現在私自身が、4歳児の娘の子育て奮闘中ということもあり、同じように子育てをしている世代に向けての観光サービス開発、実施に力を入れていきたいです。任期後のことはまだ決めていませんが、室戸市に住み続けられるよう、模索していきたいです。

### 活動内容

#### ●既存体験プログラムの磨き上げ・新たな体験プログラムの企画

市内外のさまざまな体験プログラムを視察したり、事業者の方々と新たな体験プログラムを作ったりしています。観光に訪れる子育て中のお父さんお母さんに向け、新たな観光体験事業「子ども預かりサービス」を企画。椎名集落活動センターたのしいなで、子ども限定の自然体験プログラムとして、11月リリース予定です。



#### ●研修・セミナー参加

今年は、総務省や県が主催する協力隊向けの初任者研修に参加しました。その他にも、日々の活動に役立つノウハウや視点を学ぶために、さまざまな研修やセミナーへも参加しました。写真は、和歌山県へ出張し、観光プログラムの造成・運営を事業としている民間企業が行う研修へ参加した際のもので。



#### ●地元の方々との意見交換会

地元の事業者や、さまざまな分野で活動をされている方々との意見交換会に呼んでいただいた際の写真です。室戸市を良くしたいという思いのもと活動をされている方々のお話をうかがえるので、とても勉強になり、いい刺激を受けています。また、顔を覚えていただけるいい機会にもなります。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [mr-011200@city.muroto.lg.jp](mailto:mr-011200@city.muroto.lg.jp)  
(電話番号) 0887-22-5161

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(室戸市観光ジオパーク推進課) instagram



### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
青森県青森市  
【転出元】  
東京都目黒区  
【前職】  
建築設計3Dパース  
【活動時期】  
R4.3~R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

高知県へ一度住んでみたいという気持ちを5年程温め続けていた中で、南国市の地域おこし協力隊の募集を発見。ミッションが「ものづくり」に関連された「中心市街地の活性化」だったため、アートやデザインが得意な自分にも活躍できる可能性を感じ応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

空き店舗を活用し、アートギャラリーやカフェを開き、若年層が気軽に立ち寄りたくなる町にしたい。任期後も、自治体から引き継げるものは引き継ぎ運営しながら、デザインやデジタル分野で地域に貢献できる事業をこの地で開業できたらと考えている。

### 活動内容

#### ●地域マルシェイベントのチラシデザイン

持っているデザインのスキルを最大限に活用し、「ごめんteteマルシェ」というイベントのチラシを作成した。チラシは南国市内の小中学校やスーパーなど、全域に配布や設置された。



#### ●地域イベントでのスケッチ会主催

「ごめんの軽トラ市」という地域イベントにて、ご当地ヒーロー「ゴメンジャーNEXT」をモデルとしたスケッチ会を主催した。午前・午後の2回開催で、小さなお子さんを中心に盛り上がった。



#### ●地域PR動画を作成

地域のイベント「ハガキでごめんなさい」のPR用の動画を初めて撮影編集した。また外部の動画塾にオンラインで参加し、TikTokに挑戦。実写やアニメーションなど2本をアップロードした。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram <https://www.instagram.com/chanmakonankoku/>  
TikTok <https://www.tiktok.com/@hotoyome>

### 基本情報



【年 齢】  
44歳  
【出身地】  
高知県高知市  
【転出元】  
神奈川県鎌倉市  
【前 職】  
BS・CSテレビチャンネル  
の広報・マーケティング  
【活動時期】  
R3.9～R6.8  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

高知市出身で、大学進学で東京に上京しそのまま就職。ずっと東京で働いていましたが、故郷・高知の地域活性に携わりたいと思い高知県内の地域おこし協力隊を探していました。中土佐町には、WEBでみた「久礼大正町市場」の事務局の方が面白そうな人だったことと、市場組合長が“食文化”を大切にしていたこと、役場担当者が素朴で優しくったことが決め手で応募しました。「何をするか」も大事ですが、それ以上に「誰とするか」の方が大事だと、毎日楽しく働かせてもらっている今、実感しています。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、カツオ好きの高知県民がわざわざカツオを食べにく中土佐町の久礼地区にある「久礼大正町市場」の活性施策(PR全般)を担当しています。久礼地区は、400年のカツオの一本釣りの漁師町です。町にはカツオの食文化が根付いていて、カツオに詳しい“カツオ無双”な町民がたくさんいます。高知出身ながら、知らないことがたくさんあり、もっとカツオのことを勉強していきたいです。ゆくゆくは、久礼および高知のカツオ産業・文化の保護・発展に、なにかしら携われれば良いなと思っています。

### 活動内容

#### ●久礼&久礼大正町市場のカツオの魅力・特徴をまとめた「カツオHANDBOOK」の企画・編集

市場の鮮魚店のスポンサーのもと、メディア・観光・教育関係者への資料「カツオHANDBOOK」を企画・編集。生態等の基本情報から、漁の歴史や久礼のカツオの美味しい理由、市場のカツオ料理まで、カツオに詳しい町民・役場担当者に取材協力してもらい、ライター&デザイナーさんとまとめる。発行後、市場HPでも一般公開。

★閲覧サイト⇒<https://bit.ly/3SvbOsf>



#### ●中土佐町のイベント「かつお祭」に連動した、市場主催「久礼大正町市場かつお祭」の開催

R4年5月に、中土佐町・久礼の名物イベント「かつお祭」が3年ぶりに事前予約制で開催。それにあわせて、カツオの市場として「久礼大正町市場かつお祭」を同時期に実施。初ガツオの時期なので、食堂でのイベント限定カツオメニューや販売店での割引・特典サービスのほか、参加無料の利きカツオのテイスティングなど実施。企画・運営を担当。

★イベントの様子 <https://bit.ly/3F9f21G>



#### ●コロナ禍での県外ファン拡大&ふるさと納税PRを目的にした市場の有料オンライン宴会の開催

R3年11月に「戻りガツオ到来！ふるさと納税やりゆげよ記念 久礼大正町市場オンラインおきやく」を開催。企画・進行・運営を担当。市場の鮮魚店、事務局同僚、他の協力隊員たちの多大なる協力のもと実施。

★イベントの様子

<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/520228>



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
0889-59-1369(事務局 9時~17時※水土日除く)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

久礼大正町市場公式SNS各種



### 基本情報



【年 齢】  
49歳  
【出身地】  
福岡県嘉麻市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
H31.4～R5.3  
(4年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

人生100年を考えたとき、元気なうちに新たなチャレンジをしたいと考えました。そのとき、「伝える」ということに興味があり、伝えたい・残したい文化が息づいている篠栗町に魅力を感じて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今は、自分自身がみつけた情報を発信していますが、1件でも多くの町内の皆さんが自ら情報発信できるようその準備のお手伝いを今のうちにしたいと考えています。

任期後は、収入源を確保しつつ、篠栗町の観光に携わる企画サポートができればと考えていますが、それが何とどの職種になるのかは、決めきれていません。

### 活動内容

#### ●篠栗の魅力発信

篠栗町の魅力を伝える場に、率先して出向き、自ら案内を行います。お遍路文化に関する紹介や、お寺体験、お寺行事に関心のある人を積極的に声をかけ、ガイドをすることで第三者からの情報発信の協力を呼び掛けています。

#### ●ファシリテーション

町内事業者が何をしたい、始めたいという相談をして見えた際、目的やゴールの整理をしています。思いが強いと、目的と手段が混在してしまうので第三者の立場で話をきき、企画メモをつくり、事業者の想いと計画遂行にむけたサポートをしています。SNSやPC操作の支援も行います。

#### ●篠栗霊場ガイド本編集会議

若手僧侶の団体が制作している「篠栗霊場ガイド本」の編集会議に参加し、編集作業支援を行っています。冊子制作に携わってきた経験を活かし、校正作業のサポートを行っています。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(instagram) <https://www.instagram.com/sasaguriwalk/>

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
東京都 品川区  
【転出元】  
東京都 品川区  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R4.2～ R6.1  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

5歳のころからガールスカウトに入り、キャンプや料理などの活動を通じて様々なことを経験した。その中でガールスカウトのリーダーを担ったことや、もともと子どもが好きで、触れあえる機会を持ちたいと思ったことから、佐賀県の地域おこし協力隊として公園マップを作成する企画ということを知り、それが応募のきっかけとなった。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、Instagramを通じた佐賀のおでかけ情報などの発信は継続しつつ、佐賀で子育てをすることの良さを伝えられるようなイベントなども実施していきたい。

任期後についてはまだはっきり考えているわけではないが、今行っている取材や記事作成、情報発信などを任期後にも活かしていけるようになりたいと思っている。そのための勉強もしていきたい。

### 活動内容

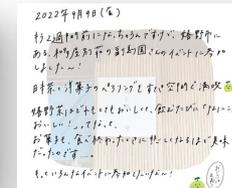
#### ●Instagram 子どもとおでかけ編集室

地域の公園、周辺のお店を取材及び、記事作成後情報発信を行っている。令和4年5月13日より毎週金曜Instagram「子どもとおでかけ編集室」で配信。令和4年10月から隔週での投稿に変更し、通常の投稿以外に、動画を活用した情報も配信中。



#### ●Instagram のんびりさが移住日記

佐賀の良さや、魅力のあるところ等、移住者目線で伝える体験エピソードの情報発信を行っている。令和4年4月1日よりInstagram「のんびりさが移住日記」で配信中。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- 子どもとおでかけ編集室  
[https://instagram.com/kodomo\\_okekake\\_saga](https://instagram.com/kodomo_okekake_saga)
- のんびりさが移住日記  
[https://instagram.com/nonbiri\\_saga](https://instagram.com/nonbiri_saga)

### 基本情報



【年齢】  
40歳  
【出身地】  
広島県福山市  
【転出元】  
山口県岩国市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな地方への移住という家族の願望を実現するため、SMOUTを活用して移住関連の情報を収集し、佐賀県唐津市七山の地域おこし協力隊募集記事を発見し、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

佐賀県唐津市七山の魅力を発信し、地域内の方には地域の新たな発見、地域外の方には七山に来てみたいと感じてほしい。

### 活動内容

#### ●地域新聞の発行

地域の農家、加工業者、飲食店などを取材したり、子どもたちの頑張っている姿を記事にした地域新聞を発行し、地域内の全戸に配布している。



#### ●SNSでの地域の情報発信

主にinstagramを活用して、自分の田舎暮らしについてや地域情報などを発信している。



#### ●活動拠点の開設

活動拠点の開設に向け、準備をすすめている。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [nanayama-sangyou@city.karatsu.lg.jp](mailto:nanayama-sangyou@city.karatsu.lg.jp)  
(電話番号) 0955-53-7175

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://instagram.com/nanayamaokoshi>  
(facebook) <https://www.facebook.com/nanayamaokoshi>

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
大阪府 箕面市  
【転出元】  
大阪府 箕面市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.6～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

2年ほど前から単身赴任で唐津に住んでいた父が、地域おこし協力隊の募集を見つけてくれたことがきっかけで地域おこし協力隊という仕事を知り、わくわくする新しいことがしたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

SNSでの情報発信など、今の活動を続けていくとともに、棚田米蕨野の販路拡大や、蕨野でのイベント開催など、わくわくすることに取り組んでいきたいです。

### 活動内容

#### ● SNSでの情報発信

地域外の方に蕨野（わらびの）の棚田を知ってもらうために、InstagramとFacebookにて情報発信を行っています。  
田植えや稲刈り、草刈りの様子など季節の移り変わりとともに、リアルな蕨野をお届けしています。



#### ● 地域新聞「笑びのだより」の発行

蕨野集落では、SNSを利用していない方がほとんどなので、地域新聞という形でお届けしています。  
SNSでの外からの反応や、イベントの様子など、掲載内容は月ごとに異なります。



#### ● 地域イベントへの参加

相知町の「蕨野の棚田」がメインの活動場所となっており、蕨野集落でのイベントを中心に参加させてもらい、地域のことを勉強させてもらっています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @tanada\_writer.warabino  
(Facebook) 蕨野の棚田ライター

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
佐賀県 嬉野市  
【転出元】  
佐賀県 嬉野市  
【前職】  
アルバイト  
【活動時期】  
R3.6～R6.6  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

着任の2年前、家族で浜野浦の棚田を見に行き印象に残っており、新聞で地域おこし協力隊の募集を見つけ棚田のPRや保全活動に協力したいと思ったことがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

棚田耕作者の負担を減らすこと。  
耕作体験を浜野浦の耕作者の方たちに浸透させる。  
後継者がいない方のサポートを行う。  
数年後、耕作者が減り現状維持が難しくなった場合に集落営農に切り替えることも考えて活動をする。

任期後  
浜野浦の棚田に関わる仕事であればなんでもやりたいと思っています。

### 活動内容

#### ● SNSを使った棚田の情報発信

インスタグラム、Facebookで日々の棚田の景色の投稿、季節ごとに咲く花（菜の花、ヒマワリ、彼岸花コスモス）の開花情報も発信しています。



#### ● 棚田景観維持の草刈り作業

主に耕作放棄地など誰も手を付けない、付けれない場所で行っています。  
大変ですがやりがいしかありません！



#### ● 棚田で米作り

棚田の地域おこし協力隊をやっているので米作りをしたいと思い始めました。米作りは始めてでしたが浜野浦の耕作者や外部の方々のサポートもあり無事に収穫までの作業を終えることができました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) mutou-keiya@town.genkai.lg.jp  
(電話番号) 0955-52-2112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
インスタグラム @hamanoura\_tanada  
facebook 浜野浦の棚田 @hamanoura

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
求人広告営業  
クリーニング会社営業  
【活動時期】  
R2.2.10～R5.2.9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

自分が運営するウェブメディアを通して、琴海地区で活躍されている方とお話させていただく機会があり、琴海地区の方々の人の良さであったり、豊富な食や地域自らが祭りを催すなど、魅力が多い地域であることを知り、「琴海」を全国、全世界の方に知って欲しいという思いがあったことから協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

期間終了後も引き続き、琴海地区に定住し、地域の情報ウェブメディアとして活動し、地域の魅力を発信したい。また、県全体にも情報共有を積極的に行いたい。

### 活動内容

#### ●地域活動拠点「ことこと」開設、地域の情報発信

隊員の自宅1階空き店舗を改修し、地域活動拠点「ことこと」を整備。地域活動支援・移住相談窓口として開設。WEBサイト「ことこと」やTwitter、Facebookを活用し、琴海地区の飲食店やレジャー施設、体験施設を紹介。地域おこし協力隊の活動報告も掲載。



#### ●地域コミュニティ支援活動

琴海のグリーンツーリズム団体「あっと！さ@琴海」の活動支援として、やまびこキャンプ場や清流と棚田の里等のHP開設、施設予約のネット受付、テントサウナをキャンプ場に導入するなどして、TVやメディアで取り上げられ、体験施設の知名度と利用者が急増。



#### ●ふるさと納税を利用し販路拡大、地区内の事業者支援

隊員自ら、長崎市ふるさと納税登録事業者となり、琴海地区の生産・加工品をふるさと納税返礼品として登録する代行サービスを開始し、事業者の売上増や知名度向上に大きく貢献。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

琴海WEBサイト  
ことこと▶



Twitter  
ことこと▶



Facebook  
齊藤秀男▶



### 基本情報



【年 齢】  
42歳  
【出身地】  
栃木県佐野市  
【転出元】  
福岡県糸島市  
【前 職】  
アパレル  
【活動時期】  
R3.7～ R6.6  
2年目

### 協力隊に応募したきっかけ

宇久島に移住を決めて、移住手続きをしている中、行政職員に協力隊の仕事を紹介されたのがきっかけとなりました。  
志望動機は、ブログ運営スキルを活用できると思った事と、宇久島に対して知的好奇心を持った為です。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負  
・観光協会のHPのアクセスアップ  
・協力隊任期後も効果が継続するWEB記事を作成したい

任期後の目標  
・ブログ、YouTubeでの価値提供  
・WEB書籍出版  
・釣り具の製作と販売

### 活動内容

#### ●観光協会の業務

観光協会に拠点に活動しています。  
レジ対応や、電話の対応、ブログ記事管理、体験プログラムのインストラクターやアシスタントなどを行っています。



#### ●WEB記事作成

観光協会の業務や、地域での生活で得た知識や情報を元にWEB記事を作成しています。令和4年度はドローンによる写真も活用させていただいています。作成した記事は宇久町観光協会公式ブログに投稿しています。



#### ●フリーマガジンの記事執筆

五島列島のフリーマガジン「fullyGOTO」の特集記事を書かせていただいています。宇久島の歴史や長く続いているお祭り、体験できる事などの内容に触れています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [takashi.kurihara@city.sasebo.lg.jp](mailto:takashi.kurihara@city.sasebo.lg.jp)  
(電話番号) 0959-57-3113  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
協力隊SNS：FB(@u9jima)、TW&Insta(@uku\_kyoryokutai)  
宇久町観光協会公式ブログ：https://www.ukujima.com/ukulog

### 基本情報



【年 齢】  
22歳  
【出身地】  
宮崎県 綾町  
【転出元】  
埼玉県 熊谷市  
【前 職】  
学生  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

キリスト教・潜伏キリシタンに興味があり、大学では自分のルーツである新上五島町で潜伏キリシタン関連の研究を行っていました。その研究を通して、もっと長崎全体を広い視野で見たいと思い、この度世界遺産の構成資産を有する黒島へ移住しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

長崎をとりまくキリスト教の文化や伝統、変遷などを総合的な視点で学んでいき、長崎の魅力を発信していきたいと考えています。

### 活動内容

- 「新たな視点での魅力の掘り起こし」と「資源をもとにした地域の魅力発信」

現在はSNSを通じた地域の情報発信や、黒島ウエルカムハウスでの観光案内などを行っています。今後は黒島の資源や遺産を活用したイベントの企画立案や商品開発などを行いたいと考えています。

- 「世界遺産を中心に島内の観光ガイド」

令和3年12月に電気自動車が導入され、観光客の行動範囲が増えたことによる世界遺産の案内や都会にはない島内の美しい自然の観光ガイドを行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [rio.uto@city.sasebo.lg.jp](mailto:rio.uto@city.sasebo.lg.jp)  
電話番号 黒島ウエルカムハウス 0956-56-2311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(フェイスブック) <https://www.facebook.com/sasebochioko>  
<https://www.facebook.com/96shima>

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
福岡県北九州市  
【転出元】  
福岡県北九州市  
【前職】  
青年海外協力隊  
【活動時期】  
R2.9～  
(4年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

日本の良さが残る田舎で、しかし田舎過ぎず利便性の良い地域で活動したいと、諫早市での地域おこし協力隊を志望。

### 今後の抱負・任期後の目標

諫早市の情報発信を通じて、市外の方に諫早市のことを知ってもらい、市内の方には諫早市の魅力を再発見してもらう活動を行いながら、どの活動においても「地域の人为主役！」を軸に、地域の人々の「何かをしてみたい」「どうしたらいいんだろう」をサポートしていきたい。

### 活動内容

#### ● SNS等を活用した諫早市の魅力や情報発信

主にInstagramを使って、自分の目で見た諫早市の魅力的な場所や食べ物、人などの情報を着任以来毎日発信。

市外の人だけでなく、市民にも諫早の魅力を再発見してもらう機会になれば、と、ブログやラジオでも情報発信を行っている。



#### ● 移住相談対応

自らも移住者である視点から、諫早市での暮らしや魅力、強みや弱みについても情報も提供している。

また、移住を検討されている人が諫早市を訪れた際には、その人の生活スタイルや希望に沿ったルートを組み立て、市内を案内し、移住後の暮らしのイメージづくりのサポートを行っている。



#### ● 関係人口づくり

「地域の人や事業者との協働」を通じて、魅力的な地域素材を活用した商品開発のサポートを行い、事業者間の新たな関係性や価値を生み出している。また、その活動の中から、体験事業やツアー等を企画、実施し、関係人口の創出にも寄与している。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [iju\\_teiju@city.isahaya.nagasaki.jp](mailto:iju_teiju@city.isahaya.nagasaki.jp)  
(電話番号) 0957-22-1500  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[Instagram](https://www.instagram.com/isahaya_city_pr/) [https://www.instagram.com/isahaya\\_city\\_pr/](https://www.instagram.com/isahaya_city_pr/)  
[Twitter](https://twitter.com/isahaya_city_pr) [https://twitter.com/isahaya\\_city\\_pr](https://twitter.com/isahaya_city_pr)

### 基本情報



【年 齢】  
54歳  
【出身地】  
京都府  
【転出元】  
奈良市  
【前 職】  
外食サービス業  
【活動時期】  
R2.12.1～ R5.11.30  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

長年、ニュージーランドという自然に恵まれた国に住んでいましたので、日本でも環境の良い所で生活したいと思いました。ニュージーランドで経営していた店で波佐見焼を使っており、窯業、農業、観光業が盛んな波佐見町に興味を持ちました。新しい地でワクワクしながら自分自身が楽しみたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

枠にとどまらず、新しい視点で幅広く魅力を発見・創出をしていきたいと考えています。長年、外食関係に従事してきたので、食に関することや何もない自然しかない国での生活経験と外国での経営者としての視点や経験が役に立てるのではないかと思います。また、よそ者の視点では、ほかに負けないと思っています。

### 活動内容

#### ● 鬼木古民家改修、企画運営、提案

鬼木の棚田にある児童文学者であり波佐見町名誉町民でもある福田清人氏の生家の改修、企画提案、運営を行います。  
民泊と地域・観光のコミュニティ拠点として活用予定です。



#### ● 花企画

鬼木の棚田も農業従事者の高齢化が問題になっており、今後も休耕地・耕作放棄地が増えることが予想されます。それらの有効活用のため花を植えることを始めました。観光資源として、またニホンミツバチ養蜂の蜜源として新しい特産物の創出を試みています。



#### ● 廃石膏の再利用・有効活用

波佐見焼を作るうえで排出される石こう型。波佐見町では年間約700トンの産業廃棄物として、数十年来の問題。それらを植木鉢やキャンドル・ホルダー、冷蔵庫マグネットなど、新しい売れる商品として企画・提案します。

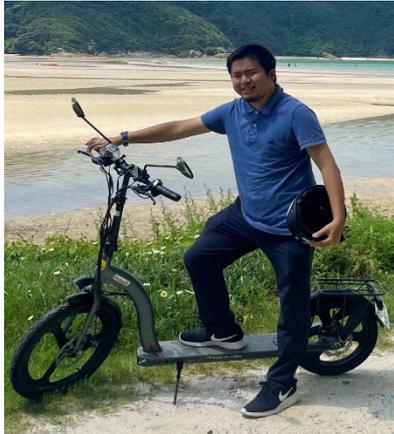


### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) Yasuyuki-kobashi@town.hasami.lg.jp  
(電話番号) 0956-85-2162

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) hasami833chiikiokoshi  
(facebook) hasami.chiikiokoshitai

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
東京都 足立区  
【転出元】  
東京都 足立区  
【前職】  
イタリアンレストラン勤務  
【活動時期】  
R4.8月～

### 協力隊に応募したきっかけ

旅行で訪れたことのあった上五島の魅力に惹かれ、移住関係のフェアで新上五島町での地域おこし協力隊の募集があることを知り、思い切って応募を決意しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は地域の食材を使ったイタリアンレストランを開業し、更に上五島の魅力発信に貢献したいです。

### 活動内容

#### ●COMS及びRideeの管理

新上五島町観光物産協会にて貸し出しているCOMS(一人乗り用電気自動車)やRidee(電動キックボード)の日々の整備・点検など管理業務のほか、これらのモビリティのモデルルートマップの作製などを行い、地域の魅力発信に努めています。



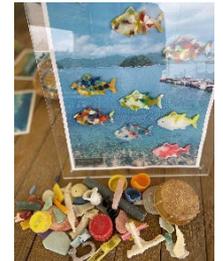
#### ●有川情報センターでの勤務

上五島の玄関口である有川港ターミナル内にある有川情報センターにおいて、島を訪れたお客様へのご案内をしています。島内の観光案内から港周辺のグルメ情報まで、様々なお客様の質問にお答えし、お客様の旅をサポートします。



#### ●SDGs ワークショップ業務

上五島の海岸に漂着する海洋プラスチックごみを回収、材料として、お魚型キーホルダーに生まれ変わらせるSDGs ワークショップを行っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [t.asaga@shinkami510.com](mailto:t.asaga@shinkami510.com)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/chioko\\_snkm/](https://www.instagram.com/chioko_snkm/)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/kami510chioko>

### 基本情報



【年齢】  
23歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
大学生  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に、元地域おこし協力隊の先生や八代市坂本町で研究をしている先生と出会い、坂本町の地域おこし協力隊のお話を紹介いただきました。

在学当時のゼミの先生の後押しもあり、坂本町の地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

- 坂本町には鹿や猪など、野生鳥獣が多くいます。坂本町産の鹿肉を美味しく食べられる機会を増やしたいと考えています。現在は猟友会に入り、罾猟を勉強中です。
- ネットで「坂本町」と検索すると、八代市と合併する前や令和2年7月豪雨の被災前の情報が多く出てきます。今の坂本町をより多くの人に伝えられるようにします。
- 坂本町には食、祭り、芸術、様々な面白い文化があります。さらに調査し、体験してもらえるようにします。

### 活動内容

#### ● SNSを用いた情報発信

着任後から、X(旧Twitter)・Instagram・Facebookを用いて情報発信を行っている。各SNSで異なるターゲットを設定している。複数のSNSを活用することで、より幅広い人たちへ坂本町の情報を伝える機会を増やしたい。

#### ● 狩猟

坂本町は8割が山林という、自然が豊富な町である。鳥獣被害に悩む地域の方の話をよく伺う。狩猟免許を取得し、1年目の冬から罾猟を勉強している。2年目からは有害駆除員として、より広い範囲で罾猟を行う。

#### ● 地域イベントや祭りへの参加

坂本町では、イベントや祭りなどの様々な行事が開催されている。

坂本町はとても広く、地域ごとの特色も様々であり、地域の特色を学ぶため積極的に参加している。

地域にある文化財の調査などにも積極的に関わっている。

地域のアユ料理の食堂にも勉強に行き、坂本町で生きる方法を模索している。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) sa-chiiki@city.yatsushiro.lg.jp

(電話番号) 0965-45-2211

#### 【活動の様子を発信しているSNS】

右記QRコードから、各SNSアカウント (X(旧Twitter)・Instagram・Facebook) のリンクに飛ぶことができます。



### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
東京都  
【転出元】  
大阪府吹田市  
【前職】  
個人事業主  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

- ①個人事業主と活動している中、月1度人吉を訪問。その中で魅力を感じ移住を決意
- ②実績を作り起業活動に活かすため
- ③くま川鉄道での業務という地域おこし協力隊でないと関われない仕事内容に惹かれ、大きなチャンスだと感じたため

### 今後の抱負・任期後の目標

- ①地域おこし協力隊の業務で実績を積み自分自身の事業に活かしていく
- ②人吉での法人設立
- ③くま川鉄道で収益事業を立ち上げ赤字額を補填する

### 活動内容

#### ●SNSでの情報発信

Instagram、Twitterや鉄道会社ではおそらく初の試みであるTikTokなど各SNSでの情報発信を行い、YouTubeやイベントの集客、ファンの獲得を行う。また人吉市全体の魅力を発信し認知の拡大に努める。



#### ●YouTubeチャンネルの運営

収益化を目的にYouTube事業を立ち上げ。「くま鉄チャンネル」を運営し収益の獲得を目指す。企画、撮影、編集、発信を一括で行う。



#### ●グッズの企画開発

くま川鉄道の新たなグッズを企画開発企画、デザインを行う。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
YouTube 「くま鉄チャンネル」  
Instagram @kumatetuofficial



@KUMATETUOFFICIAL

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
石川県金沢市  
【前職】  
バイク販売店の営業職  
【活動時期】  
R4.1月

### 協力隊に応募したきっかけ

地元の熊本に戻り、熊本をアピールできる仕事に関心を持ち求職活動をしていた。そんな時に水俣市の地域おこし協力隊の募集を知り、水俣市のことを調べたところ、従前のイメージとは違う「観る・食べる・泊まる・癒し」の観光資源が多くあることを知り、それらをPRする仕事に取り組んでみたいと思い応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の活動については、市の予算措置等の動向を踏まえ決定する予定。

任期後は、水俣市において観光分野に関わる仕事に就きたいと考えているが、詳細については未定。

### 活動内容

#### ●観光情報発信イベントへの参加

観光情報発信イベントの参加や一般社団法人みなまた観光物産協会（新水俣駅観光案内所）における観光案内業務の補助を通じて水俣市の観光情報を発信し、観光誘客の増加につながる活動を行っている。



#### ●SNSによる観光情報発信拡大

水俣市の観光情報発信を目的とし、Instagramの個人アカウント「minamata\_ba\_agenban」を立ち上げ、観光情報発信イベント等の活動を通じてフォロワーを増やし、現フォロワー数は581名に到達。フォロワーに向けて随時水俣市の観光情報を発信している。（計63件）

また、水俣市の公式観光インスタグラム「dekakukkaminamata」においても観光情報発信を行っている。

#### ●自主企画イベント「水俣ハロウィンフェスタ」の開催

地域おこし協力隊の自主企画として、水俣バラ園において初の試みとなるハロウィンイベントを開催する。（ハロウィン限定フォトブースの設置、SNSでのフォトコンテスト開催、無料の初心者向けカメラ講座の開催、キッチンカーの出店他）



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】 ※窓口：水俣市経済観光課  
（メールアドレス） [yamauti-ta@city.minamata.lg.jp](mailto:yamauti-ta@city.minamata.lg.jp)  
（電話番号） 0966-61-1629

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

隊員のインスタグラム →



### 基本情報



【年 齢】  
39歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前 職】  
独立行政法人職員  
【活動時期】  
R4.7～R7.6

### 協力隊に応募したきっかけ

数年前からUターンを考え始め、熊本の情報を発信する仕事に就き、多くの人に熊本を訪れてもらいたいと思ったことがきっかけです。そこで、地域おこし協力隊のことを知り、自治体および地域の皆さんと共に活動することで、新たな魅力発見や、その地域が本当に求めているニーズを追求することができると思ったからです。

### 今後の抱負・任期後の目標

過去、矢谷渓谷やチブサン古墳、また山鹿温泉などに訪れたことがあり、山鹿は親しみを感じる土地でもありました。私は、これまで約18年間熊本を離れて暮らし、県外には、熊本に温泉があることを知らない人がまだたくさんいらっしゃることに驚きました。そこで、山鹿市の温泉はもちろん特産品や観光地、灯籠まつり、国の重要文化財の芝居小屋「八千代座」その他、歴史や文化などを積極的に情報発信するとともに、フォトコンテストや山鹿温泉巡りなどを開催し、集客につなげていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ● 広報活動

月刊市報である広報やまがの紙面づくりを主な業務とし、市の施策から各課からのお知らせをわかりやすい記事にして掲載します。また、地域の行事や、頑張る住民の皆さんを紹介するなど積極的に取材に取り組み、旬な話題の提供に努めます。



#### ● 情報発信活動

広報やまがに掲載する記事はもちろん、各課からのお知らせの中には、すぐに告知が必要なスピードが求められる話題も多く、そのような情報は、市公式ホームページや公式SNSのFacebookやTwitterまた「やまがメイト」で配信するなど、情報発信の強化・充実に努めます。



#### ● 動画配信活動

令和4年10月から、山鹿市役所職員による施策やイベントなどの情報発信するために立ち上げられたYouTube動画配信部に、メンバーとして参加し、魅力的な動画を配信するため、現在、方向性や内容の企画に取り組んでいます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [hisho@city.yamaga.kumamoto.jp](mailto:hisho@city.yamaga.kumamoto.jp)  
(電話番号) 0968-43-1110

【山鹿市公式ホームページ】  
<https://www.city.yamaga.kumamoto.jp>

### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
兵庫県神戸市  
【前職】  
空調機器メーカー営業職、  
バイク整備士  
【活動時期】  
R3.10～R6.9  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

3歳から釣り好きの父親に魚釣りを叩き込まれ、趣味として30年間釣りを楽しむ。全国転勤のある会社に就職後、帰省のたびに上天草で魚釣りを楽しんでいたが、馴染みの遊漁船船長から後継者がいないことを聞き、地方の課題がジブンゴトとなる。新卒から10年超勤めた会社を退職し、地元でのビジネスを模索していたときに、上天草市の釣りを軸にしたブルーツーリズム推進事業の地域おこし協力隊案件の募集があり、応募に至った。

### 今後の抱負・任期後の目標

市が推進する釣りを軸にしたブルーツーリズム推進事業と連携し、釣り客の観光消費額増加を目指した取組を継続し、釣り旅行のコーディネート、釣りインストラクター等での収益化を目指す。また、上天草は、立地や海域の特性上、釣り未経験者～初心者向けに優位性を持っているため、メディアへの執筆やYouTubeなどの自身のメディアを通じて、情報発信を継続し、釣り初心者に向けて上天草の認知を高め、ブランド構築を目指す。また、釣りに関連性の高いアウトドアやツーリングなどにおけるサービス連携も図る。

### 活動内容

#### ●釣りに関する情報発信

九州・山口の月刊釣り情報誌「釣ファン」にて、見開き2Pを定期連載、熊本で月2回発行されている釣り情報誌「熊日釣りタイム」で釣果情報、コラムの執筆などを通して上天草市の釣り情報を発信。その他、ウェブメディアや自身のYouTube、SNSにて初心者向け・未経験者向けの情報を発信。



#### ●釣り×地域振興を行う団体と連携したイベントの実施

市の呼びかけにより、組織された任意団体と連携し、親子釣り教室（釣り×教育）、オンライン釣り大会（釣り×SDGs）、リアル釣り大会（釣り×ゴミ拾い）等、釣り×地域振興をテーマにした各種イベントを企画し、運営を行っている。



#### ●釣りのコーディネーター・インストラクター

市の事業として行っている「釣×食×泊」事業に協力し、未経験者～初心者向けの釣り旅行プランのモニターツアー及びビジネスプラン構築に携わる。また地元宿泊事業者と連携した、初心者向けの釣りインストラクターサービスを提供。釣りメディア等の撮影コーディネート等にも従事。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) [https://www.instagram.com/miyo.kamiama\\_fishing/](https://www.instagram.com/miyo.kamiama_fishing/)  
(Twitter) [https://twitter.com/kamiama\\_fishing](https://twitter.com/kamiama_fishing)  
(YouTubeチャンネル)「かみあまフィッシング Kamiama Fishing」  
<https://www.youtube.com/channel/UCpA5oxgMbN56HvobK7F18Tww>

### 基本情報



【年 齢】  
23歳  
【出身地】  
熊本県八代市  
【転出元】  
熊本県熊本市  
【前 職】  
アルバイト  
eスポーツプロ選手  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

自分は始めようと思ったきっかけがいくつかあり、最初のきっかけは自分が協力隊のOBの方と知り合いでその方から勧められたのが始まりでした。次のきっかけは、その地域に頻繁に行っており、知り合いも多かったという点です。なので、地域に馴染むのも早いかなと思い、この地域の協力隊になることを決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、動画投稿に限らず、自分の特技でもあるeスポーツを用いて高齢者支援やイベント等を行っていきます。また、ドローンの資格を取得し、ドローンを用いた撮影を行っていきたいと思っています。任期満了後は動画投稿とeスポーツ活動を続けつつ、ドローン資格を生かして仕事につなげていきたいです。

### 活動内容

#### ●動画投稿

主体となる活動は、YouTubeに動画を投稿してこの地域の魅力を外部に発信していくことです。様々な名所や名物、行事などを動画で分かりやすく説明していければと思っています。

#### ●動画投稿short

2つ目の活動は、本動画だけでなくYouTubeのshort動画も使ってこまめに情報発信をしていくことです。地域のイベントなどのすぐに上げないといけないものはshortで投稿しようと考えています。

#### ●SNS

別の活動としてはSNSの運営です。投稿した動画の拡散や、撮影しているときなどの実際の様子などをSNSに投稿していければと思っています。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

YouTube：[ウト'smile-YouTube](#)

Instagram：<https://www.instagram.com/ureactivation>



### 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
ドイツ  
【転出元】  
奈良県北葛城郡上牧町  
【前 職】  
ホテルのハウスキーピング  
【活動時期】  
R3.7~R5.6  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

妻が同じミッションの協力隊である。  
八代海に浮かぶ「うたせ船」を見て、携わりたいと思い、応募した。  
募集については、町のホームページで知る。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光うたせ船をはじめ、芦北町の景色のすばらしさや、観光スポットなどSNS等を使いながら、知名度を上げていきたい。  
任期後は、外国人目線で芦北の観光PRを行いながら、御立岬公園の仕事をしたり、小さい小売店等を経営したい。

### 活動内容

#### ●芦北町観光PR

観光うたせ船をはじめ、町内の素晴らしいスポットをSNSにアップし、多くの観光客が芦北町に来てもらえるように今後外国語観光パンフレットを作成します。  
また、取材依頼があれば積極的に芦北町の宣伝をしていきたいと思います。



#### ●御立岬公園管理

今芦北で一押しの観光スポット「御立岬公園」の第2キャンプ場「星の森」がオープンしました。  
ここのキャンプ場や、ゴーカート場などをお客様が気持ちよく利用してもらえるような接客を心掛け、今後増えていくインバウンドへの対応をしていきます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kankou@town.ashikita.lg.jp](mailto:kankou@town.ashikita.lg.jp)  
(電話番号) 0966-82-2511(芦北町役場 商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
奈良県北葛城郡上牧町  
【転出元】  
奈良県北葛城郡上牧町  
【前職】  
ホテルのハウスキーピング  
【活動時期】  
R3.7~R5.6  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

父方の実家が熊本県八代市にあり、昔、芦北町へも訪れていた。  
八代海に浮かぶ「うたせ船」を見て、携わりたいと思い、応募した。  
募集については、町のホームページで知る。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光うたせ船をはじめ、芦北町の景色のすばらしさや、観光スポットなどSNS等を使いながら、知名度を上げていきたい。  
任期後は、外国人目線で芦北の観光PRを行いながら、御立岬公園の仕事をしたり、小さい小売店等を経営したい。

### 活動内容

#### ●芦北町観光PR

観光うたせ船をはじめ、町内の素晴らしいスポットをSNSにアップし、多くの観光客が芦北町に来てもらえるように今後外国語観光パンフレットを作成します。  
また、取材依頼があれば積極的に芦北町の宣伝をしていきたいと思っています。



#### ●御立岬公園管理

今芦北で一押しの観光スポット「御立岬公園」の第2キャンプ場「星の森」がオープンしました。  
ここのキャンプ場や、ゴーカート場などをお客様が気持ちよく利用してもらえるような接客を心掛け、今後増えていくインバウンドへの対応をしていきます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kankou@town.ashikita.lg.jp](mailto:kankou@town.ashikita.lg.jp)  
(電話番号) 0966-82-2511(芦北町役場 商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

### 基本情報



【年 齢】  
49歳  
【出身地】  
神奈川県藤沢市  
【転出元】  
神奈川県藤沢市  
【前 職】  
(株)バンテック厚木  
【活動時期】  
R4.7~R5.2

### 協力隊に応募したきっかけ

(株)バンテック厚木就職時代のキャンピングカー販売等業務を通じてキャンプ大会を開催した経験を活かした活動ができればと考えています。また、小さいころからキャンプをしてきたので、長年の知識を活かせたらと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

御立岬公園にあるキャンプ場で、立地条件、ロケーション、施設の充実等素晴らしいキャンプ場の運営に携われていると感じています。情報発信を行いより良いキャンプ場を作っていけるように頑張ります。

### 活動内容

#### 御立岬第2キャンプ場オープン準備

御立岬第2キャンプ場（星の森）の看板を設置しました。数日後にオープンを控え毎日バタバタしています。



#### 御立岬第2キャンプ場プレオープン

新キャンプ場オープン前に行われたマルちゃんカップビーチバレーinくまもとの参加者の方に、キャンプ体験をしていただきました。前日に10張のテントを汗だくになりながら設営しました。参加者のみなさんに大変喜んでいただきました。



#### 御立岬第2キャンプ場オープン

御立岬第2キャンプ場（星の森）オープンの日。7組限定のお客様とキャンプファイヤーを囲んでの談話。無類のキャンプ好きが集まって、次の日には早速インスタなどで紹介していただきました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0966-82-2511 (芦北町役場商工観光課内)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

### 基本情報



【年 齢】  
47歳  
【出身地】  
アメリカ合衆国  
ニューヨーク州  
【転出元】  
東京都 稲城市  
【前 職】  
客室乗務員（現職）  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

社内で地域おこし協力隊の募集があったため、客室乗務員として各都道府県に派出していることを知っていたことと、アウトドアが好きであったため募集要項に合致していると感じた。

夫が宮崎県小林市に在住しており、宮崎県への移住を選択肢のひとつとして考えていたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

「えびの高原」というとても魅力的な観光地と豊かな自然に囲まれた恵まれた地をもっと多くの方に知ってもらえるよう効果的なPRをしていきたい。  
宮崎県ではあるが鹿児島県の方が近いという特徴もアピールし、ANA（所属会社）とも協力し知名度を上げる活動に貢献したい。また地域に根差した起業も視野に入れ活動していきたいです。

### 活動内容

#### ●アウトドアに関するPR活動

「アウトドアシティえびの」を掲げるえびの市では多くのアウトドアアクティビティを有し、提供しています。女性ならではの視点、県外者からの視点を持って自分自身が体験したものをSNS等で発信しています。



#### ●観光・物産振興に関する活動

「田の神さあ」や「えびの高原」といった定番の観光地だけでなく、自分自身がこれは良いと思った地元の隠れたスポットをTV番組、ラジオなどを通じて紹介。物産展等にも参加し、「えびの市」の認知度を上げる活動をしています。



#### ●地元事業者との連携、お土産品開発

「えびの市」の認知度向上を目的に、地元住民・事業者の方と協力してお土産品開発を実施しました。一から商品を作りあげ、半年で市のブランド認証を受け、宮崎空港でも販売を開始しました。「何もない」という消極的な住民の意識を変えて盛り立てること目的に活動しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<https://www.instagram.com/ebinocity.kyoryokutai/>  
<https://www.facebook.com/ebinokyoryoku/>

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
島根県大田市  
【転出元】  
長野県安曇野市  
【前職】  
派遣アルバイト  
【活動時期】  
R2.4～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

結婚を機に妻の地元である高千穂町に移住してきました。このまちで起業するために、まずは地域のことを知ると同時に私の顔を知ってもらうことが大切だと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期も今年度いっぱい終わるため、着任当初の目標であった起業の準備を進めています。店舗物件も見つかったので来年度中には開業できるよう頑張ります。

### 活動内容

#### ●七夕飾りとお焚き上げ

七夕の時期にあわせて短冊と竹を用意し、施設内で記入・飾りつけをできるようにしていました。そして皆さんが書いた短冊は天岩戸神社の宮司にお願いをし、「お焚き上げ」をしていただきました。ただの七夕飾りではなく神社でお焚き上げをしてもらうまでがセットのとても貴重なイベント。



#### ●ウォーターサバゲー

地元のおじいちゃんに講師をお願いして竹の水鉄砲と一緒に作り、完成した竹の水鉄砲で撃ち合いをする夏限定のアクティビティーです。子供はもちろん大人も楽しめるずぶ濡れ必須の大人気イベント。



#### ●情報発信

有名な観光地(神社やスポット)の情報はもちろんのこと、観光マップには載っていないような地元の人しか知らない景色・景観などを投稿しています。担当施設でのイベント情報も併せて発信しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : amaterasu\_kan  
Facebook : 天岩戸交流センターあまてらす館

### 基本情報



【年齢】  
40歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
熊本県熊本市  
【前職】  
特定非営利活動法人  
五ヶ瀬自然学校  
【活動時期】  
R3.10～R6.3

### 協力隊に応募したきっかけ

前職では川でのサップツアーガイドを行っており、海でのツアーも開催したいと考えていたところ、阿久根市の募集内容、体験型観光コンテンツの開発に魅力を感じ応募しました。また幼少期に泳いだ、阿久根大島海水浴場の美しさ、自然の豊かさを想いだし、応募の動機となりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

海での活動がメインになりつつあるので、海の町阿久根市ですが、山の自然も活用し、今後は、畑仕事体験や、柑橘農家さん、野菜農家さんとも共同で、子供から大人まで、幅広い年齢層で楽しめ、観光もできるプランを立てて実践を行っていきたいです。また、任期後は、サップ体験をメインとし、起業予定。シーズンオフでは、アウトドア体験や愛犬との山遊びお散歩会などを企画し、愛犬家にも来阿しやすい環境作りを進めていきたいと考えてます。

### 活動内容

#### ●体験型観光コンテンツ開発

カヤック・SUPといったマリナクティビティを中心として、体験型観光コンテンツ開発に取り組んでいます。

現在は、ペットと一緒にできるコンテンツ開発や地域の方が自ら提供するコンテンツのお手伝いなど、アクティブに活動しています。



#### ●ドッグラン・お散歩会

ペットと楽しめる場を作ることとして、ドッグランやお散歩会を実施しています。

阿久根市にはまだないドッグランを作り、市内外から遊びに来てもらえるよう活動しています。



#### ●観光情報の発信

阿久根の観光情報を発信することを目的として、Webに記事を掲載しています。

記事を掲載するに当たっては、地域の方とお話ししたり、知らない場所を歩き回ってみたりと新たな発見や地域の方でも気づきにくい情報を外目線から定期的に発信しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



←阿久根市地域おこし  
協力隊フェイスブック



←阿久根市地域おこし  
協力隊インスタグラム

### 基本情報



【年齢】  
46歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
(株)コロンビアスポーツ  
ウェアジャパン  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3

### 協力隊に応募したきっかけ

長く、会社に属したアウトドアの仕事に携わっていたが、もっと地域に密着したアウトドア活動がしたいと思うようになり、そんな時、知人から阿久根の自然と街の取り組みについて聞ききっかけがあった。そこで、一度阿久根に足を運んでみようということで訪れた際、阿久根大島と海の壮大さと自然の豊富さに感動したと同時に街の規模とそのまま残っている町並みから、アクティビティを通じて自分の得意ごとを活かしながら、まちおこしが出来る可能性を感じたから。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、現在活動している阿久根の自然を活用したアクティビティを本格的にしていくため、起業する方向である。また、それだけでなく、地域の方と語り合える場づくりとしてコーヒーを提供していき、ビーチクリーン、ちいき食堂などボランティア活動は継続しながら、子ども達が未来に向けて生きる力を身につけられるよう、定期的にネイチャー教室を開いたり、フリーマーケット等もイベントも開催予定です。

### 活動内容

#### ●体験型観光コンテンツ開発

カヤックやSUPといったマリンアクティビティを中心に、マウンテンバイクやリバートレッキングといった阿久根の自然を体験できるコンテンツ開発を行っています。



#### ●地域の人との交流の場づくり（フリーコーヒー）

地域の方々と語り合う場を作りたいとの思いで、阿久根の色々な場所を巡ってフリーコーヒーを行っています。ご老人から子どもまで世代を問わずに話す場を作り、人と人が繋がる機会になればと思って活動しています。



#### ●旧校を活用したイベント実施

地域の人口減少により閉校となった学校を活用し、地域の方との繋がりづくりや、旧校の活用案のひとつになればと思い、自らが得意とする体験にマルシェを組み合わせたイベントを開催しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



←阿久根市地域おこし  
協力隊フェイスブック



←阿久根市地域おこし  
協力隊インスタグラム

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
季節労働者  
【活動時期】  
R2.11～R6.11(3年目)  
※任期特例措置により任用  
期間1年延長

### 協力隊に応募したきっかけ

出水市に移住を決めていて、仕事を探した結果地域おこし協力隊に着任しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、経営している事業「茶ノ花」を経営して、出水市に定住できるよう事業規模を拡大し、出水を拠点に九州を中心とした化学肥料・農薬不使用の国産茶を首都圏や都市部のレストラン・カフェ・一般消費者（20～40代の男女）になじみ深いブランドに成長させること。

### 活動内容

#### ●出水で生産されている茶のPR

鹿児島の中でもトップクラスの寒暖差を誇る出水上場高原で生産されている40年以上有機栽培茶の生産に取り組まれている天下一葉 お茶工房田中園と協力して良質な茶や美しい景観を体験やワークショップを通じて、出水茶のPRを行っています。



#### ●観光ツアー・観光スポット増設

自ら、開業し運営している「茶ノ花\_chanoka」を活用して、ワークショップや出水で20～30代の男女が立ち寄れるスポットの増設、またサービス内にある多種多様な国産茶の飲み比べワークショップなど行い、食育という観点から出水の観光PRを行っています。



#### ●特産品の開発

自ら、開業し運営している「茶ノ花\_chanoka」を活用して、出水のお茶を主体にオリジナルのブレンド・仕様・パッケージデザインを施した商品、KAGOSHIMA DRIP TEAを開発。かごしまの特産品コンクールに出品するなどして出水茶のPRと共に特産品の開発を行っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(オンラインストア) <https://teaclubchanoka.stores.jp>  
(Instagram) chanoka\_teaclub

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
兵庫県神戸市  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
芸人、派遣社員  
【活動時期】  
R3.10～R6.10  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京でお笑い芸人として活動していましたが、鳴かず飛ばず。ただただ日々が過ぎていく中、ますますSNS発信が盛んになる状況に、ふと「全国どこにいても発信できるなあ」と思い、地方移住を考えました。そんな時に知ったのが地域おこし協力隊の制度。まちを盛り上げて、みんなの役に立てて、それを仕事としてできる協力隊は、まさに自分が探していたものでした。

### 今後の抱負・任期後の目標

もっと志布志市のみなさんに自らの存在を知ってもらいつつ、市民のみなさんと一緒に地域おこしをしていきたいと考えています。また、任期後も「地域プロモーション」活動を継続して、志布志市の魅力を全国へ全世界へ発信していきたいと考えています。

### 活動内容

#### ① 広報紙「市報 しぶし」の編集

毎月、読者プレゼントコーナーなどのページを担当し、取材からページレイアウトまで行っています。時には特集ページを企画することもあります。その反響は大きく、「市報みたよ！」と声をかけられることもしばしばです。



#### ② ケーブルテレビ放送

地元ケーブルテレビBTVの行政放送番組内にて、冠コーナー「ヤマダくんのしぶしでたトコMAP」に出演中。クジで引いた場所へ行き、地元の方たちと交流し、志布志市の良さを再発見する街ブラコーナーです。毎回、台本なしの"でたトコ"ロケを展開しています。



#### ③ 「志布志市公式YouTube」発信

市からのお知らせを中心に、公式YouTubeに動画をアップしています。企画・撮影・編集を行い、出演もしています。少しでも興味をもってもらえるように、内容はできるだけわかりやすく、楽しんでもらえるような動画づくりを心がけています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kouhou@city.shibushi.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(志布志市公式YouTube) <https://www.youtube.com/user/shibushicity>

### 基本情報



【年 齢】  
51歳  
【出身地】  
愛媛県  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
アーティスト  
【活動時期】  
R3.7～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

湧水町で開催されている、チェーンソーアート大会に出場したことがきっかけで湧水町を知り、林業が盛んな湧水町でチェーンソーアート制作活動を通して町の活性化をしたいと思い応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

豊かな森林資源を活かして、森の中のあらゆるところに作品を展示し、森全体が美術館であるような空間を作りたい。  
また、地元の大手木材メーカーとコラボし、CLT材を使用した、観光のシンボルとなるような巨大オブジェの制作を計画している。  
さらには、林業の担い手確保のため、芸術活動を行いながらチェーンソーアートを通じて森林環境の教育(木育)活動を行っていきたい。

### 活動内容

#### 子どもたちとのふれあい

町内の幼稚園や小中学校で、園児・児童・生徒らとチェーンソー試し切り体験や、共同で作品を制作する機会を設けて活動を行った。



#### 観光PRや地域活性化としてのベンチ制作活動

湧水町にゆかりのあるものをベンチ作品として制作し、鹿児島空港や全国和牛能力共進会のイベント会場等に設置し町のPRを行った。また、農村地域にも米俵をモチーフにしたベンチを設置するなどの活動を行った。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0995-74-3111(湧水町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://tree-spirits-art.com>

### 基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
鹿児島県 鹿屋市  
【転出元】  
福岡県 福岡市  
【前職】  
ブライダル事業  
【活動時期】  
R4.9～R7.8  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

主人とブライダルの引き出物サービスを運営する会社を経営しており、昨今の新型コロナ ウイルス感染症の影響でブライダル業界も未だかつてないきびしい状況となりました。そんな状況の中、周りの方々のおかげで今も続けていられる事のありがたさを感じたとき、次は私が誰かのために役に立ちたい！と強く思いました。できれば、お世話になった人達に恩返しをしたい！何かないかとパソコンで検索していると、祖父母の住んでいた肝付町の協力隊のワードに出逢い、協力隊へ応募し今に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の方々が肝付町をもっと好きになってもらうイベントを実施予定。そこには物づくりをしている皆さん（特に移住者）と協力して楽しいイベントを開催していく。イベントを通じてまずは、地域から認知していきながら、町外の方々へと繋がる流れをつくる。

退任後は移住者に雇用を提供できる仕組みづくりを完成し、安心して暮らせる町づくりをする。

### 活動内容

#### ●グッズショップ運営補助・グッズ等開発

きもつき宇宙協議会が運営する宇宙グッズショップのサポートや新たなノベルティ、グッズ等の商品開発の実施。



#### ●イベント出展・ワークショップ開催【予定】

きもつき宇宙協議会と連動し、町内外でのイベント出展や宇宙資源を活かした地域活性化等のテーマだけでなく、まずは地域に愛されるワークショップの企画・開催等を実施予定



#### ●宇宙のまちPR活動【予定】

SNSの活用やイベント等での町のPR活動による宇宙のファン・肝付町のファンの拡大。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
お得な情報やイベントなど肝付町に関する情報発信を準備中  
Coming soon

### 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
香川県さぬき市  
【転出元】  
香川県さぬき市  
【前 職】  
広報、ライター  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

婚約を機に屋久島に移住することになり、仕事を探していたところ地域おこし協力隊の募集がありました。もともと大学で観光まちづくりを専攻していたので興味があつたし、自分がこれから住む場所は楽しい場所であってほしい、そんな想いで応募しました。それから友達に「屋久島に移住する」と話すと、ほとんどの子に「一度は行って見たかった!」と言われました。私が住むからには一度と言わず何度も訪れてほしいと思ったのも応募理由の一つです。

### 今後の抱負・任期後の目標

- 里の魅力発掘・発信担当として、現在はSNSでの発信をメインに行っていますが、今後はさらに幅広い表現方法で屋久島の魅力を発信していきたいと考えています。
- 縄文杉や白谷雲水峡など自然資源に偏った観光ではなく、地域の暮らしや人、文化に触れられる旅を企画し、「また行きたい」と思ってもらえる屋久島を目指したいです。

### 活動内容

#### ●まずは自分が屋久島の暮らしを知り、楽しむ

屋久島は観光の島としてのイメージが強く「どんな暮らしをしているのか想像できない」と言われることが多いです。食べるもの、遊び方、集落の行事など、島ならではの暮らしをまずは一つひとつ面白がって体験（挑戦とも言える）し、SNSで発信しています。



#### ●「#屋久島でしたい100のコト」を発信

Instagramで「#屋久島でしたい100のコト」をテーマに、縄文杉だけでない屋久島の魅力を発信しています。多くのガイドブックでは山がメインに掲載されていますが、里にも滝、温泉、屋久島食材を使ったカフェなど魅力的なスポットがたくさんあります。新しい屋久島を発見してほしいです。



#### ●集落をめぐるツアーに参加

屋久島町には26もの集落があり、それぞれ歴史や文化が違います。現在10集落で里めぐりツアーが行われており、地元の語り部さんが集落を案内してくれます。現状参加者の多くは60代以上ということで、どうすれば若い人たちにも興味を持ってもらえるか実際にツアーに参加してみて模索中です。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(役場電話番号) 0997-43-5900

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/yakushima\\_cherry](https://www.instagram.com/yakushima_cherry)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi>

### 基本情報



【年齢】  
44歳  
【出身地】  
フランス  
【転出元】  
東京都豊島区  
【前職】  
日系メーカー海外営業  
【活動時期】  
R3.4～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

糸満市に移住を検討希望があり、応募主に次の4点

- ①観光者としての魅力：自然が美しい
- ②市民としての魅力：自然環境ではなく都会の利便性
- ③社会人としての魅力：農漁業が強く、大手企業がなく、起業家の町だとの印象（SDGsを推進するのに適している）
- ④親としての魅力：糸満市は子供が好きという印象（学校、公園、図書館、医療機関などが整備されている）

### 今後の抱負・任期後の目標

任期中  
現地の事業者を軸に地域の海人文化をテーマに欧米人向けの5泊以上アドベンチャーツアーを確立し⇒モニターツアー実施⇒持続性のある商品を観光協会から発売する。  
任期後  
インバウンド向けのアドベンチャー・トラベルの地域コーディネーターとして、個人事業を開業するのが目標。現段階で地域の業者との信頼関係を強化するのが最も力が要する任務。

### 活動内容

#### ●インバウンド向けのアドベンチャー・ツーリズム商品の開発

地域に貢献するインバウンド観光の開発販売が地域の課題。そこで、アドベンチャー・ツーリズムの商品を開発している最中。昨年研修を受けて、地域の「海人文化」をテーマに商品開発中である。今年度中にモニターツアーを実施計画中。



#### ●観光商品向けのグリーンスローモビリティの展開

地域おこし協力隊としてのミッションはインバウンド観光でありながら、新しいモビリティの手段（グリーンスローモビリティ）も利用して新しい商品開発に挑戦している。



#### ●広報誌等に市民向けのコラム

地域おこし協力隊 X 外国人 の目を見た移住先（糸満市）を市民向けに発信することによって、地域を明るくする。18回の絶賛月刊コラムを書いています。月3万部以上の広報誌。他にテレビ取材、PV出演、インタビューなど実施



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook)

<https://www.facebook.com/chiikiokoshi.itoman/>



### 基本情報



【年 齢】  
37歳  
【出身地】  
兵庫県 神戸市  
【転出元】  
沖縄県 伊江村  
【前 職】  
アパレル  
【活動時期】  
R3.6～ R6.6  
(2年目)

### 活動内容

#### ●ハイビスカス園の経営拡大

ハイビスカス園を「知ってもらい」「来てもらい」「楽しんでもらう」ための施策のうち、まずは「知ってもらう」ことを重点とした活動を行いました。2年目は体験教室など、鑑賞以外のハイビスカスの可能性について研究中です。

#### ●移住生活発信

伊江島移住生活を発信することによって、移住検討者や観光客誘致につながることを期待。

#### 情報発信



インスタグラム  
Youtube、ブログ、  
TikTok開設。

各種新聞、雑誌媒体  
取材対応。ハイビス  
カス協会会報誌作成

#### イベント



離島フェア参加。  
小学校リモート授業  
開催

#### 商品開発



ポストカード作成。  
体験教室に向けた  
メニュー開発。  
和紙制作、織物、  
染色等実験等

### 協力隊に応募したきっかけ

沖縄が好きで、沖縄の自然と共に子育てをしたく、移住を検討していたところ、伊江村の協力隊募集を知りました。実際に伊江島を訪れ、島の雰囲気惹かれ、ここに住みたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

ハイビスカス園を花の鑑賞施設だけに留まらず、体験、学習、研究施設としても発展し、相互作用を図る。

村外の観光客だけでなく、村民や子供たちも訪れ、学び、楽しめる施設を目指します。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス tani-s@iejima.org)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram 「ie\_hibiscus」 「mokichi\_okinawa」で検索  
YouTube 「伊江島ハイビスカス園」 「沖縄率暮らしの日常」  
ブログ <https://yonner-yonner.com>

### 基本情報



【年齢】  
42歳  
【出身地】  
静岡県 富士市  
【転出元】  
滋賀県 大津市  
【前職】  
コンタクトレンズ販売員  
【活動時期】  
R3.4.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

もともと沖縄が大好きで、一人で離島めぐりをしてました。渡名喜島も何度か訪れたことがありぼんやりとこの島に住めたらいいなあと思ってました。40歳を過ぎ、やりたいことをやるなら今しかないという気持ちもあり、そこに偶然渡名喜島が地域おこし協力隊を募集していたのでこれは運命だと思い一念発起応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

観光客がとても少ないこの島でなにができるのかを考え、1つでもいいので問題点の解決を図っていく。農業や特産品作りなど村民と交流をもちながら、それを上手く観光事業（体験ツアー）に繋げる。来島頂いた観光客の方に思い出に残るような丁寧な接客を心掛ける。

### 活動内容

#### ●観光協会受付事務全般

- ・観光案内所に来館された方への接客対応。（観光案内、お土産販売、レンタサイクル受付等）
- ・電話、メール問い合わせの対応。（宿泊、食事、ガイド等）



#### ●島の情報収集と観光情報の発信

- ・渡名喜島観光サイト（HP）の運用。
- ・渡名喜島観光協会公式Instagramの運用
- ・琉球新報への寄稿
- ・伝統行事や地域行事、学校行事への参加



#### ●その他 観光振興に関する活動

- ・ステッカーやふくぎ染め手ぬぐいの製作・販売
- ・レンタサイクル事業立ち上げ
- ・島あっちい等体験ツアー作成
- ・特産品もちきびの栽培から販売まで
- ・空き家活用やSNS活用のための研修等参加



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス） [shimizu@tonaki-kanko.or.jp](mailto:shimizu@tonaki-kanko.or.jp)  
（電話番号） 098-996-3758  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（渡名喜島観光サイト） <https://www.tonaki-kanko.com/>  
（渡名喜島観光協会公式Instagram）  
[https://www.instagram.com/tonakiisland\\_kanko/](https://www.instagram.com/tonakiisland_kanko/)